

第四期佐伯市地域福祉(活動)計画
策定のための市民アンケート調査
集計結果報告書

令和5年3月
佐伯市

目次

第1編 調査の趣旨.....	1
第1章 調査の目的	1
第2章 調査の方法	1
第3章 集計結果の見方	1
第2編 集計結果.....	2
第1章 あなた自身について（属性）	2
第2章 地域の交流・ふれあいの促進について.....	5
第3章 福祉意識の醸成について	10
第4章 ボランティア活動等について.....	11
第5章 関係団体等の活動などについて	19
第6章 地域のネットワークづくりと支え合い活動について	22
第7章 知りたい情報や情報の取得方法について	24
第8章 心配事の解決方法について	27
第9章 地域ぐるみの防災対策について	28
第10章 誰にでもやさしいまちづくりについて	35
第3編 自由意見	42
第4編 調査票.....	78

第1編 調査の趣旨

第1章 調査の目的

本調査は、「第四期佐伯市地域福祉(活動)計画(令和6～10年度)」の策定にあたり、地域福祉に関する意識や地域福祉活動の状況、日常での課題や問題点などを把握し、計画策定にむけた基礎資料とするために実施しました。

第2章 調査の方法

本調査は、令和4年11～12月に、郵送による配布・回収と、市ホームページでのWEBアンケートフォームへの入力方式を併用して実施しました。

対象	実施方法	
	18歳以上の市民 (無作為抽出)	18歳以上の市民
調査方法	郵送による 配布・回収	WEBアンケート フォーム
配布数	3,000票	—
回収数	1,074票	77票
郵送分回収率	35.8%	—
全回収数(率)	1,151票(38.4%)	

第3章 集計結果の見方

- 集計表は、総計のほか、年齢区分ごとなどのクロス集計を1つの表で掲載しています。
- 設問のなかには前問に答えた人のみが答える「限定設問」があり、表中の「回答者数」が全体より少なくなっています。
- 設問には1つのみ答えるもの(シングルアンサー)と複数回答のもの(マルチアンサー)があり、マルチアンサーの設問では、構成比の合計は100%を超えます。
- 割合は選択肢ごとに小数第1位を四捨五入しているため、その構成比の合計は100%にならないところがありますが、近似値として100%と記載しております。
- 平成29年10～11月に同一設問で実施したアンケート(配布数:3,000票、回収数:1,335票、回収率44.5%)の結果を、参考データとして掲載しています。

第2編 集計結果

集計結果は、以下の通りです。

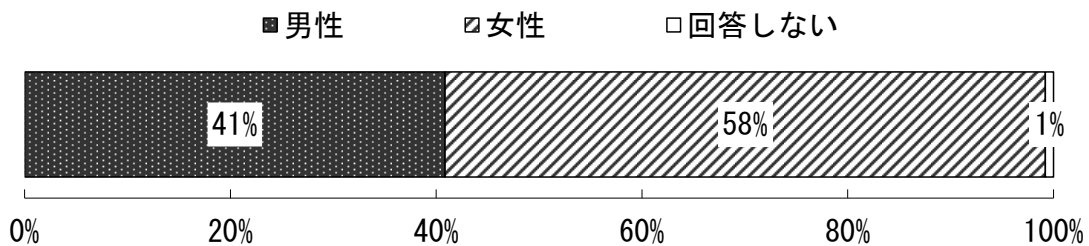
第1章 あなた自身について（属性）

問1 あなたの性別は、どちらですか。

	総計		【参考】 前回総計	
	人数	割合	人数	割合
男性	469	41%	509	38%
女性	670	58%	802	60%
回答しない	9	1%	(選択肢なし)	
無回答	3	0%	24	2%
合計	1,151	100%	1,335	100%

性別は、「男性」が41%、「女性」が58%で女性の方が多くなっています。前回調査でも、同様の傾向となっています。

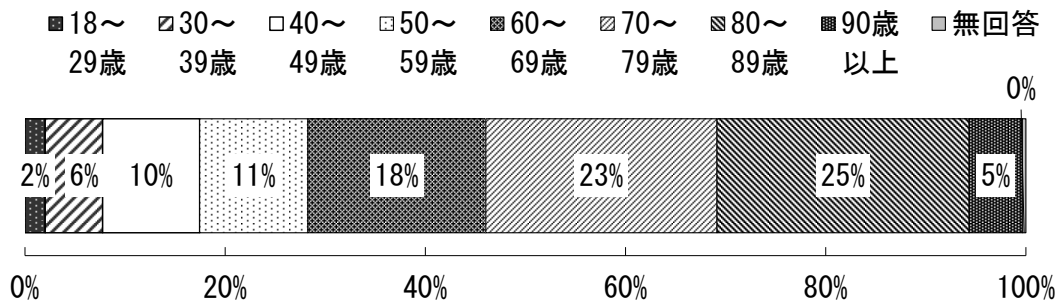
地域福祉は、一般的に、男性より女性の関わりが強い分野であることから、本報告書では、性別による意向の相違点を見ることとします。



問2 あなたの年齢は次のうちどれですか。

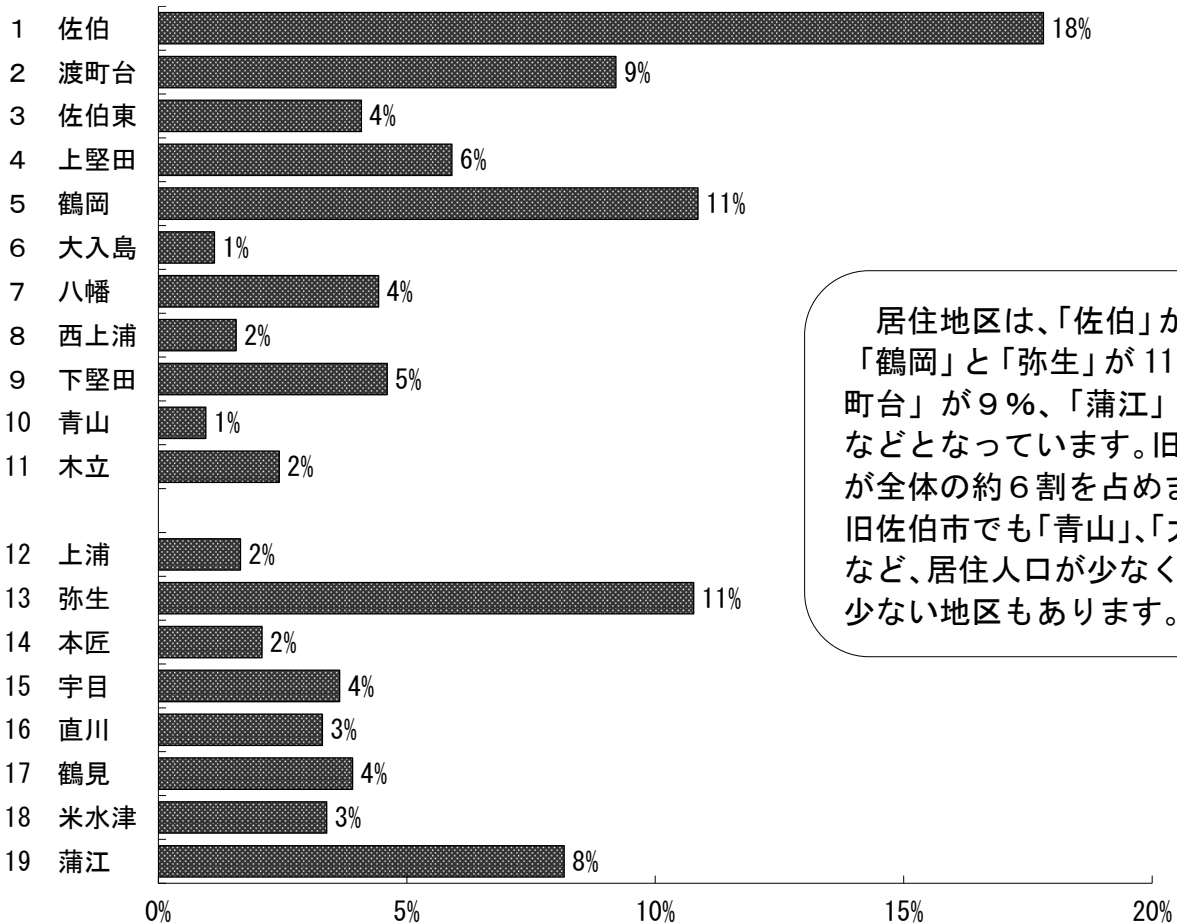
	総計		【参考】 前回総計	
	人数	割合	人数	割合
18～29歳	27	2%	74	6%
30～39歳	66	6%	86	6%
40～49歳	111	10%	131	10%
50～59歳	124	11%	202	15%
60～69歳	204	18%	338	25%
70～79歳	265	23%	279	21%
80～89歳	289	25%	195	15%
90歳以上	61	5%	16	1%
無回答	4	0%	14	1%
合計	1,151	100%	1,335	100%

年齢は、「80～89歳」が25%と最も多く、「70～79歳」が23%、「60～69歳」が18%などとなっており、60歳以上が約7割を占めます。本報告書では、主に勤労世代である60歳未満と60歳以上に区分し、意向の相違点を見ることとします。



問3 あなたのお住まいになっている地区は、次のうちどちらですか。

		総計		【参考】 前回総計	
		人数	割合	人数	割合
旧 佐 伯 市	1 佐伯	205	18%	209	16%
	2 渡町台	106	9%	135	10%
	3 佐伯東	47	4%	48	4%
	4 上堅田	68	6%	73	5%
	5 鶴岡	125	11%	157	12%
	6 大入島	13	1%	15	1%
	7 八幡	51	4%	51	4%
	8 西上浦	18	2%	16	1%
	9 下堅田	53	5%	43	3%
	10 青山	11	1%	18	1%
	11 木立	28	2%	32	2%
旧 海 部 郡	12 上浦	19	2%	45	3%
	13 弥生	124	11%	131	10%
	14 本匠	24	2%	24	2%
	15 宇目	42	4%	57	4%
	16 直川	38	3%	41	3%
	17 鶴見	45	4%	57	4%
	18 米水津	39	3%	26	2%
	19 蒲江	94	8%	138	10%
無回答		1	0%	19	1%
合計		1,151	100%	1,335	100%

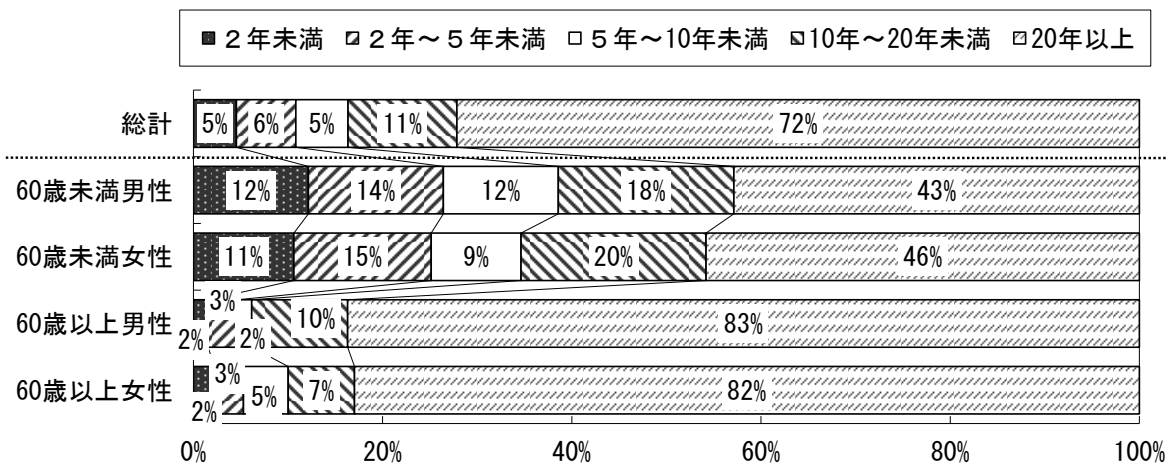


居住地区は、「佐伯」が18%、「鶴岡」と「弥生」が11%、「渡町台」が9%、「蒲江」が8%などとなっています。旧佐伯市が全体の約6割を占めますが、旧佐伯市でも「青山」、「大入島」など、居住人口が少なく回答が少ない地区もあります。

問4 現在お住まいになっている場所の居住年数は次のうちどれですか。

	総計		60歳未満 男性		60歳未満 女性		60歳以上 男性		60歳以上 女性		【参考】 前回総計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
2年未満	52	5%	17	12%	19	11%	5	2%	11	2%	68	5%
2年～5年未満	72	6%	20	14%	26	15%	10	3%	15	3%	79	6%
5年～10年未満	63	5%	17	12%	17	9%	5	2%	23	5%	91	7%
10年～20年未満	132	11%	26	18%	35	20%	33	10%	34	7%	197	15%
20年以上	826	72%	60	43%	82	46%	272	83%	403	82%	883	66%
無回答	6	1%	1	1%	0	0%	1	0%	3	1%	17	1%
合計	1,151	100%	141	100%	179	100%	326	100%	489	100%	1,335	100%

居住年数は、「20年以上」が7割を占め、60歳以上の世代では8割を占めています。しかし、60歳未満の世代では2～3割の回答者は居住年数5年未満であり、少ないながらも本市にも、転入して間もない市民が一定数いることから、転入者のニーズを把握し、施策に反映していくことが欠かせないと言えます。



第2章 地域の交流・ふれあいの促進について

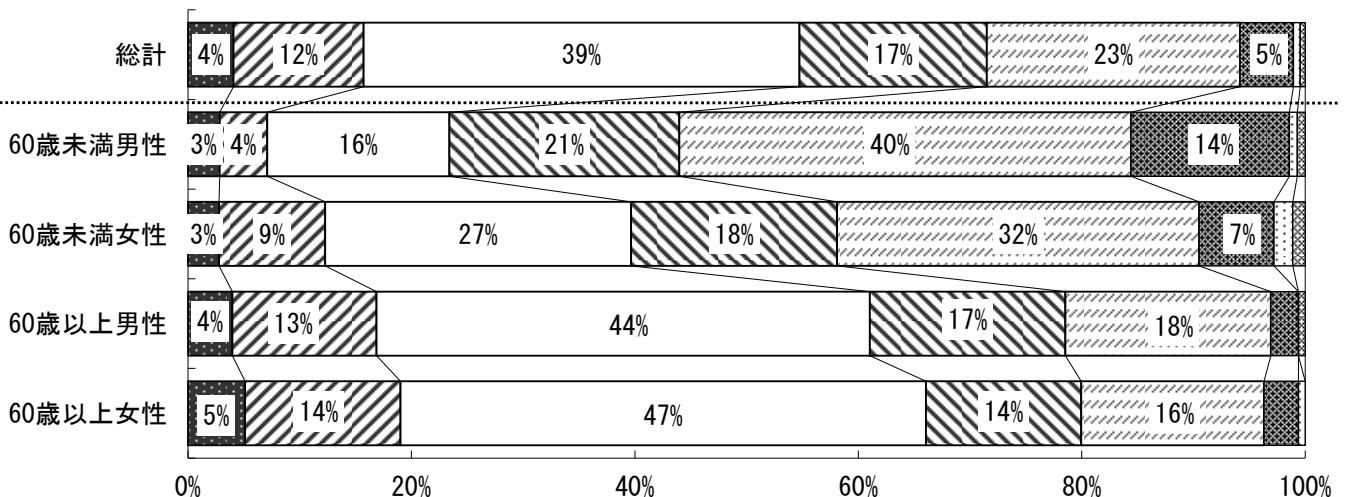
問5 あなたと近所の人との関係は次のどれに近いですか。(○は1つだけ)

	総計		60歳未満男性		60歳未満女性		60歳以上男性		60歳以上女性		【参考】 前回総計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1 仲が良く、家族同様な付き合い	47	4%	4	3%	5	3%	13	4%	25	5%	71	5%
2 困った時にお互いに助け合う付き合い	134	12%	6	4%	17	9%	42	13%	68	14%	146	11%
3 普段から気兼ねなく声を掛け合う付き合い	449	39%	23	16%	49	27%	144	44%	230	47%	515	39%
4 たまに立ち話をする程度の付き合い	193	17%	29	21%	33	18%	57	17%	68	14%	218	16%
5 あいさつをする程度の付き合い	261	23%	57	40%	58	32%	60	18%	80	16%	298	22%
6 ほとんど付き合いがない	55	5%	20	14%	12	7%	8	2%	15	3%	56	4%
7 その他	7	1%	1	1%	3	2%	0	0%	3	1%	5	0%
無回答	5	0%	1	1%	2	1%	2	1%	0	0%	26	2%
合計	1,151	100%	141	100%	179	100%	326	100%	489	100%	1,335	100%

「近所の人との関係の現状」については、「普段から気兼ねなく声を掛け合う付き合い」が39%と最も多く、「仲が良く、家族同様な付き合い」や「困った時にお互いに助け合う付き合い」を含め、多くの市民がある程度深いつきあいをしていることがわかります。

一方で、「ほとんど付き合いがない」が5%あり、特に60歳未満の男性では14%と多い傾向がみられ、近所づきあいのない住民に、その重要性を啓発していくことが望まれます。

- 1 仲が良く、家族同様な付き合い
 ■ 2 困った時にお互いに助け合う付き合い
 ■ 3 普段から気兼ねなく声を掛け合う付き合い
 ■ 4 たまに立ち話をする程度の付き合い
 ■ 5 あいさつをする程度の付き合い
 ■ 6 ほとんど付き合いがない
 ■ 7 その他
 ■ 無回答



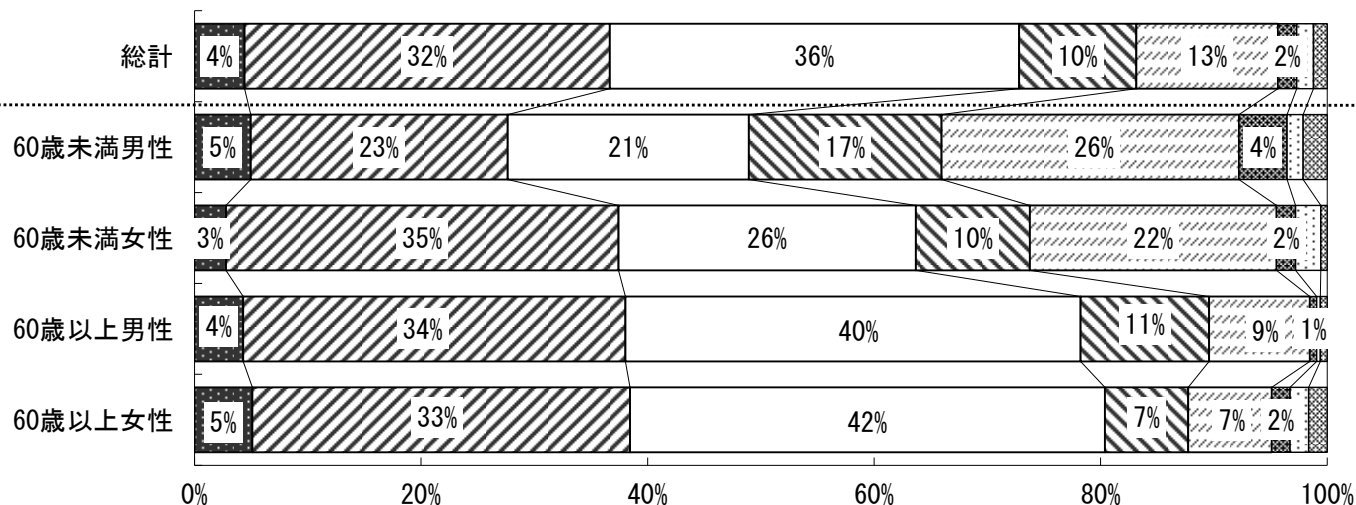
問6 あなたは今後、近所の人との関係がどのような状態になればよいと思いますか。(○は1つだけ)

	総計		60歳未満男性		60歳未満女性		60歳以上男性		60歳以上女性		【参考】 前回総計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1 仲が良く、家族同様な付き合い	51	4%	7	5%	5	3%	14	4%	25	5%	68	5%
2 困った時にお互いに助け合う付き合い	371	32%	32	23%	62	35%	110	34%	163	33%	493	37%
3 普段から気兼ねなく声を掛け合う付き合い	416	36%	30	21%	47	26%	131	40%	205	42%	484	36%
4 たまに立ち話をする程度の付き合い	119	10%	24	17%	18	10%	37	11%	36	7%	123	9%
5 あいさつをする程度の付き合い	144	13%	37	26%	39	22%	29	9%	36	7%	126	9%
6 ほとんど付き合いがない	19	2%	6	4%	3	2%	2	1%	8	2%	12	1%
7 その他	17	1%	2	1%	4	2%	1	0%	8	2%	9	1%
無回答	14	1%	3	2%	1	1%	2	1%	8	2%	20	1%
合計	1,151	100%	141	100%	179	100%	326	100%	489	100%	1,335	100%

「近所の人との関係の意向」については、「仲が良く、家族同様な付き合い」や「困った時にお互いに助け合う付き合い」を望む人の割合が、現状よりも高くなっています。

7つの選択肢の中では、とりわけ、「困った時にお互いに助け合う付き合い」が、現状に対して割合が高いことから、そうした関係が構築できる住民が増えるよう、市や社会福祉協議会においても、施策を検討していくことが望まれます。

- 1 仲が良く、家族同様な付き合い □ 2 困った時にお互いに助け合う付き合い □ 3 普段から気兼ねなく声を掛け合う付き合い □ 4 たまに立ち話をする程度の付き合い □ 5 あいさつをする程度の付き合い ■ 6 ほとんど付き合いがない □ 7 その他 □ 無回答



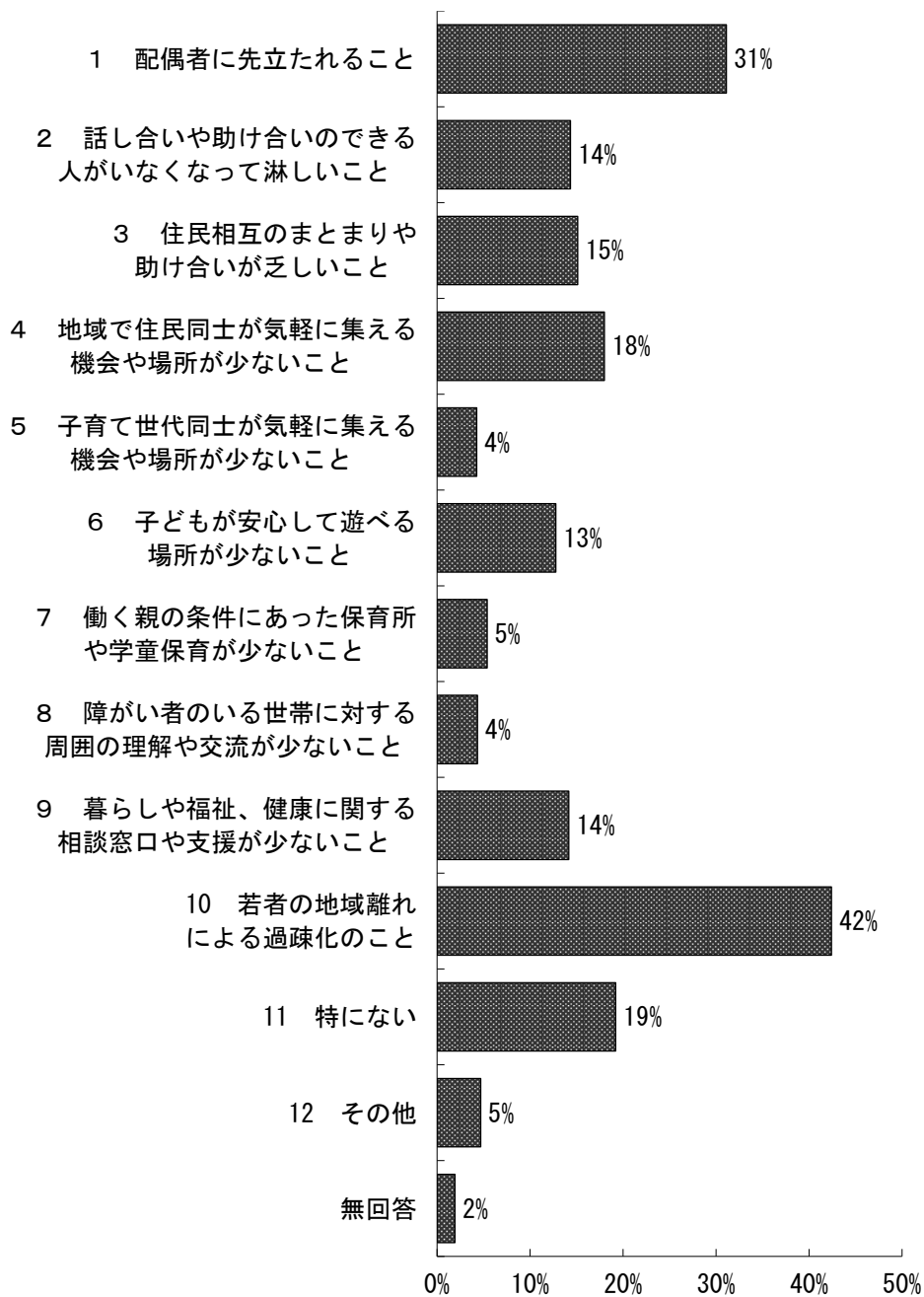
問7 あなたは日ごろ、生活をする上でどのような心配事がありますか。(〇はいくつでも)

	総計		60歳未満 男性		60歳未満 女性		60歳以上 男性		60歳以上 女性		【参考】 前回総計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1 配偶者に先立たれること	358	31%	26	18%	40	22%	141	43%	147	30%	426	32%
2 話し合いや助け合いのできる人がいなくなって淋しいこと	165	14%	12	9%	15	8%	46	14%	89	18%	194	15%
3 住民相互のまとまりや助け合いが乏しいこと	174	15%	16	11%	13	7%	54	17%	90	18%	194	15%
4 地域で住民同士が気軽に集える機会や場所が少ないこと	207	18%	17	12%	15	8%	66	20%	107	22%	179	13%
5 子育て世代同士が気軽に集える機会や場所が少ないこと	49	4%	12	9%	21	12%	7	2%	6	1%	69	5%
6 子どもが安心して遊べる場所が少ないこと	147	13%	32	23%	35	20%	32	10%	44	9%	216	16%
7 働く親の条件にあった保育所(休日保育、延長保育、一時保育など)や学童保育が少ないこと	62	5%	17	12%	23	13%	10	3%	10	2%	107	8%
8 障がい者(児)のいる世帯に対する周囲の理解や交流が少ないこと	50	4%	10	7%	7	4%	11	3%	21	4%	80	6%
9 暮らしや福祉、健康に関する相談窓口や支援が少ないこと	163	14%	17	12%	25	14%	45	14%	73	15%	172	13%
10 若者の地域離れによる過疎化のこと	488	42%	70	50%	75	42%	145	44%	191	39%	559	42%
11 特になし	221	19%	32	23%	34	19%	63	19%	91	19%	207	16%
12 その他	54	5%	7	5%	15	8%	6	2%	25	5%	56	4%
無回答	22	2%	1	1%	0	0%	7	2%	13	3%	26	2%
合計	1,151	100%	141	100%	179	100%	326	100%	489	100%	1,335	100%

「日ごろ、生活をする上での心配事」については、「若者の地域離れによる過疎化のこと」が42%で最も多く、「配偶者に先立たれること」が31%で続いています。

特に「若者の地域離れによる過疎化のこと」については、世代や性別を問わず、高い割合になっています。

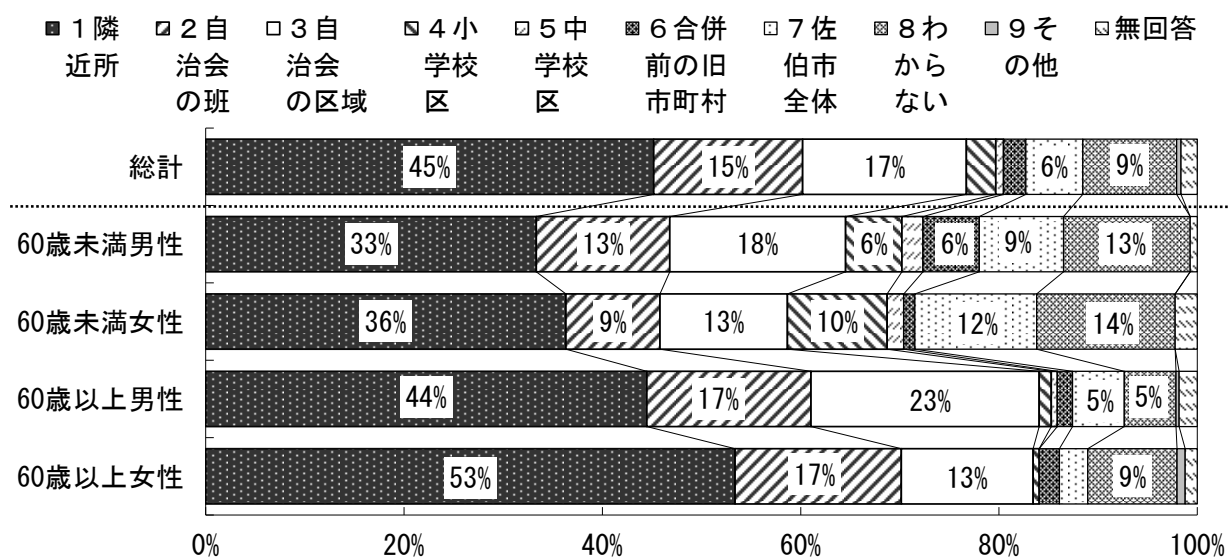
一方、「地域で住民同士が気軽に集える機会や場所が少ないこと」を60歳以上の約2割が、「子どもが安心して遊べる場所が少ないこと」を60歳未満の約2割が心配事としてあげており、こうした場・機会づくりに努めることが求められていると言えます。



問8 日ごろの生活において、「地域でお互いに助け合いをする」とした場合、あなたの考える「助け合いができる地域」とは、どの範囲ですか。（○は1つだけ）

	総計		60歳未満男性		60歳未満女性		60歳以上男性		60歳以上女性		【参考】前回総計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1 隣近所	520	45%	47	33%	65	36%	145	44%	261	53%	581	44%
2 自治会の班	173	15%	19	13%	17	9%	54	17%	82	17%	191	14%
3 自治会の区域	190	17%	25	18%	23	13%	75	23%	65	13%	249	19%
4 小学校区	34	3%	8	6%	18	10%	4	1%	3	1%	59	4%
5 中学校区	9	1%	3	2%	3	2%	2	1%	0	0%	8	1%
6 合併前の旧市町村	26	2%	8	6%	2	1%	5	2%	10	2%	41	3%
7 佐伯市全体	66	6%	12	9%	22	12%	17	5%	14	3%	74	6%
8 わからない	109	9%	18	13%	25	14%	17	5%	44	9%	83	6%
9 その他	5	0%	0	0%	0	0%	1	0%	4	1%	9	1%
無回答	19	2%	1	1%	4	2%	6	2%	6	1%	40	3%
合計	1,151	100%	141	100%	179	100%	326	100%	489	100%	1,335	100%

「助け合いができる地域の範囲」については、「隣近所」が45%で最も割合が高く、「自治会の区域」が17%、「自治会の班」が15%が続いています。学校区や市町村域という意見は総じて少なく、地域福祉は、身近な地区を基本に取り組みを進めることが重要と考えられます。



第3章 福祉意識の醸成について

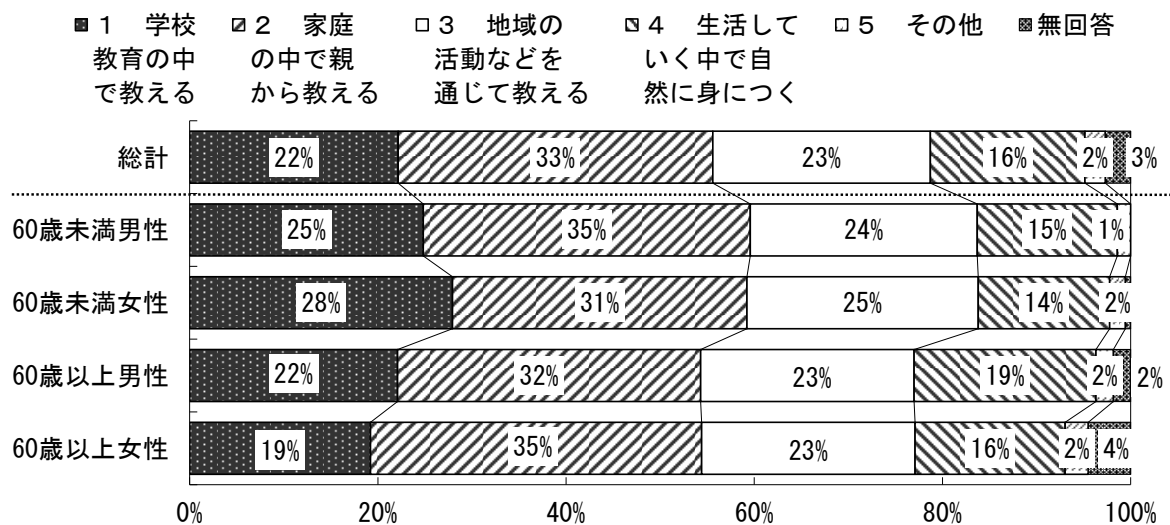
問9 あなたは、子どもたちに思いやりの心や福祉への理解と参加の心を育てるためには、どのような環境(方法)がよいと思いますか。(○は最も重要だと思うもの1つだけ)

	総計		60歳未満男性		60歳未満女性		60歳以上男性		60歳以上女性		【参考】 前回総計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1 学校教育の中で教える	255	22%	35	25%	50	28%	72	22%	94	19%	235	18%
2 家庭の中で親から教える	385	33%	49	35%	56	31%	105	32%	172	35%	508	38%
3 地域の活動などを通じて教える	266	23%	34	24%	44	25%	74	23%	111	23%	312	23%
4 生活していく中で自然に身につく	189	16%	21	15%	25	14%	63	19%	78	16%	226	17%
5 その他	25	2%	2	1%	3	2%	6	2%	12	2%	17	1%
無回答	31	3%	0	0%	1	1%	6	2%	22	4%	37	3%
合計	1,151	100%	141	100%	179	100%	326	100%	489	100%	1,335	100%

「子どもたちの思いやりの心などを育てる環境(方法)」について、「最も重要だと思うもの」を1つだけあげていただいたところ、「家庭の中で親から教える」が33%で最も割合が高くなっていますが、「地域の活動などを通じて教える」も23%、「学校教育の中で教える」も22%あり、意見が分かれています。

「生活していく中で自然に身につく」は「60歳以上男性」で19%と他の層より割合が高くなっていますが、4つの選択肢の中でも最も少なくなっています。

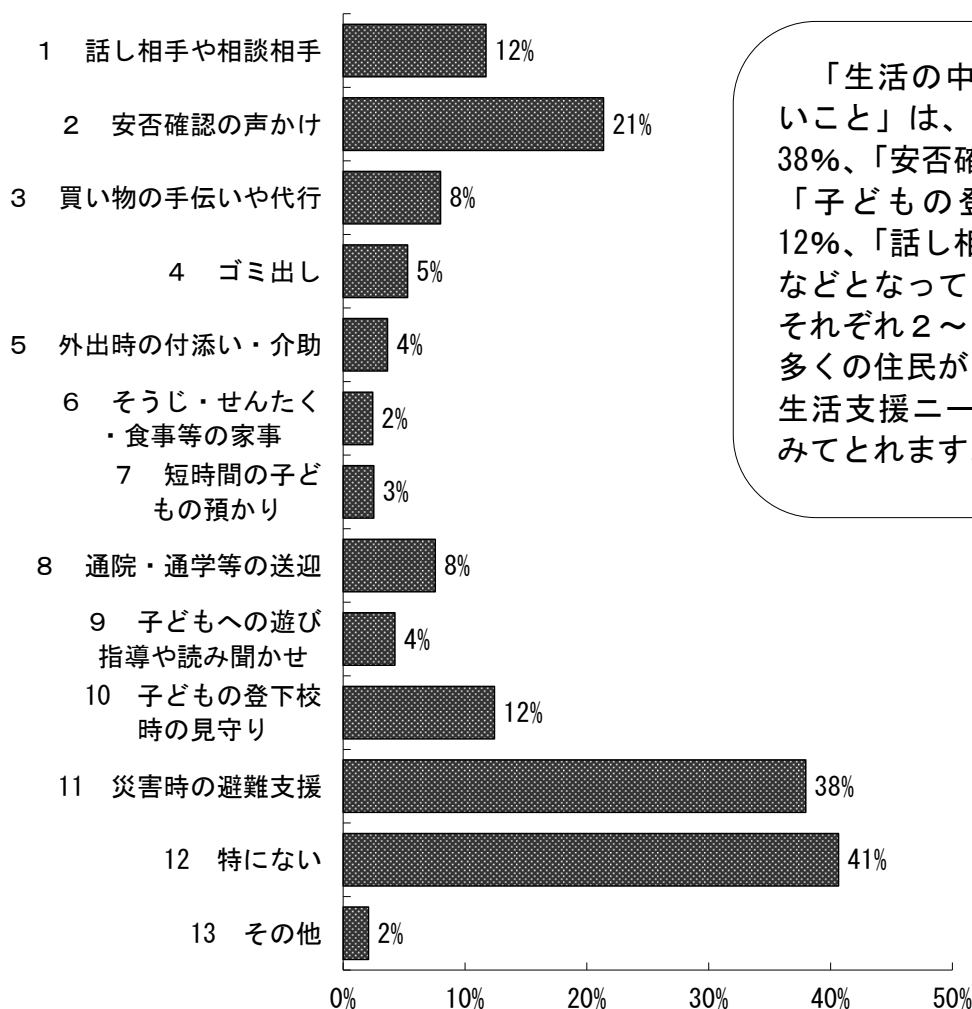
これらのことから、福祉教育は、学校、家庭、地域の三者でそれぞれ行っていくことがよいと考えられます。



第4章 ボランティア活動等について

問 10 あなたは、日ごろの生活の中で、地域の人やボランティアにしてほしいことや手伝ってほしいことがありますか。(〇はいくつでも)

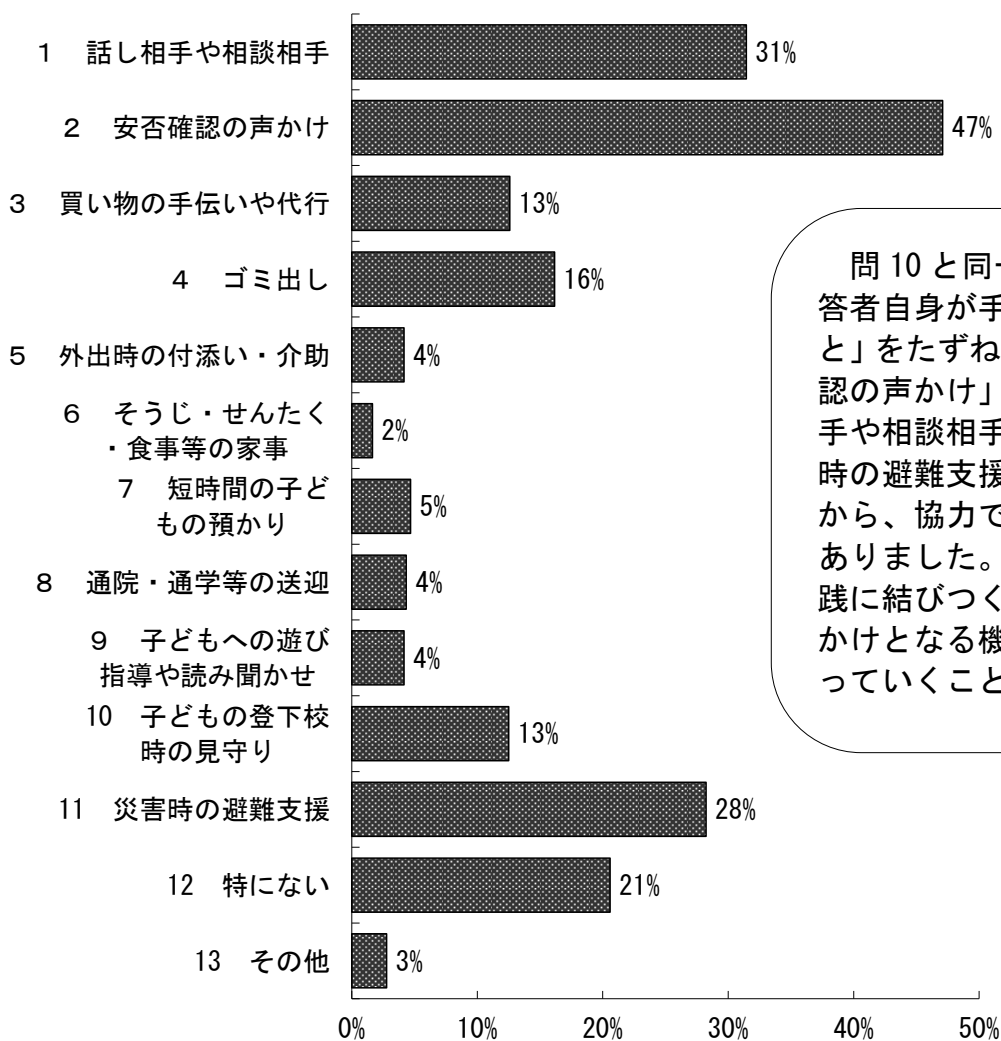
	総計		60歳未満男性		60歳未満女性		60歳以上男性		60歳以上女性		【参考】前回総計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1 話し相手や相談相手	135	12%	11	8%	14	8%	38	12%	71	15%	140	10%
2 安否確認の声かけ	246	21%	31	22%	31	17%	70	21%	107	22%	231	17%
3 買い物の手伝いや代行	92	8%	5	4%	8	4%	27	8%	50	10%	85	6%
4 ゴミ出し	61	5%	7	5%	10	6%	17	5%	26	5%	46	3%
5 外出時の付添い・介助	42	4%	4	3%	10	6%	11	3%	17	3%	42	3%
6 そうじ・せんたく・食事等の家事	28	2%	5	4%	8	4%	6	2%	8	2%	32	2%
7 短時間の子どもの預かり	29	3%	8	6%	14	8%	3	1%	3	1%	38	3%
8 通院・通学等の送迎	87	8%	7	5%	10	6%	24	7%	45	9%	86	6%
9 子どもへの遊び指導や読み聞かせ	49	4%	9	6%	20	11%	11	3%	9	2%	52	4%
10 子どもの登下校時の見守り	143	12%	37	26%	49	27%	29	9%	25	5%	179	13%
11 災害時の避難支援	437	38%	60	43%	71	40%	121	37%	178	36%	475	36%
12 特にない	468	41%	51	36%	65	36%	147	45%	200	41%	542	41%
13 その他	24	2%	1	1%	6	3%	5	2%	12	2%	29	2%
無回答	21	2%	0	0%	0	0%	8	2%	12	2%	44	3%
合計	1,151	100%	141	100%	179	100%	326	100%	489	100%	1,335	100%



「生活の中で手助け等をしてほしいこと」は、「災害時の避難支援」が38%、「安否確認の声かけ」が21%、「子どもの登下校時の見守り」が12%、「話し相手や相談相手」が12%などとなっており、残りの選択肢にもそれぞれ2～8%程度の回答があり、多くの住民が日常生活の中で、様々な生活支援ニーズを持っている状況がみてとれます。

問 11 あなたが、高齢者や障がい者、子どもがいる世帯に対して、協力できることは何ですか。(〇はいくつでも)

	総計		60歳未満男性		60歳未満女性		60歳以上男性		60歳以上女性		【参考】前回総計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1 話し相手や相談相手	362	31%	39	28%	59	33%	94	29%	167	34%	453	34%
2 安否確認の声かけ	542	47%	50	35%	105	59%	152	47%	226	46%	636	48%
3 買い物の手伝いや代行	145	13%	11	8%	33	18%	32	10%	66	13%	193	14%
4 ゴミ出し	186	16%	18	13%	33	18%	46	14%	86	18%	251	19%
5 外出時の付添い・介助	48	4%	7	5%	9	5%	10	3%	21	4%	66	5%
6 そうじ・せんたく・食事等の家事	19	2%	0	0%	7	4%	1	0%	11	2%	41	3%
7 短時間の子どもの預かり	54	5%	7	5%	15	8%	12	4%	18	4%	86	6%
8 通院・通学等の送迎	50	4%	9	6%	10	6%	17	5%	13	3%	83	6%
9 子どもへの遊び指導や読み聞かせ	48	4%	10	7%	17	9%	8	2%	13	3%	69	5%
10 子どもの登下校時の見守り	144	13%	21	15%	44	25%	40	12%	37	8%	206	15%
11 災害時の避難支援	325	28%	68	48%	57	32%	108	33%	84	17%	376	28%
12 特にない	237	21%	30	21%	23	13%	68	21%	114	23%	215	16%
13 その他	32	3%	1	1%	5	3%	6	2%	20	4%	41	3%
無回答	33	3%	1	1%	1	1%	7	2%	24	5%	50	4%
合計	1,151	100%	141	100%	179	100%	326	100%	489	100%	1,335	100%

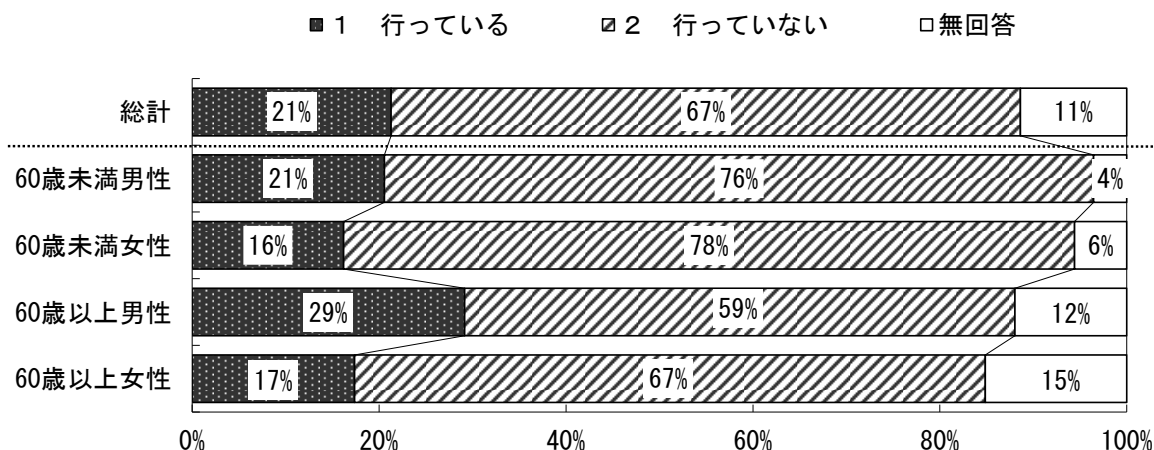


問 10 と同一の選択肢で、「回答者自身が手助け等ができること」をたずねたところ、「安否確認の声かけ」に 47%、「話し相手や相談相手」に 31%、「災害時の避難支援」に 28%の回答者から、協力できるという回答がありました。こうした意識が実践に結びつくよう、活動のきっかけとなる機会づくりなどを行っていくことが期待されます。

問 12 あなたはこの1年間、ボランティア活動や地域福祉活動を行っていますか。(〇は1つだけ)

	総計		60歳未満男性		60歳未満女性		60歳以上男性		60歳以上女性		【参考】前回総計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1 行っている	245	21%	29	21%	29	16%	95	29%	85	17%	326	24%
2 行っていない	775	67%	107	76%	140	78%	192	59%	330	67%	977	73%
無回答	131	11%	5	4%	10	6%	39	12%	74	15%	32	2%
合計	1,151	100%	141	100%	179	100%	326	100%	489	100%	1,335	100%

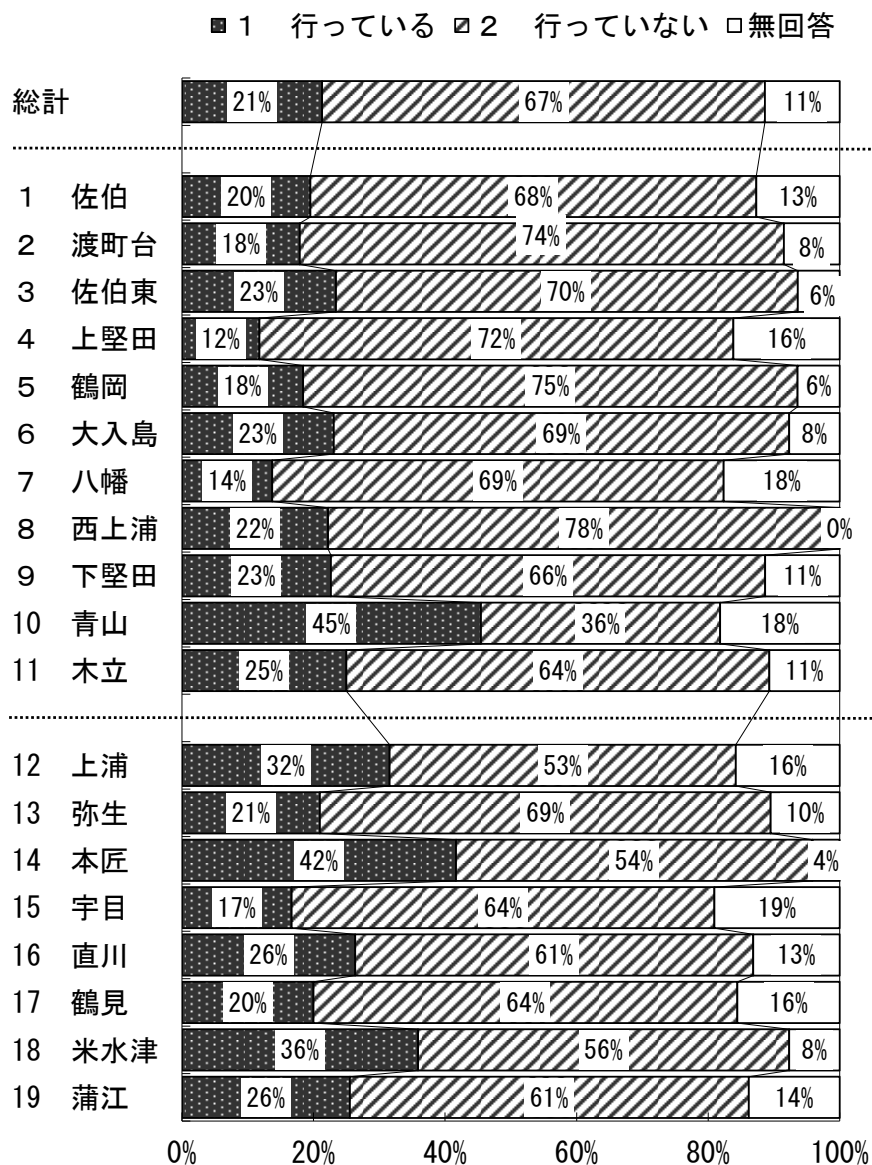
「この1年間のボランティア活動・地域福祉活動の参加の有無」については、「行っていない」が67%、「行っている」が21%となっています。
 「行っている」は、前回調査の24%から3ポイント低下していますが、これは主に高齢化の進展によるものと推察されます。
 また、「60歳以上男性」が29%と他の層より割合が高いことも特徴的です。



	総計		1 佐伯		2 渡町台		3 佐伯東		4 上堅田	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1 行っている	245	21%	40	20%	19	18%	11	23%	8	12%
2 行っていない	775	67%	139	68%	78	74%	33	70%	49	72%
無回答	131	11%	26	13%	9	8%	3	6%	11	16%
合計	1,151	100%	205	100%	106	100%	47	100%	68	100%
	5 鶴岡		6 大入島		7 八幡		8 西上浦		9 下堅田	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1 行っている	23	18%	3	23%	7	14%	4	22%	12	23%
2 行っていない	94	75%	9	69%	35	69%	14	78%	35	66%
無回答	8	6%	1	8%	9	18%	0	0%	6	11%
合計	125	100%	13	100%	51	100%	18	100%	53	100%
	10 青山		11 木立		12 上浦		13 弥生		14 本匠	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1 行っている	5	45%	7	25%	6	32%	26	21%	10	42%
2 行っていない	4	36%	18	64%	10	53%	85	69%	13	54%
無回答	2	18%	3	11%	3	16%	13	10%	1	4%
合計	11	100%	28	100%	19	100%	124	100%	24	100%
	15 宇目		16 直川		17 鶴見		18 米水津		19 蒲江	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1 行っている	7	17%	10	26%	9	20%	14	36%	24	26%
2 行っていない	27	64%	23	61%	29	64%	22	56%	57	61%
無回答	8	19%	5	13%	7	16%	3	8%	13	14%
合計	42	100%	38	100%	45	100%	39	100%	94	100%

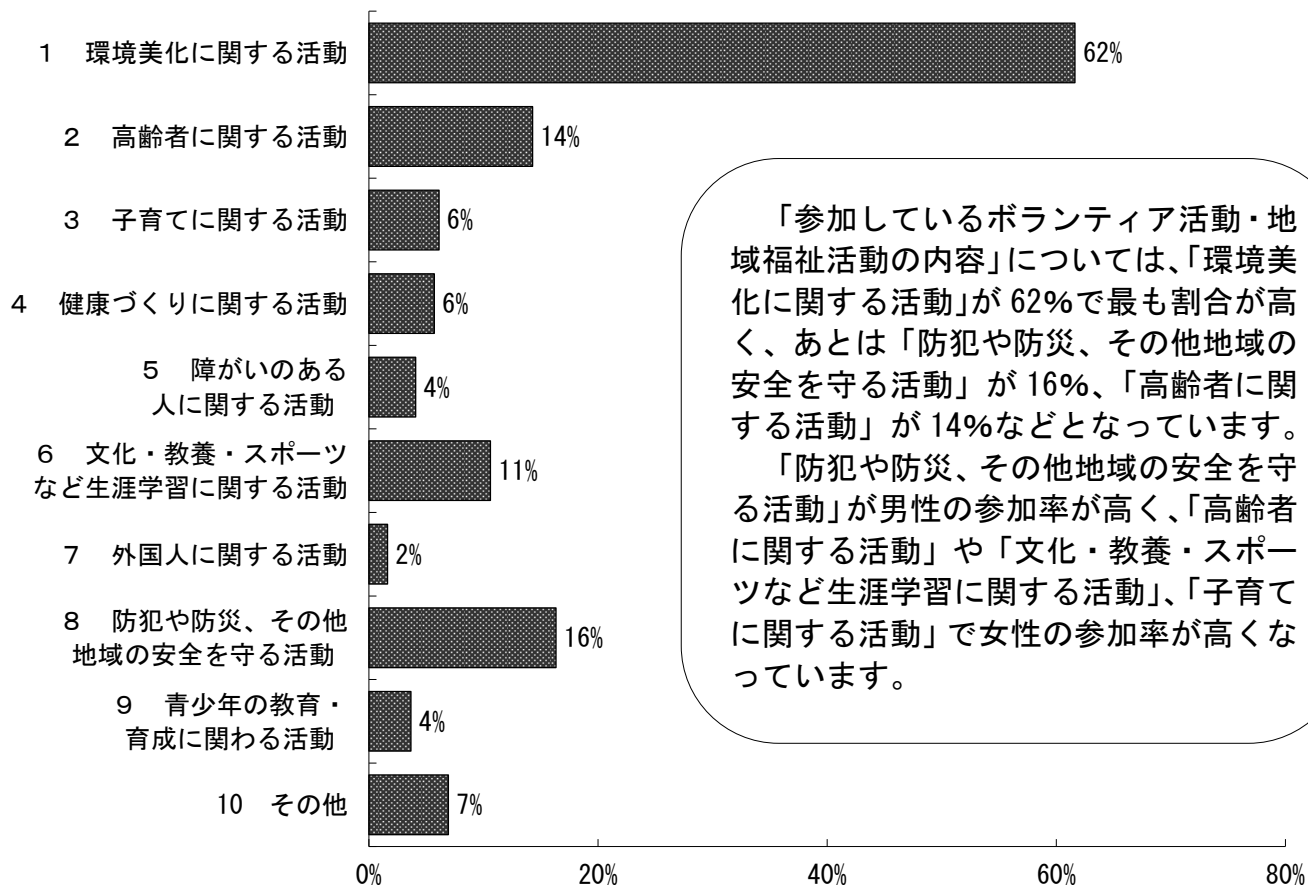
地区別にみると、「ボランティア活動・地域福祉活動の参加率」が高いのは、「10 青山」、「14 本匠」、「18 米水津」の順となっています。

なお、地区によっては回答サンプル数が少なかったり、無回答が多かったりするため、あくまで、各地区で地域福祉活動を展開するための一つの参考値です。



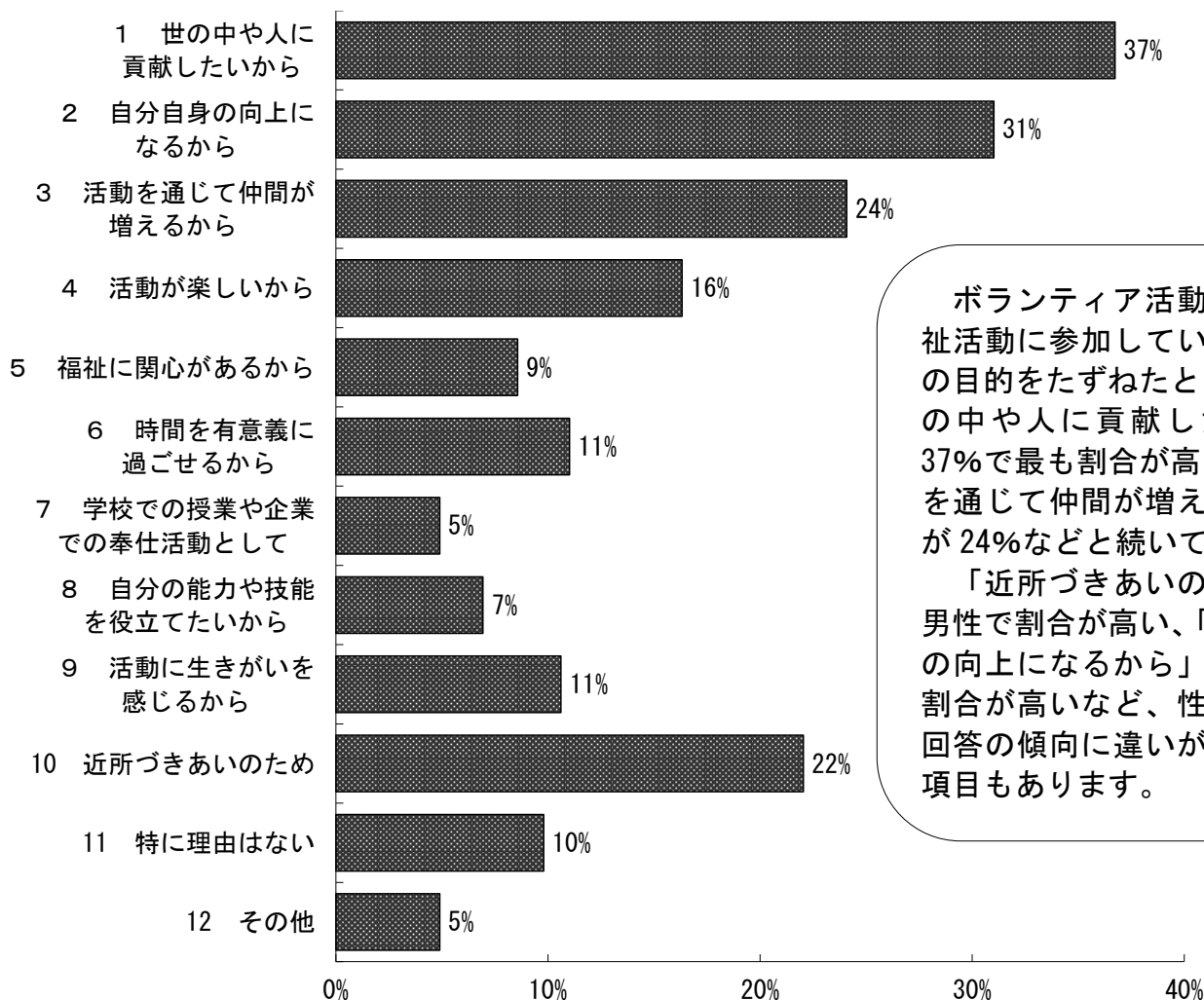
問12-1 問12で「1 行っている」と答えた方におたずねします。それはどのような活動ですか。(〇はいくつでも)

	総計		60歳未満男性		60歳未満女性		60歳以上男性		60歳以上女性		【参考】 前回総計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1 環境美化に関する活動 (自然愛護や美化運動、リサイクル活動等)	151	62%	15	52%	16	55%	63	66%	53	62%	184	56%
2 高齢者に関する活動(高齢者の見守り活動、老人ホーム等の施設訪問等)	35	14%	2	7%	4	14%	8	8%	21	25%	64	20%
3 子育てに関する活動(託児、子育て相談や子育てサークル支援等)	15	6%	2	7%	5	17%	2	2%	6	7%	21	6%
4 健康づくりに関する活動(健康教育等の支援、献血ボランティアとしての活動等)	14	6%	2	7%	2	7%	6	6%	4	5%	35	11%
5 障がいのある人に関する活動(手話や音読、点訳による支援や外出支援、施設訪問等)	10	4%	2	7%	1	3%	2	2%	3	4%	8	2%
6 文化・教養・スポーツなど生涯学習に関する活動	26	11%	2	7%	5	17%	4	4%	12	14%	49	15%
7 外国人に関する活動	4	2%	0	0%	1	3%	2	2%	1	1%	4	1%
8 防犯や防災、その他地域の安全を守る活動	40	16%	9	31%	3	10%	22	23%	5	6%	53	16%
9 青少年の教育・育成に関わる活動	9	4%	1	3%	1	3%	2	2%	4	5%	16	5%
10 その他	17	7%	1	3%	2	7%	6	6%	8	9%	29	9%
無回答	14	6%	1	3%	1	3%	6	6%	6	7%	8	2%
合計	245	100%	29	100%	29	100%	95	100%	85	100%	326	100%



問 12-2 問 12 で「1 行っている」と答えた方におたずねします。あなたは、ボランティア活動や地域福祉活動をどのような目的で行っていますか。(〇はいくつでも)

	総計		60歳未満男性		60歳未満女性		60歳以上男性		60歳以上女性		【参考】前回総計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1 世の中や人に貢献したいから	90	37%	9	31%	15	52%	37	39%	26	31%	103	32%
2 自分自身の向上になるから	76	31%	5	17%	12	41%	19	20%	37	44%	101	31%
3 活動を通じて仲間が増えるから	59	24%	5	17%	7	24%	20	21%	27	32%	92	28%
4 活動が楽しいから	40	16%	1	3%	8	28%	13	14%	18	21%	71	22%
5 福祉に関心があるから	21	9%	3	10%	6	21%	3	3%	8	9%	26	8%
6 時間を有意義に過ごせるから	27	11%	0	0%	5	17%	10	11%	11	13%	31	10%
7 学校での授業や企業での奉仕活動として	12	5%	3	10%	3	10%	3	3%	2	2%	28	9%
8 自分の能力や技能を役立てたいから	17	7%	2	7%	2	7%	6	6%	6	7%	39	12%
9 活動に生きがいを感じるから	26	11%	0	0%	4	14%	11	12%	10	12%	38	12%
10 近所づきあいのため	54	22%	6	21%	4	14%	28	29%	14	16%	91	28%
11 特に理由はない	24	10%	6	21%	2	7%	13	14%	1	1%	37	11%
12 その他	12	5%	2	7%	2	7%	1	1%	6	7%	21	6%
無回答	18	7%	1	3%	1	3%	7	7%	8	9%	18	6%
合計	245	100%	29	100%	29	100%	95	100%	85	100%	326	100%

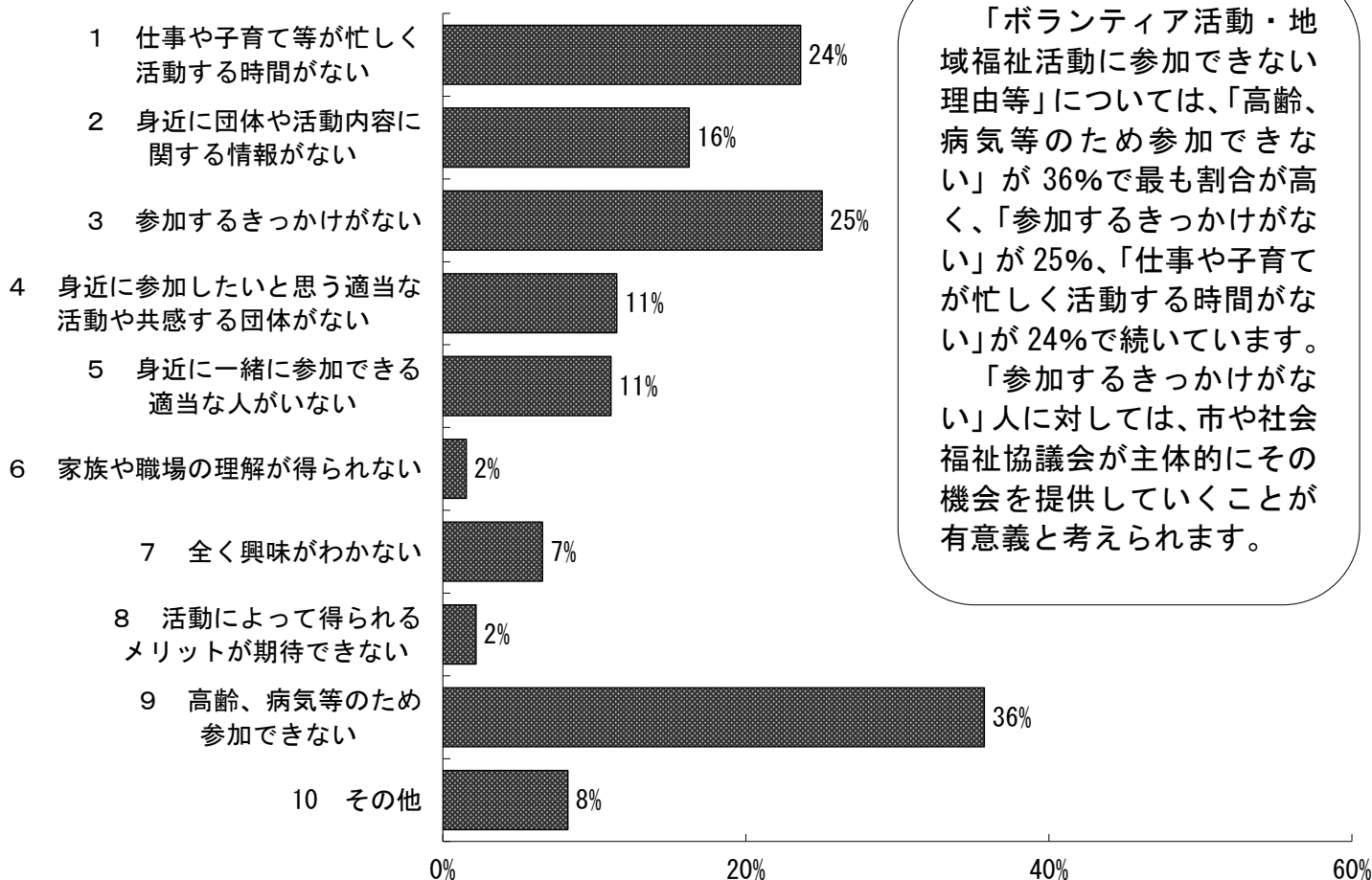


ボランティア活動・地域福祉活動に参加している人にその目的をたずねたところ、「世の中や人に貢献したい」が37%で最も割合が高く、「活動を通じて仲間が増えるから」が24%などと続いています。

「近所づきあいのため」が男性で割合が高い、「自分自身の向上になるから」が女性で割合が高いなど、性別により回答の傾向に違いがみられる項目もあります。

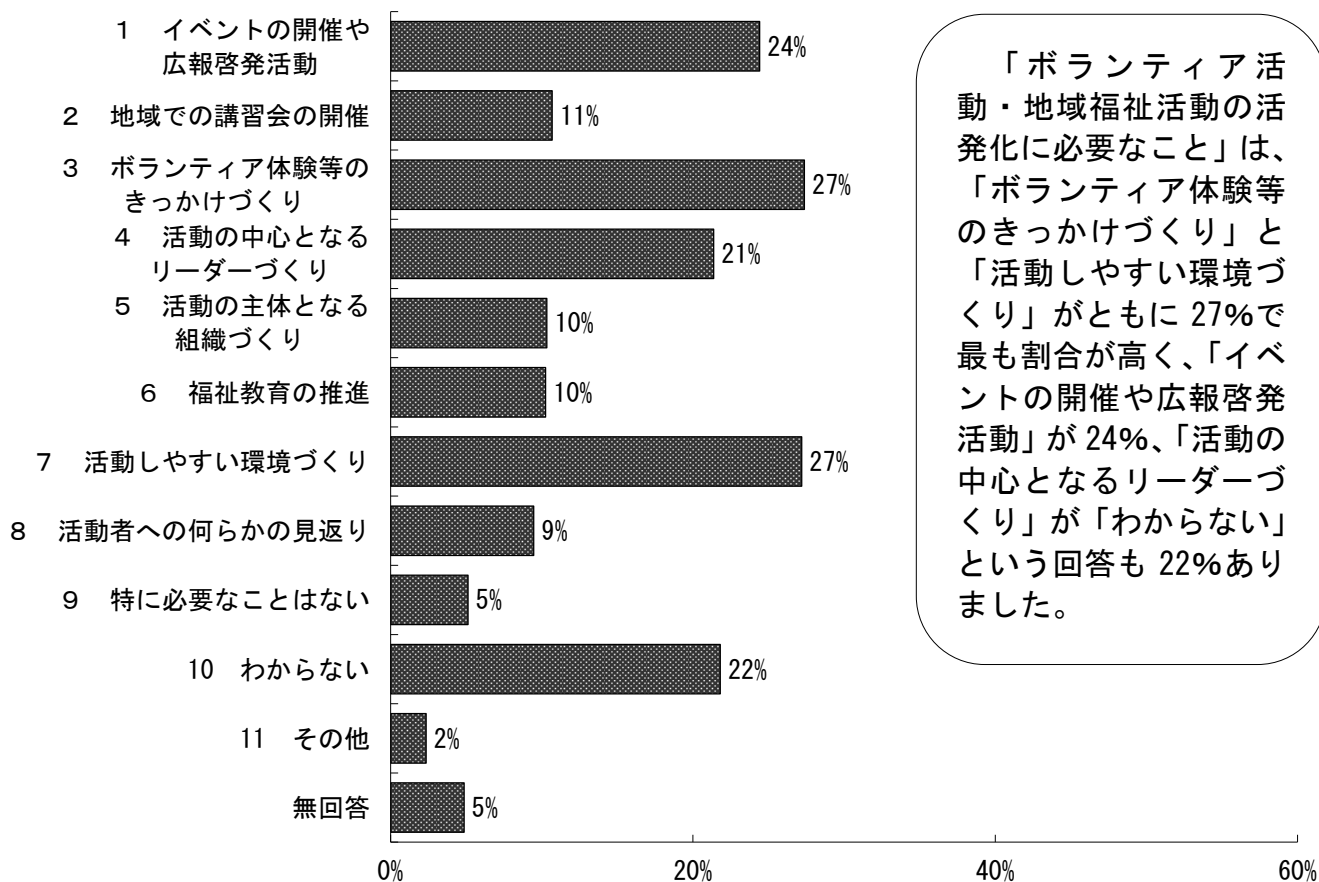
問 13 問 12で「2 行っていない」と答えた方におたずねします。ボランティア活動や地域福祉活動に参加する際に苦勞すること、又は参加できない理由はどのようなことですか。(〇はいくつでも)

	総計		60歳未満男性		60歳未満女性		60歳以上男性		60歳以上女性		前回総計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1 仕事や子育て等が忙しく活動する時間がない	183	24%	47	44%	74	53%	24	13%	37	11%	346	35%
2 身近に団体や活動内容に関する情報がない	126	16%	23	21%	30	21%	32	17%	40	12%	169	17%
3 参加するきっかけがない	194	25%	28	26%	45	32%	54	28%	65	20%	301	31%
4 身近に参加したいと思う適当な活動や共感する団体がない	89	11%	12	11%	16	11%	27	14%	34	10%	115	12%
5 身近に一緒に参加できる適当な人がいない	86	11%	9	8%	19	14%	17	9%	40	12%	138	14%
6 家族や職場の理解が得られない	12	2%	4	4%	3	2%	1	1%	4	1%	9	1%
7 全く興味がわからない	51	7%	15	14%	6	4%	14	7%	16	5%	44	5%
8 活動によって得られるメリット(利点)が期待できない	17	2%	10	9%	3	2%	1	1%	3	1%	13	1%
9 高齢、病気等のため参加できない	277	36%	4	4%	6	4%	87	45%	180	55%	334	34%
10 その他	64	8%	12	11%	17	12%	12	6%	22	7%	45	5%
無回答	46	6%	7	7%	7	5%	9	5%	21	6%	13	1%
合計	775	100%	107	100%	140	100%	192	100%	330	100%	977	100%



問14 あなたは、地域におけるボランティア活動や地域福祉活動を活発にするためには、どのようなことが必要だと思いますか。(〇は3つまで)

	総計		60歳未満男性		60歳未満女性		60歳以上男性		60歳以上女性		【参考】前回総計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1 イベントの開催や広報啓発活動	281	24%	51	36%	58	32%	82	25%	88	18%	352	26%
2 地域での講習会の開催	123	11%	7	5%	8	4%	44	13%	62	13%	191	14%
3 ボランティア体験等のきっかけづくり	315	27%	48	34%	57	32%	70	21%	137	28%	389	29%
4 活動の中心となるリーダーづくり	246	21%	31	22%	35	20%	76	23%	103	21%	315	24%
5 活動の主体となる組織づくり(NPO法人など)	119	10%	14	10%	26	15%	40	12%	39	8%	199	15%
6 福祉教育の推進	118	10%	23	16%	16	9%	30	9%	48	10%	146	11%
7 活動しやすい環境づくり(休暇制度など)	313	27%	56	40%	79	44%	69	21%	106	22%	401	30%
8 活動者への何らかの見返り	109	9%	26	18%	23	13%	29	9%	29	6%	80	6%
9 特に必要なことはない	59	5%	6	4%	4	2%	25	8%	22	4%	35	3%
10 わからない	251	22%	17	12%	34	19%	69	21%	129	26%	192	14%
11 その他	27	2%	1	1%	5	3%	4	1%	14	3%	34	3%
無回答	56	5%	1	1%	3	2%	19	6%	31	6%	98	7%
合計	1,151	100%	141	100%	179	100%	326	100%	489	100%	1,335	100%



「ボランティア活動・地域福祉活動の活発化に必要なこと」は、「ボランティア体験等のきっかけづくり」と「活動しやすい環境づくり」がともに27%で最も割合が高く、「イベントの開催や広報啓発活動」が24%、「活動の中心となるリーダーづくり」が「わからない」という回答も22%ありました。

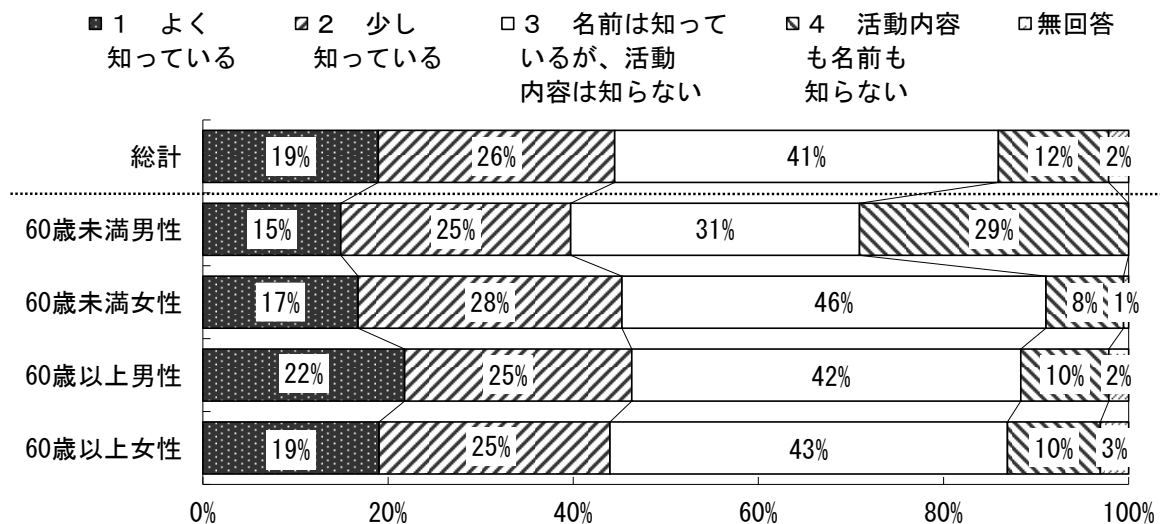
第5章 関係団体等の活動などについて

問 15 市には、地域福祉を推進し社会福祉活動への住民参加を促し、意識を高めるための諸活動を行う「佐伯市社会福祉協議会」があります。あなたは、この組織をご存知でしたか。(〇は1つだけ)

	総計		60歳未満男性		60歳未満女性		60歳以上男性		60歳以上女性		【参考】 前回総計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1 よく知っている	218	19%	21	15%	30	17%	71	22%	93	19%	238	18%
2 少し知っている	294	26%	35	25%	51	28%	80	25%	122	25%	322	24%
3 名前は知っているが、活動内容は知らない	477	41%	44	31%	82	46%	137	42%	210	43%	591	44%
4 活動内容も名前も知らない	137	12%	41	29%	15	8%	31	10%	49	10%	144	11%
無回答	25	2%	0	0%	1	1%	7	2%	15	3%	40	3%
合計	1,151	100%	141	100%	179	100%	326	100%	489	100%	1,335	100%

「佐伯市社会福祉協議会の認知度」については、「よく知っている」は19%、「少し知っている」は26%で、「名前は知っているが、活動内容は知らない」が41%あり、「活動内容も名前も知らない」も12%ありました。特に、「60歳未満男性」では、「活動内容も名前も知らない」が29%にのぼっています。

引き続き、佐伯市社会福祉協議会の認知度向上に努める必要があります。



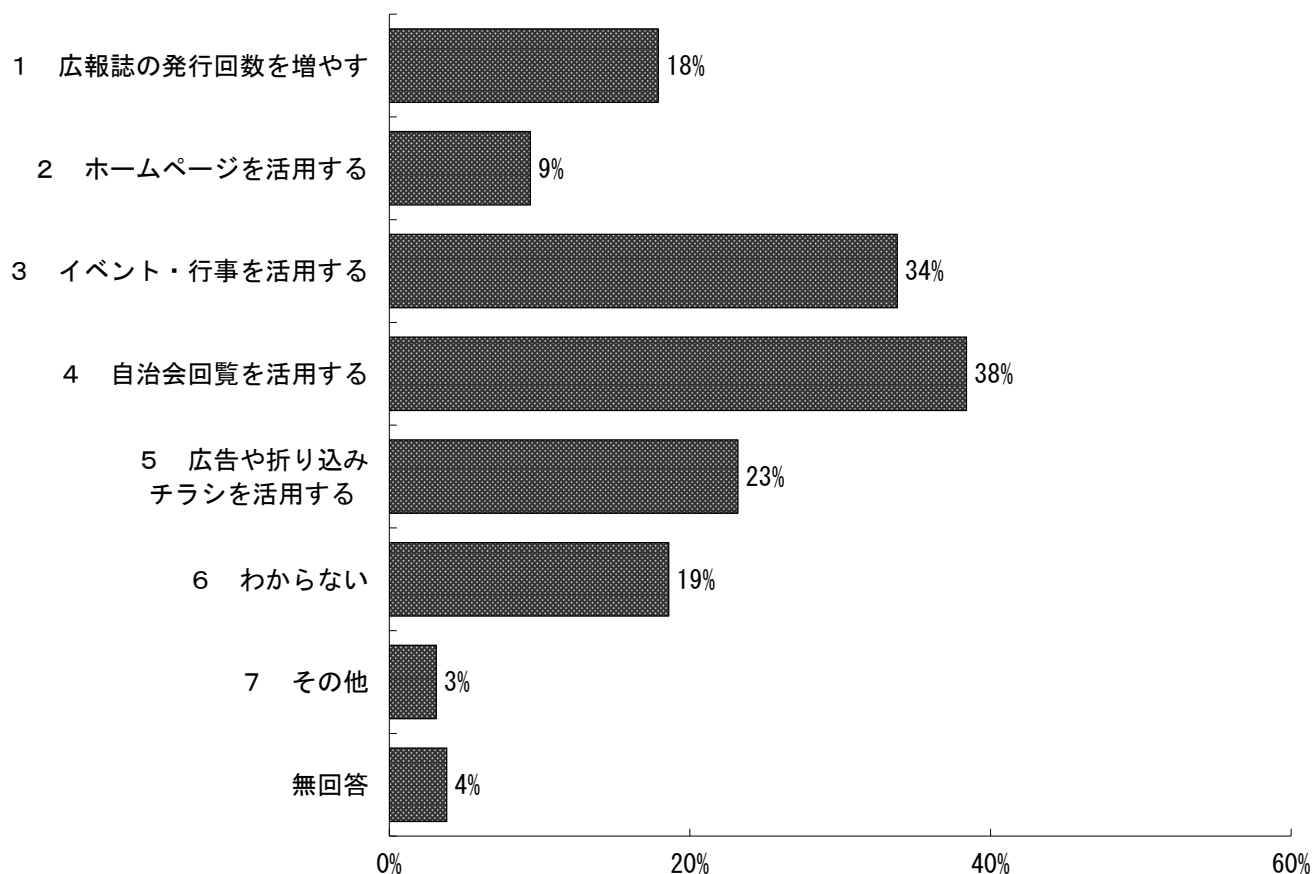
問 16 社会福祉協議会の事業や活動を広く知ってもらうためにはどうすればよいと思いますか。(〇はいくつでも)

	総計		60歳未満男性		60歳未満女性		60歳以上男性		60歳以上女性		【参考】 前回総計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1 広報誌の発行回数を増やす	206	18%	27	19%	20	11%	66	20%	92	19%	308	23%
2 ホームページを活用する	108	9%	27	19%	35	20%	17	5%	27	6%	154	12%
3 イベント・行事を活用する	389	34%	62	44%	89	50%	89	27%	142	29%	478	36%
4 自治会回覧を活用する	442	38%	41	29%	53	30%	154	47%	190	39%	550	41%
5 広告や折り込みチラシを活用する	267	23%	31	22%	42	23%	74	23%	119	24%	347	26%
6 わからない	214	19%	23	16%	26	15%	66	20%	95	19%	185	14%
7 その他	36	3%	8	6%	6	3%	8	2%	13	3%	39	3%
無回答	44	4%	2	1%	3	2%	9	3%	26	5%	71	5%
合計	1,151	100%	141	100%	179	100%	326	100%	489	100%	1,335	100%

「社会福祉協議会の事業や活動を知ってもらうために必要なこと」は、「自治会回覧を活用する」が38%で最も割合が高く、次いで、「イベント・行事を活用する」が34%、「広告や折り込みチラシを活用する」が23%などとなっています。

問15で認知度が低いことが明らかになった60歳未満の層では、「イベント・行事を活用する」ことが有効と考えている割合が高くなっています。

こうした意識もふまえながら、引き続き、事業や活動の周知に努める必要があります。

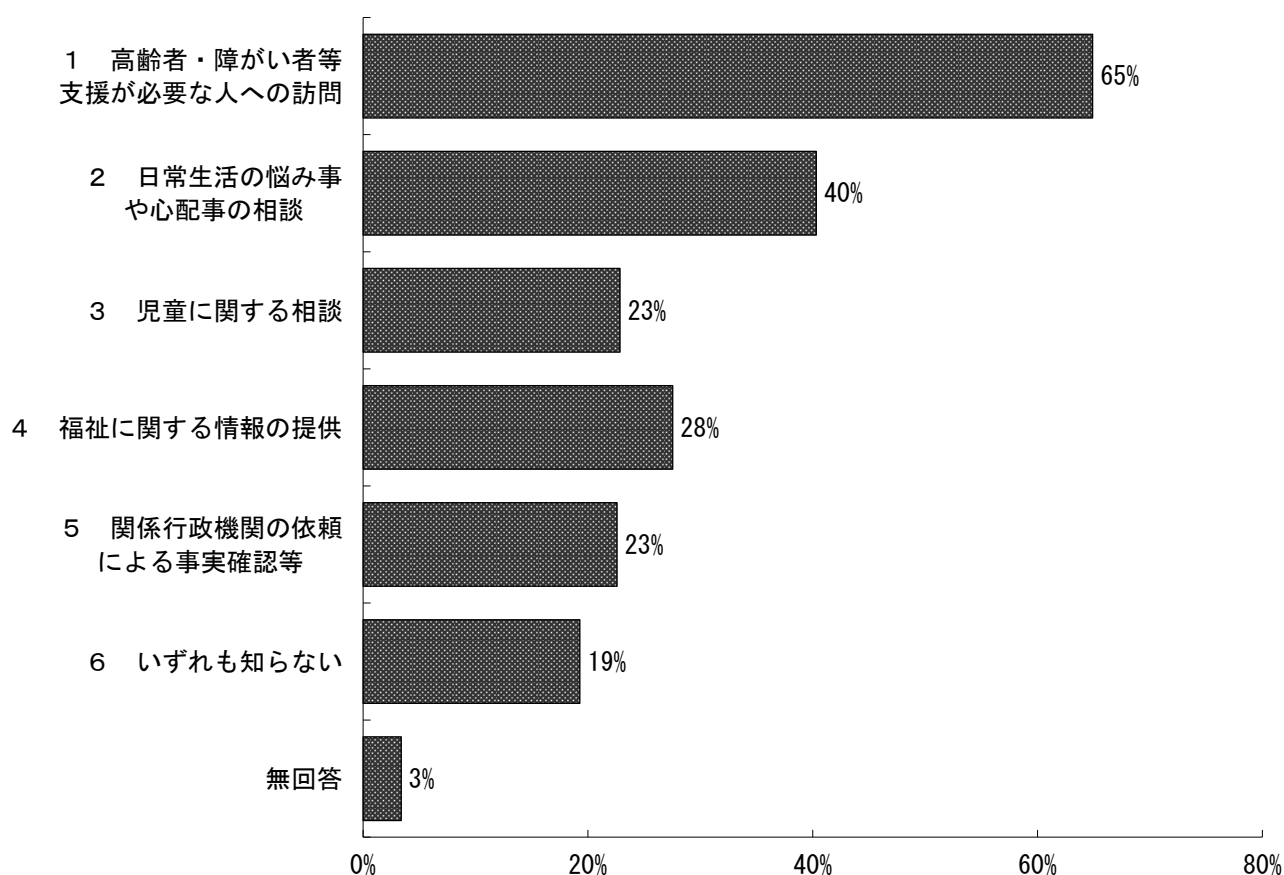


問 17 民生委員・児童委員は、社会福祉の精神をもって、誰もが安心して暮らすことのできる地域社会を目指して様々な活動を行っています。民生委員・児童委員が行う活動としてご存知の内容を選んでください。(〇はいくつでも)

	総計		60歳未満男性		60歳未満女性		60歳以上男性		60歳以上女性		【参考】 前回総計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1 高齢者・障がい者等支援が必要な人への訪問	747	65%	63	45%	105	59%	211	65%	359	73%	841	63%
2 日常生活の悩み事や心配事の相談	464	40%	53	38%	70	39%	124	38%	212	43%	557	42%
3 児童に関する相談	263	23%	40	28%	62	35%	64	20%	93	19%	349	26%
4 福祉に関する情報の提供	317	28%	34	24%	46	26%	93	29%	141	29%	370	28%
5 関係行政機関の依頼による事実確認等	260	23%	28	20%	45	25%	74	23%	110	22%	273	20%
6 いずれも知らない	222	19%	49	35%	46	26%	60	18%	64	13%	224	17%
無回答	39	3%	1	1%	3	2%	9	3%	22	4%	52	4%
合計	1,151	100%	141	100%	179	100%	326	100%	489	100%	1,335	100%

「民生委員・児童委員の活動の認知状況」については、「高齢者・障がい者等支援が必要な人への訪問」は65%が知っている一方、「日常生活の悩み事や心配事の相談」は40%に、その他情報提供や行政との連携については2～3割の認知度に留まっています。

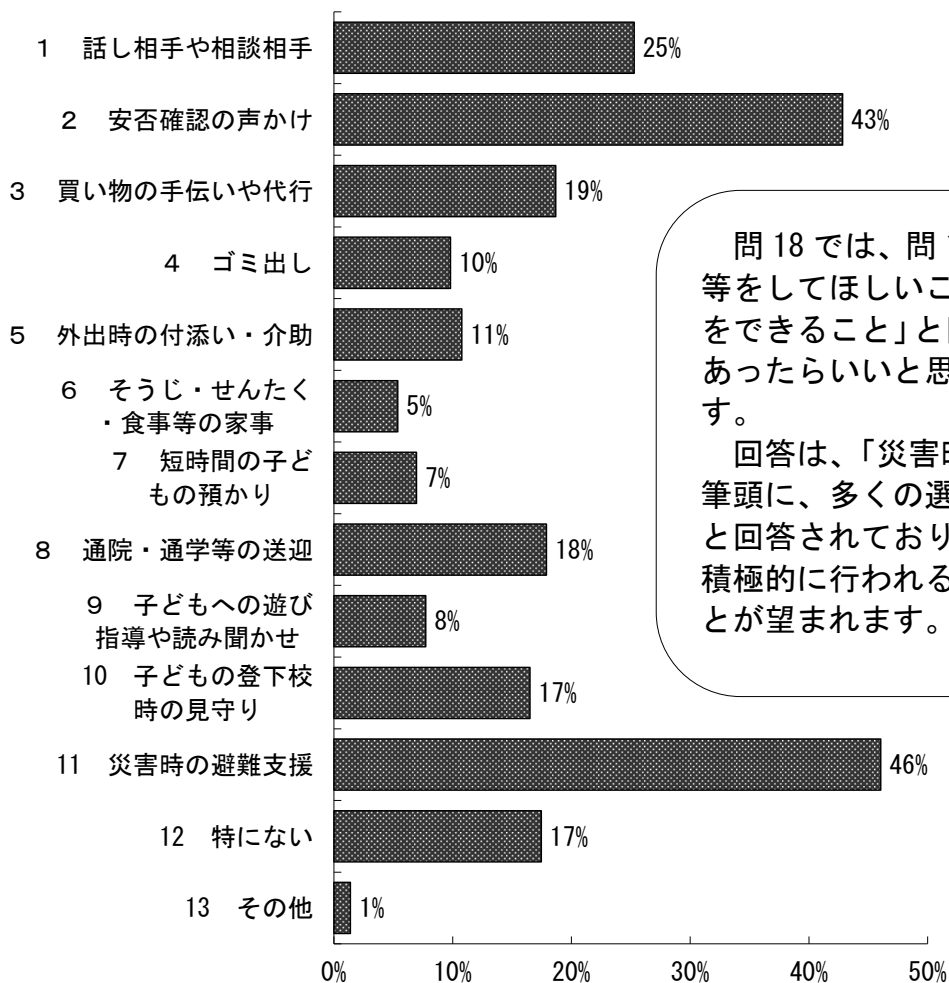
また、60歳以上の層より、60歳未満の特に男性の認知度が低くなっており、こうした層を中心に、民生委員・児童委員の活動を広く知ってもらう取り組みを強化していくことが求められます。



第6章 地域のネットワークづくりと支え合い活動について

問18 あなたの住む地域の中に「あったらいいな」と思う支えあい活動はどんなことですか。(〇はいくつでも)

	総計		60歳未満男性		60歳未満女性		60歳以上男性		60歳以上女性		【参考】前回総計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1 話し相手や相談相手	291	25%	39	28%	41	23%	69	21%	139	28%	343	26%
2 安否確認の声かけ	493	43%	50	35%	81	45%	140	43%	217	44%	524	39%
3 買い物の手伝いや代行	215	19%	25	18%	46	26%	53	16%	85	17%	213	16%
4 ゴミ出し	113	10%	14	10%	33	18%	21	6%	43	9%	119	9%
5 外出時の付添い・介助	124	11%	21	15%	25	14%	22	7%	52	11%	133	10%
6 そうじ・せんたく・食事等の家事	62	5%	12	9%	14	8%	12	4%	22	4%	80	6%
7 短時間の子どもの預かり	80	7%	19	13%	33	18%	7	2%	21	4%	99	7%
8 通院・通学等の送迎	206	18%	25	18%	28	16%	55	17%	96	20%	269	20%
9 子どもへの遊び指導や読み聞かせ	89	8%	24	17%	28	16%	19	6%	18	4%	96	7%
10 子どもの登下校時の見守り	190	17%	38	27%	59	33%	45	14%	42	9%	258	19%
11 災害時の避難支援	530	46%	72	51%	85	47%	147	45%	217	44%	656	49%
12 特にない	201	17%	26	18%	22	12%	67	21%	85	17%	187	14%
13 その他	16	1%	0	0%	1	1%	3	1%	12	2%	17	1%
無回答	39	3%	2	1%	3	2%	11	3%	22	4%	57	4%
合計	1,151	100%	141	100%	179	100%	326	100%	489	100%	1,335	100%



問18では、問10の「生活の中で手助け等をしてほしいこと」、問11の「手助け等ができること」と同様の選択肢で、「地域にあったらいいと思う活動」をたずねています。

回答は、「災害時の避難支援」の46%を筆頭に、多くの選択肢で「あったらいい」と回答されており、こうした活動が地域で積極的に行われるよう、働きかけていくことが望まれます。

	総計		1 佐伯		2 渡町台		3 佐伯東		4 上堅田		5 鶴岡		6 大入島	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1 話し相手や相談相手	291	25%	42	20%	28	26%	12	26%	10	15%	24	19%	5	38%
2 安否確認の声かけ	492	43%	74	36%	47	44%	20	43%	26	38%	43	34%	9	69%
3 買い物の手伝いや代行	215	19%	41	20%	24	23%	8	17%	8	12%	16	13%	2	15%
4 ゴミ出し	112	10%	22	11%	10	9%	2	4%	9	13%	11	9%	0	0%
5 外出時の付添い・介助	124	11%	19	9%	17	16%	4	9%	6	9%	8	6%	1	8%
6 そうじ・せんたく・食事等の家事	62	5%	10	5%	7	7%	3	6%	4	6%	6	5%	0	0%
7 短時間の子どもの預かり	79	7%	16	8%	15	14%	3	6%	4	6%	4	3%	0	0%
8 通院・通学等の送迎	206	18%	26	13%	17	16%	7	15%	6	9%	16	13%	2	15%
9 子どもへの遊び指導や読み聞かせ	88	8%	16	8%	8	8%	5	11%	8	12%	7	6%	0	0%
10 子どもの登下校時の見守り	190	17%	44	21%	27	25%	9	19%	13	19%	25	20%	0	0%
11 災害時の避難支援	529	46%	94	46%	56	53%	23	49%	32	47%	57	46%	8	62%
12 特にない	200	17%	43	21%	11	10%	6	13%	11	16%	35	28%	2	15%
13 その他	16	1%	1	0%	1	1%	0	0%	0	0%	3	2%	0	0%
無回答	39	3%	6	3%	4	4%	1	2%	2	3%	1	1%	0	0%
合計	1,151	100%	205	100%	106	100%	47	100%	68	100%	125	100%	13	100%
	7 八幡		8 西上浦		9 下堅田		10 青山		11 木立		12 上浦		13 弥生	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1 話し相手や相談相手	15	29%	2	11%	18	34%	0	0%	4	14%	10	53%	33	27%
2 安否確認の声かけ	20	39%	8	44%	23	43%	4	36%	10	36%	13	68%	65	52%
3 買い物の手伝いや代行	12	24%	3	17%	15	28%	3	27%	3	11%	4	21%	21	17%
4 ゴミ出し	4	8%	1	6%	12	23%	0	0%	0	0%	3	16%	13	10%
5 外出時の付添い・介助	6	12%	3	17%	10	19%	1	9%	2	7%	1	5%	13	10%
6 そうじ・せんたく・食事等の家事	3	6%	1	6%	6	11%	0	0%	1	4%	0	0%	6	5%
7 短時間の子どもの預かり	1	2%	2	11%	5	9%	0	0%	2	7%	2	11%	11	9%
8 通院・通学等の送迎	15	29%	3	17%	13	25%	2	18%	6	21%	7	37%	30	24%
9 子どもへの遊び指導や読み聞かせ	3	6%	2	11%	5	9%	0	0%	0	0%	1	5%	12	10%
10 子どもの登下校時の見守り	5	10%	2	11%	9	17%	0	0%	3	11%	3	16%	23	19%
11 災害時の避難支援	21	41%	5	28%	27	51%	4	36%	7	25%	11	58%	61	49%
12 特にない	7	14%	5	28%	9	17%	2	18%	12	43%	0	0%	14	11%
13 その他	1	2%	0	0%	0	0%	0	0%	1	4%	0	0%	1	1%
無回答	0	0%	0	0%	0	0%	1	9%	0	0%	1	5%	4	3%
合計	51	100%	18	100%	53	100%	11	100%	28	100%	19	100%	124	100%
	14 本匠		15 宇目		16 直川		17 鶴見		18 米水津		19 蒲江			
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合		
1 話し相手や相談相手	10	42%	13	31%	7	18%	15	33%	11	28%	31	33%		
2 安否確認の声かけ	8	33%	18	43%	14	37%	21	47%	17	44%	53	56%		
3 買い物の手伝いや代行	7	29%	12	29%	4	11%	10	22%	8	21%	13	14%		
4 ゴミ出し	2	8%	4	10%	1	3%	8	18%	3	8%	8	9%		
5 外出時の付添い・介助	5	21%	7	17%	3	8%	5	11%	1	3%	12	13%		
6 そうじ・せんたく・食事等の家事	0	0%	2	5%	1	3%	5	11%	2	5%	5	5%		
7 短時間の子どもの預かり	1	4%	0	0%	2	5%	5	11%	3	8%	4	4%		
8 通院・通学等の送迎	6	25%	10	24%	4	11%	11	24%	8	21%	17	18%		
9 子どもへの遊び指導や読み聞かせ	2	8%	4	10%	4	11%	3	7%	2	5%	7	7%		
10 子どもの登下校時の見守り	1	4%	4	10%	3	8%	7	16%	4	10%	8	9%		
11 災害時の避難支援	15	63%	10	24%	11	29%	24	53%	20	51%	43	46%		
12 特にない	3	13%	7	17%	7	18%	8	18%	8	21%	11	12%		
13 その他	0	0%	0	0%	3	8%	2	4%	1	3%	2	2%		
無回答	2	8%	3	7%	3	8%	2	4%	2	5%	7	7%		
合計	24	100%	42	100%	38	100%	45	100%	39	100%	94	100%		

佐伯市や佐伯市社会福祉協議会では、地区ごとに「生活支援体制整備」や「コミュニティのあり方検討」を働きかけており、各地区での協議の検討材料として、「地域にあったらいいと思う活動」の地区別集計結果を掲載します。

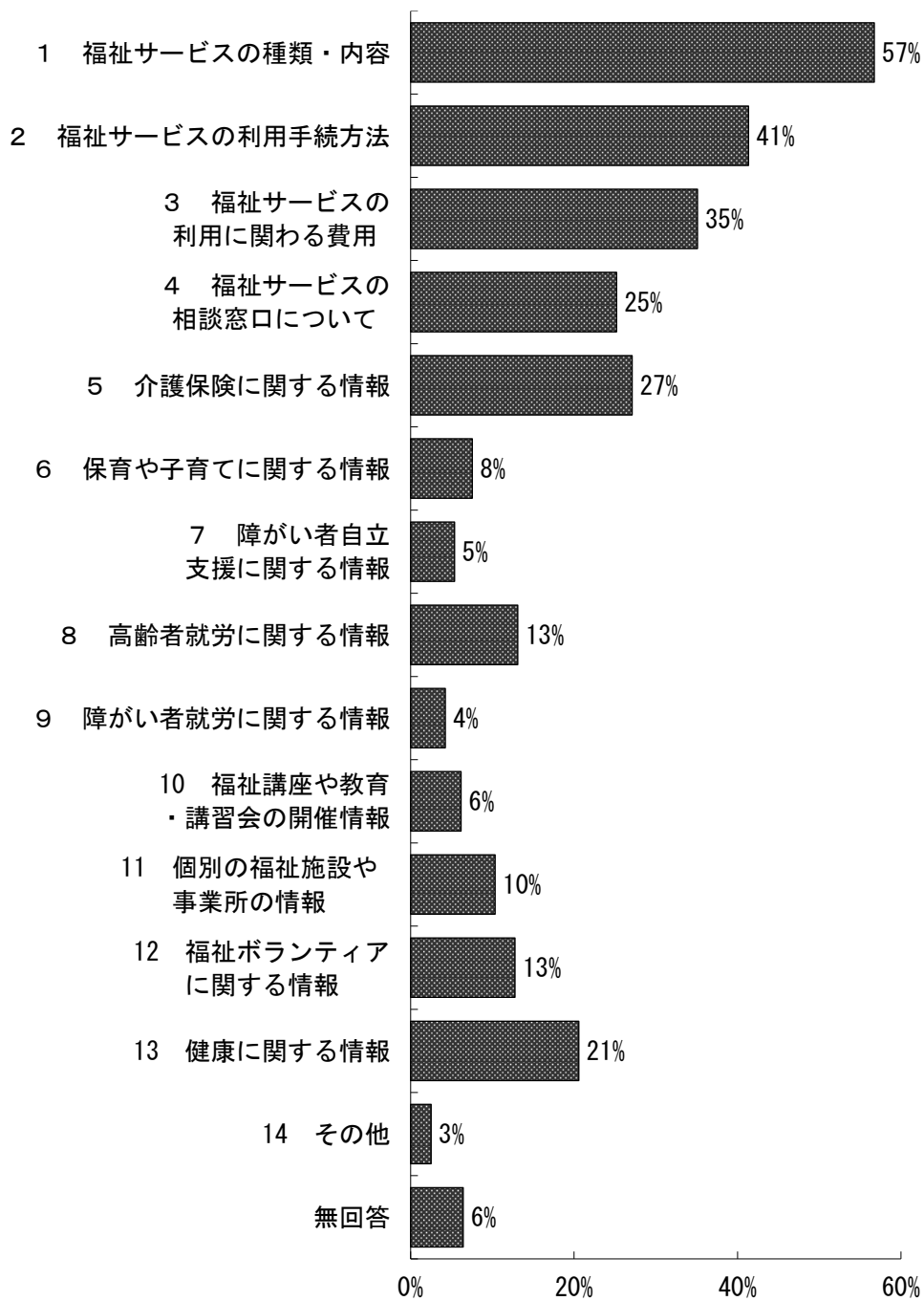
第7章 知りたい情報や情報の取得方法について

問 19 あなたは、福祉に関するどのような情報が知りたいと思いますか。(〇はいくつでも)

	総計		60歳未満 男性		60歳未満 女性		60歳以上 男性		60歳以上 女性		【参考】 前回総計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1 福祉サービスの種類・内容	653	57%	87	62%	94	53%	187	57%	278	57%	731	55%
2 福祉サービスの利用手続方法	476	41%	58	41%	65	36%	119	37%	229	47%	587	44%
3 福祉サービスの利用に関わる費用	404	35%	55	39%	57	32%	102	31%	187	38%	498	37%
4 福祉サービスの相談窓口について	290	25%	37	26%	52	29%	67	21%	128	26%	297	22%
5 介護保険に関する情報	312	27%	26	18%	36	20%	89	27%	153	31%	387	29%
6 保育や子育てに関する情報	87	8%	24	17%	49	27%	8	2%	6	1%	113	8%
7 障がい者自立支援に関する情報	62	5%	8	6%	12	7%	19	6%	22	4%	84	6%
8 高齢者就労に関する情報	151	13%	26	18%	28	16%	47	14%	48	10%	188	14%
9 障がい者就労に関する情報	49	4%	15	11%	17	9%	6	2%	10	2%	55	4%
10 福祉講座や教育・講習会の開催情報	71	6%	8	6%	19	11%	18	6%	26	5%	68	5%
11 個別の福祉施設や事業所の情報	119	10%	16	11%	17	9%	27	8%	57	12%	131	10%
12 福祉ボランティアに関する情報	147	13%	16	11%	26	15%	34	10%	69	14%	148	11%
13 健康に関する情報	237	21%	32	23%	29	16%	71	22%	101	21%	274	21%
14 その他	29	3%	2	1%	5	3%	7	2%	14	3%	38	3%
無回答	74	6%	4	3%	4	2%	24	7%	39	8%	127	10%
合計	1,151	100%	141	100%	179	100%	326	100%	489	100%	1,335	100%

「知りたい福祉情報の内容」については、「福祉サービスの種類・内容」が57%と最も割合が高く、次いで、「福祉サービスの利用手続方法」が41%、「福祉サービスの利用に関わる費用」が35%などとなっています。

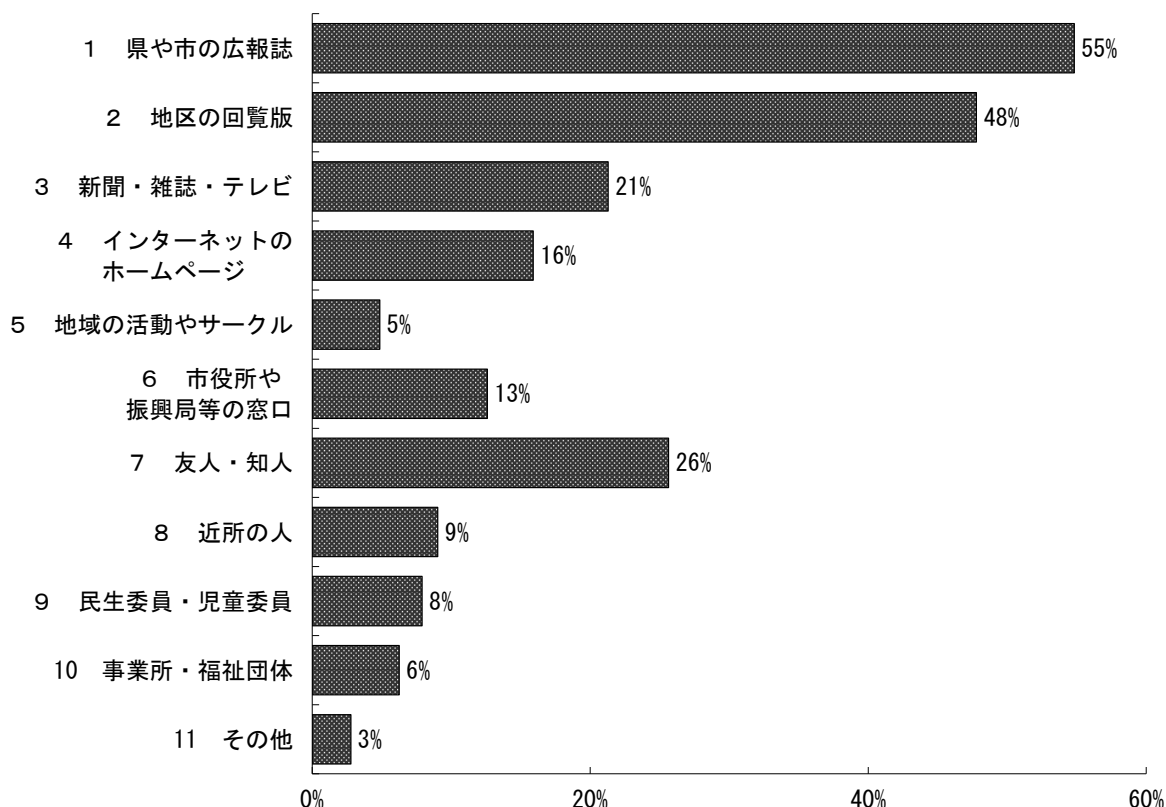
13の選択肢のそれぞれについて、知りたいという回答がみられることから、知りたい人に知りたい情報が伝わるよう、きめ細かく情報提供していくことが望まれます。



問20 あなたは、行政福祉サービスに関する情報をどういった方法で取得しますか。(〇はいくつでも)

	総計		60歳未満男性		60歳未満女性		60歳以上男性		60歳以上女性		【参考】前回総計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1 県や市の広報誌	631	55%	61	43%	103	58%	194	60%	265	54%	738	55%
2 地区の回覧版	550	48%	43	30%	65	36%	181	56%	255	52%	672	50%
3 新聞・雑誌・テレビ	245	21%	21	15%	26	15%	73	22%	123	25%	322	24%
4 インターネットのホームページ	183	16%	67	48%	74	41%	22	7%	16	3%	149	11%
5 地域の活動やサークル	56	5%	0	0%	6	3%	17	5%	31	6%	62	5%
6 市役所や振興局等の窓口	145	13%	15	11%	31	17%	35	11%	61	12%	153	11%
7 友人・知人	295	26%	31	22%	44	25%	61	19%	157	32%	336	25%
8 近所の人	104	9%	3	2%	3	2%	43	13%	54	11%	146	11%
9 民生委員・児童委員	91	8%	2	1%	4	2%	27	8%	56	11%	117	9%
10 事業所・福祉団体	72	6%	5	4%	15	8%	12	4%	40	8%	79	6%
11 その他	32	3%	5	4%	3	2%	11	3%	12	2%	27	2%
無回答	39	3%	2	1%	3	2%	13	4%	19	4%	61	5%
合計	1,151	100%	141	100%	179	100%	326	100%	489	100%	1,335	100%

「行政福祉サービスに関する情報の取得方法」は、「県や市の広報誌」が55%で最も多く、「地区の回覧版」が48%で続いています。「インターネットのホームページ」は回答者全体では16%で、前回調査時の11%から5ポイント上昇しており、60歳未満では4～5割が利用していますが、60歳以上では男性で7%、女性で3%と極端に少ないため、情報伝達手段の扱いとしては、注意が必要と言えます。



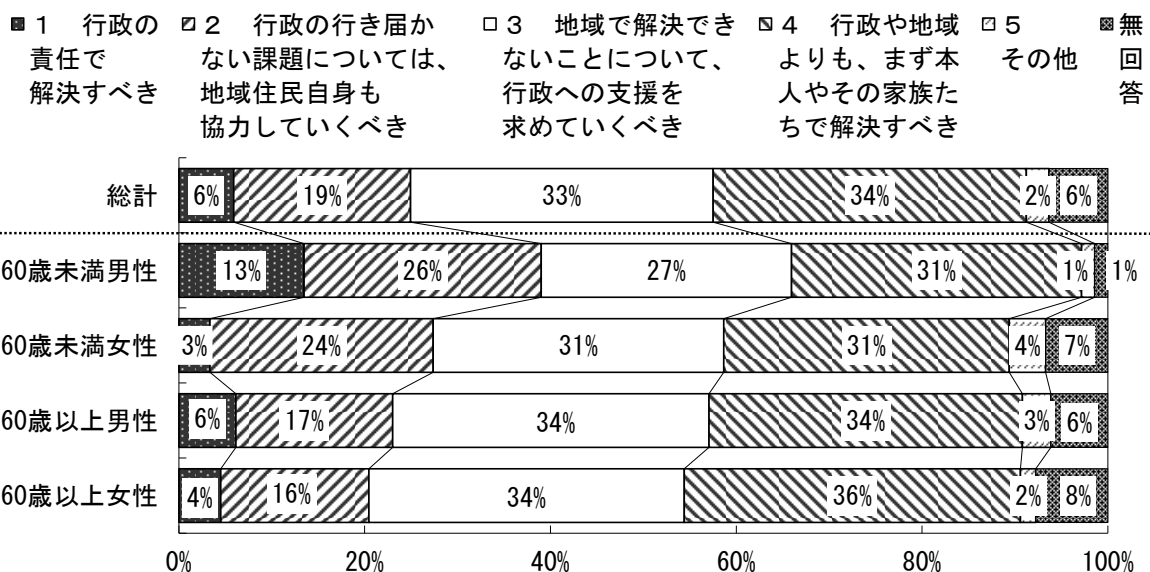
第8章 心配事の解決方法について

問 21 あなたは、生活する上で日ごろ感じている心配事について、どのようにして解決すべきと思いますか。(〇は1つだけ)

	総計		60歳未満男性		60歳未満女性		60歳以上男性		60歳以上女性		【参考】 前回総計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1 行政の責任で解決すべき	68	6%	19	13%	6	3%	20	6%	22	4%	68	5%
2 行政の行き届かない課題については、地域住民自身も協力していくべき	219	19%	36	26%	43	24%	55	17%	78	16%	264	20%
3 地域で解決できないことについて、行政への支援を求めていくべき	375	33%	38	27%	56	31%	111	34%	166	34%	443	33%
4 行政や地域よりも、まず本人やその家族たちで解決すべき	388	34%	44	31%	55	31%	110	34%	177	36%	432	32%
5 その他	28	2%	2	1%	7	4%	10	3%	8	2%	33	2%
無回答	73	6%	2	1%	12	7%	20	6%	38	8%	95	7%
合計	1,151	100%	141	100%	179	100%	326	100%	489	100%	1,335	100%

「生活上の心配事の解決に際して望まれる行政と地域の役割分担」については、「行政や地域よりも、まず本人やその家族たちで解決すべき」が34%、「地域で解決できないことについて、行政への支援を求めていくべき」が33%、「行政の行き届かない課題については、地域住民自身も協力していくべき」が19%となっており、意見が分かれています。

選択肢1・2が行政主導寄り、選択肢3・4が住民主導寄りの選択肢ですが、男性より女性の方が、60歳未満より60歳以上の方が、より、住民主導寄りの回答となっています。

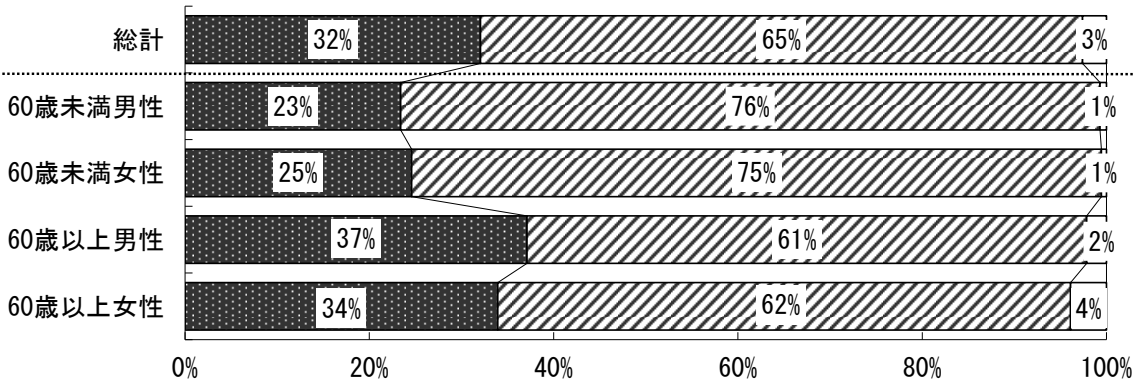


第9章 地域ぐるみの防災対策について

問22 あなたは、「災害時避難行動要支援者に対する支援制度」をご存知でしたか。(〇は1つだけ)

	総計		60歳未満男性		60歳未満女性		60歳以上男性		60歳以上女性		【参考】前回総計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1 知っていた	369	32%	33	23%	44	25%	121	37%	166	34%	349	26%
2 知らなかった	752	65%	107	76%	134	75%	198	61%	304	62%	919	69%
無回答	30	3%	1	1%	1	1%	7	2%	19	4%	67	5%
合計	1,151	100%	141	100%	179	100%	326	100%	489	100%	1,335	100%

■ 1 知っていた □ 2 知らなかった □ 無回答

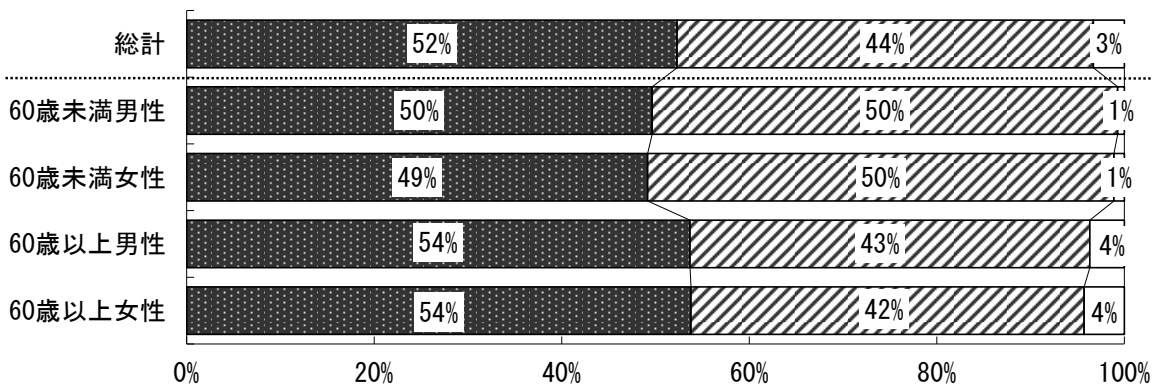


「災害時避難行動要支援者に対する支援制度の認知度」は、「知っていた」が32%、「知らなかった」が65%となっています。前回調査時の26%から6ポイント上昇しています。

問23 あなたには、災害時に同居家族以外に近所で頼れる人はいますか。(〇は1つだけ)

	総計		60歳未満男性		60歳未満女性		60歳以上男性		60歳以上女性		【参考】前回総計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1 いる	602	52%	70	50%	88	49%	175	54%	263	54%	744	56%
2 いない	511	44%	70	50%	89	50%	139	43%	205	42%	529	40%
無回答	38	3%	1	1%	2	1%	12	4%	21	4%	62	5%
合計	1,151	100%	141	100%	179	100%	326	100%	489	100%	1,335	100%

■ 1 いる □ 2 いない □ 無回答

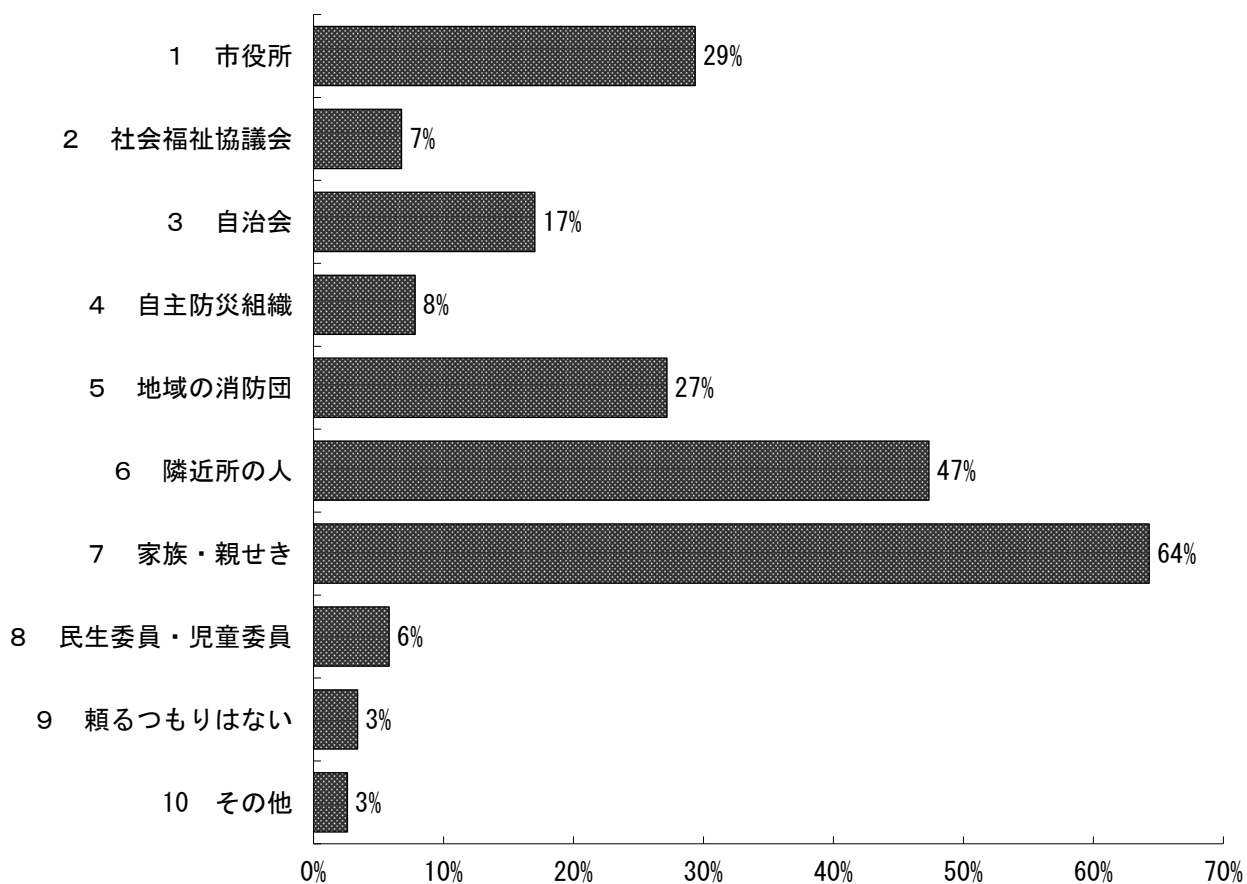


「災害時に同居家族以外に近所で頼れる人」は、「いる」が52%、「いない」が44%となっています。前回調査時の56%から4ポイント低下しています。

問 24 あなたが災害発生時に頼りにしている、又は頼りにしたいと思うところ(人)はどこ(誰)ですか。(〇はいくつでも)

	総計		60歳未満男性		60歳未満女性		60歳以上男性		60歳以上女性		【参考】 前回総計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1 市役所	338	29%	51	36%	72	40%	101	31%	107	22%	422	32%
2 社会福祉協議会	78	7%	14	10%	16	9%	15	5%	32	7%	102	8%
3 自治会	196	17%	13	9%	29	16%	69	21%	81	17%	235	18%
4 自主防災組織	90	8%	15	11%	8	4%	32	10%	34	7%	101	8%
5 地域の消防団	313	27%	30	21%	44	25%	105	32%	130	27%	474	36%
6 隣近所の人	545	47%	46	33%	69	39%	170	52%	255	52%	678	51%
7 家族・親せき	740	64%	84	60%	126	70%	183	56%	336	69%	899	67%
8 民生委員・児童委員	67	6%	7	5%	7	4%	13	4%	40	8%	73	5%
9 頼るつもりはない	39	3%	9	6%	4	2%	16	5%	9	2%	31	2%
10 その他	30	3%	7	5%	7	4%	5	2%	11	2%	24	2%
無回答	24	2%	2	1%	1	1%	7	2%	13	3%	36	3%
合計	1,151	100%	141	100%	179	100%	326	100%	489	100%	1,335	100%

「災害発生時に頼りにしている、又は頼りにしたいと思うところ(人)」は、「家族・親せき」が64%で最も多く、「隣近所の人」が47%、「市役所」が29%、「地域の消防団」が27%と続いています。



19 の地区別に、「災害発生時に頼りにしている、又は頼りにしたいと思うところ(人)」を比較すると、「市役所」や「社会福祉協議会」は、施設所在地区やその近隣地区の割合が高い傾向があるなど、特徴がみられます。

「自治会」と「自主防災組織」(合算)が比較的割合が高い地区としては、「大入島」「西上浦」「宇目」「米水津」があげられ、逆に低い地区として、「佐伯」「直川」「蒲江」などがあげられます。「地域の消防団」は、「大入島」「青山」「木立」「上浦」「本匠」「米水津」「蒲江」などで高い傾向がみられます。

こうした現状をふまえ、地域防災体制の維持・強化を図っていく必要があります。

	総計		1 佐伯		2 渡町台		3 佐伯東		4 上堅田		5 鶴岡		6 大入島	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1 市役所	338	29%	76	37%	38	36%	26	55%	12	18%	46	37%	3	23%
2 社会福祉協議会	78	7%	10	5%	12	11%	7	15%	2	3%	6	5%	0	0%
3 自治会	196	17%	26	13%	16	15%	10	21%	12	18%	23	18%	6	46%
4 自主防災組織	90	8%	15	7%	8	8%	4	9%	3	4%	11	9%	0	0%
5 地域の消防団	313	27%	48	23%	20	19%	11	23%	12	18%	32	26%	7	54%
6 隣近所の人	545	47%	82	40%	47	44%	17	36%	37	54%	48	38%	9	69%
7 家族・親せき	740	64%	122	60%	71	67%	25	53%	53	78%	69	55%	10	77%
8 民生委員・児童委員	67	6%	7	3%	7	7%	1	2%	2	3%	1	1%	3	23%
9 頼るつもりはない	39	3%	9	4%	1	1%	1	2%	1	1%	6	5%	0	0%
10 その他	30	3%	8	4%	0	0%	3	6%	1	1%	4	3%	0	0%
無回答	24	2%	4	2%	0	0%	1	2%	4	6%	0	0%	0	0%
合計	1,151	100%	205	100%	106	100%	47	100%	68	100%	125	100%	13	100%
	7 八幡		8 西上浦		9 下堅田		10 青山		11 木立		12 上浦		13 弥生	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1 市役所	10	20%	1	6%	12	23%	1	9%	10	36%	5	26%	35	28%
2 社会福祉協議会	2	4%	1	6%	2	4%	0	0%	1	4%	4	21%	10	8%
3 自治会	9	18%	5	28%	7	13%	2	18%	6	21%	4	21%	22	18%
4 自主防災組織	2	4%	3	17%	6	11%	1	9%	0	0%	1	5%	9	7%
5 地域の消防団	15	29%	5	28%	11	21%	5	45%	11	39%	9	47%	39	31%
6 隣近所の人	19	37%	9	50%	26	49%	7	64%	17	61%	12	63%	69	56%
7 家族・親せき	36	71%	14	78%	36	68%	6	55%	17	61%	14	74%	97	78%
8 民生委員・児童委員	3	6%	0	0%	2	4%	1	9%	1	4%	3	16%	15	12%
9 頼るつもりはない	3	6%	1	6%	1	2%	1	9%	1	4%	0	0%	2	2%
10 その他	1	2%	0	0%	1	2%	0	0%	0	0%	1	5%	3	2%
無回答	2	4%	0	0%	1	2%	1	9%	0	0%	1	5%	2	2%
合計	51	100%	18	100%	53	100%	11	100%	28	100%	19	100%	124	100%
	14 本匠		15 宇目		16 直川		17 鶴見		18 米水津		19 蒲江			
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合		
1 市役所	10	42%	8	19%	7	18%	11	24%	7	18%	20	21%		
2 社会福祉協議会	3	13%	3	7%	0	0%	4	9%	5	13%	6	6%		
3 自治会	5	21%	11	26%	2	5%	9	20%	9	23%	12	13%		
4 自主防災組織	2	8%	2	5%	3	8%	6	13%	9	23%	5	5%		
5 地域の消防団	9	38%	8	19%	10	26%	13	29%	17	44%	31	33%		
6 隣近所の人	19	79%	25	60%	20	53%	16	36%	19	49%	47	50%		
7 家族・親せき	13	54%	20	48%	24	63%	25	56%	31	79%	56	60%		
8 民生委員・児童委員	3	13%	5	12%	0	0%	4	9%	2	5%	7	7%		
9 頼るつもりはない	0	0%	0	0%	2	5%	4	9%	2	5%	4	4%		
10 その他	0	0%	0	0%	2	5%	2	4%	2	5%	2	2%		
無回答	0	0%	2	5%	2	5%	2	4%	0	0%	2	2%		
合計	24	100%	42	100%	38	100%	45	100%	39	100%	94	100%		

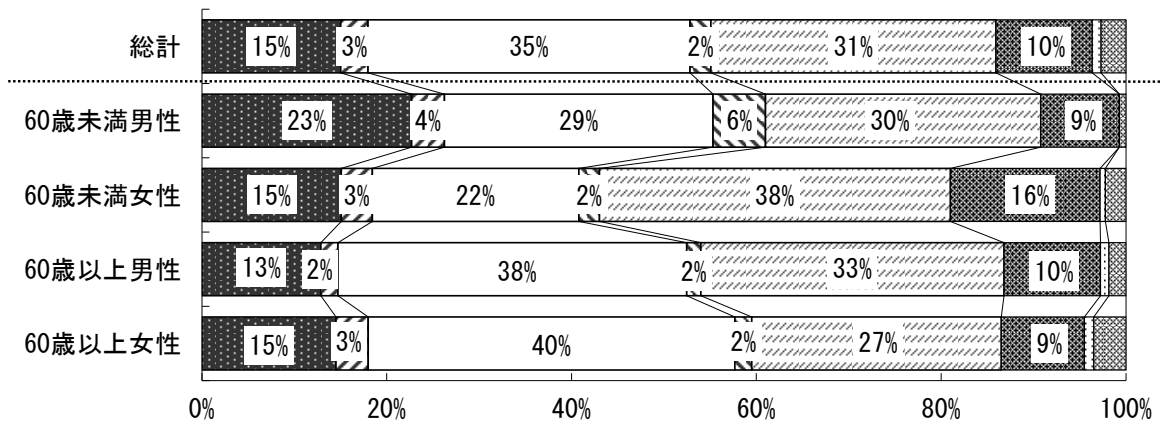
問 25 あなたは、災害発生時における支援の必要な人（ひとり暮らしの高齢者や障がい者など）の支援を行うためには、次のどれが良いと思いますか。（○は1つだけ）

	総計		60歳未満男性		60歳未満女性		60歳以上男性		60歳以上女性		【参考】 前回総計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1 市役所が責任を持って支援を行う	173	15%	32	23%	27	15%	42	13%	71	15%	187	14%
2 民生委員・児童委員が中心となって支援を行う	34	3%	5	4%	6	3%	6	2%	17	3%	36	3%
3 自治会を中心に隣近所の人支援を行う	401	35%	41	29%	40	22%	123	38%	194	40%	443	33%
4 社会福祉協議会が中心となって支援を行う	26	2%	8	6%	4	2%	5	2%	9	2%	37	3%
5 市役所、民生委員・児童委員、自治会、社会福祉協議会などが、新たなネットワークを作り支援を行う	355	31%	42	30%	68	38%	107	33%	132	27%	452	34%
6 わからない	120	10%	12	9%	29	16%	34	10%	44	9%	116	9%
7 その他	11	1%	0	0%	1	1%	3	1%	5	1%	13	1%
無回答	31	3%	1	1%	4	2%	6	2%	17	3%	51	4%
合計	1,151	100%	141	100%	179	100%	326	100%	489	100%	1,335	100%

「災害時要配慮者への支援の役割分担」については、「自治会を中心に隣近所の人支援を行う」が35%で最も割合が高く、「市役所・民生委員・児童委員・自治会、社会福祉協議会などが、新たなネットワークを作り支援を行う」が31%で続いています。

「市役所・民生委員・児童委員・自治会、社会福祉協議会などが、新たなネットワークを作り支援を行う」は、60歳未満女性など、第1順位となっている層もあり、防災を強化するための地域での新たなしくみづくりへの期待がうかがえます。

- 1 市役所が責任を持って支援を行う
- ▣ 2 民生委員・児童委員が中心となって支援を行う
- 3 自治会を中心に隣近所の人支援を行う
- ▣ 4 社会福祉協議会が中心となって支援を行う
- ▣ 5 市役所、民生委員、児童委員、自治会、社会福祉協議会が、新たなネットワークを作り支援を行う
- 6 わからない
- 7 その他
- 無回答

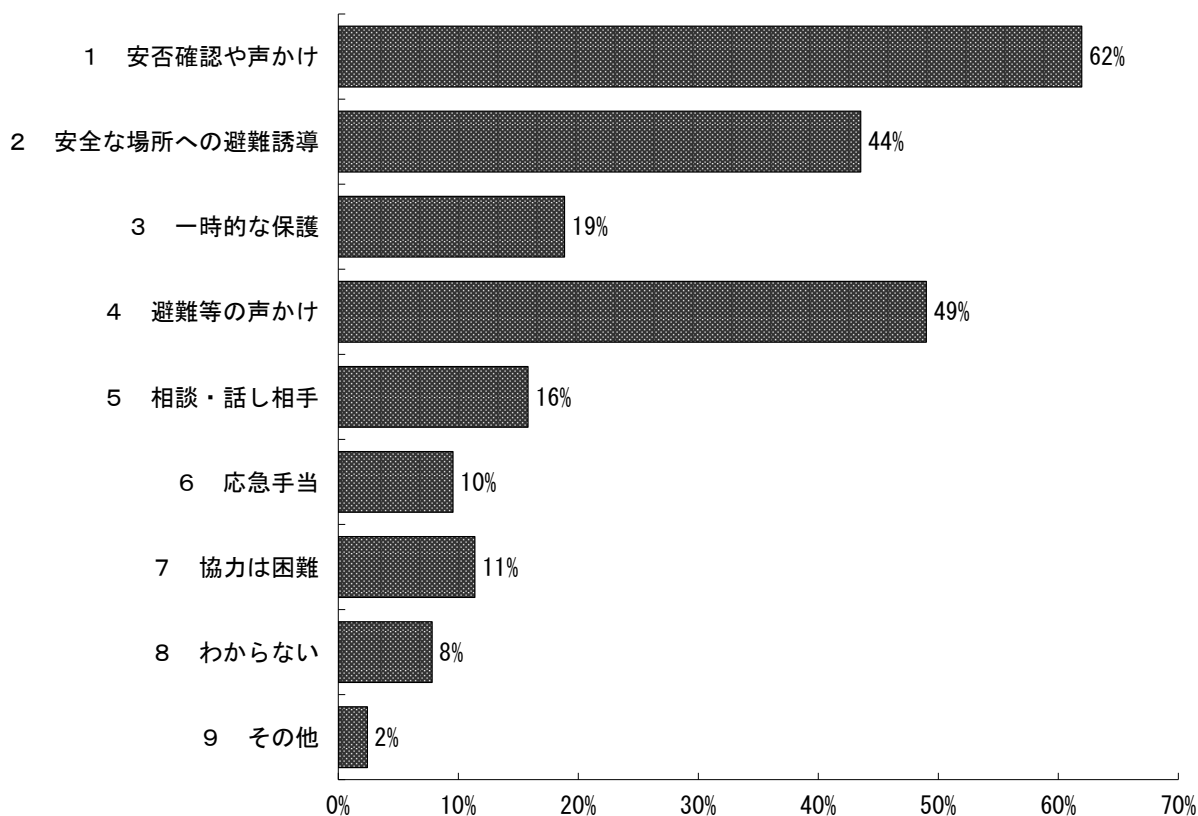


問 26 災害時に、あなたの家や近所に、ひとりで避難することが困難な人がいた場合、あなたはどのような助け合いや協力ができると思いますか。(〇はいくつでも)

	総計		60歳未満男性		60歳未満女性		60歳以上男性		60歳以上女性		【参考】 前回総計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1 安否確認や声かけ	713	62%	81	57%	133	74%	204	63%	287	59%	863	65%
2 安全な場所への避難誘導	501	44%	89	63%	102	57%	149	46%	154	31%	643	48%
3 一時的な保護	217	19%	25	18%	46	26%	75	23%	67	14%	301	23%
4 避難等の声かけ	564	49%	66	47%	104	58%	151	46%	237	48%	715	54%
5 相談・話し相手	182	16%	17	12%	39	22%	44	13%	78	16%	199	15%
6 応急手当	110	10%	18	13%	45	25%	17	5%	29	6%	143	11%
7 協力は困難	131	11%	10	7%	7	4%	27	8%	84	17%	123	9%
8 わからない	90	8%	10	7%	12	7%	25	8%	41	8%	66	5%
9 その他	28	2%	3	2%	2	1%	8	2%	14	3%	16	1%
無回答	35	3%	3	2%	1	1%	10	3%	20	4%	39	3%
合計	1,151	100%	141	100%	179	100%	326	100%	489	100%	1,335	100%

「避難行動要支援者の避難支援に協力できる内容については、「安否確認や声かけ」が62%と最も割合が高く、次いで、「避難等の声かけ」が49%、「安全な場所への避難誘導」が44%などとなっています。

多数の住民が、避難行動要支援者の避難支援に協力したい、協力できると考えていることが読み取れることから、市や社会福祉協議会では、避難支援に関する知識や援助技術の普及を図っていくことが有意義と考えられます。

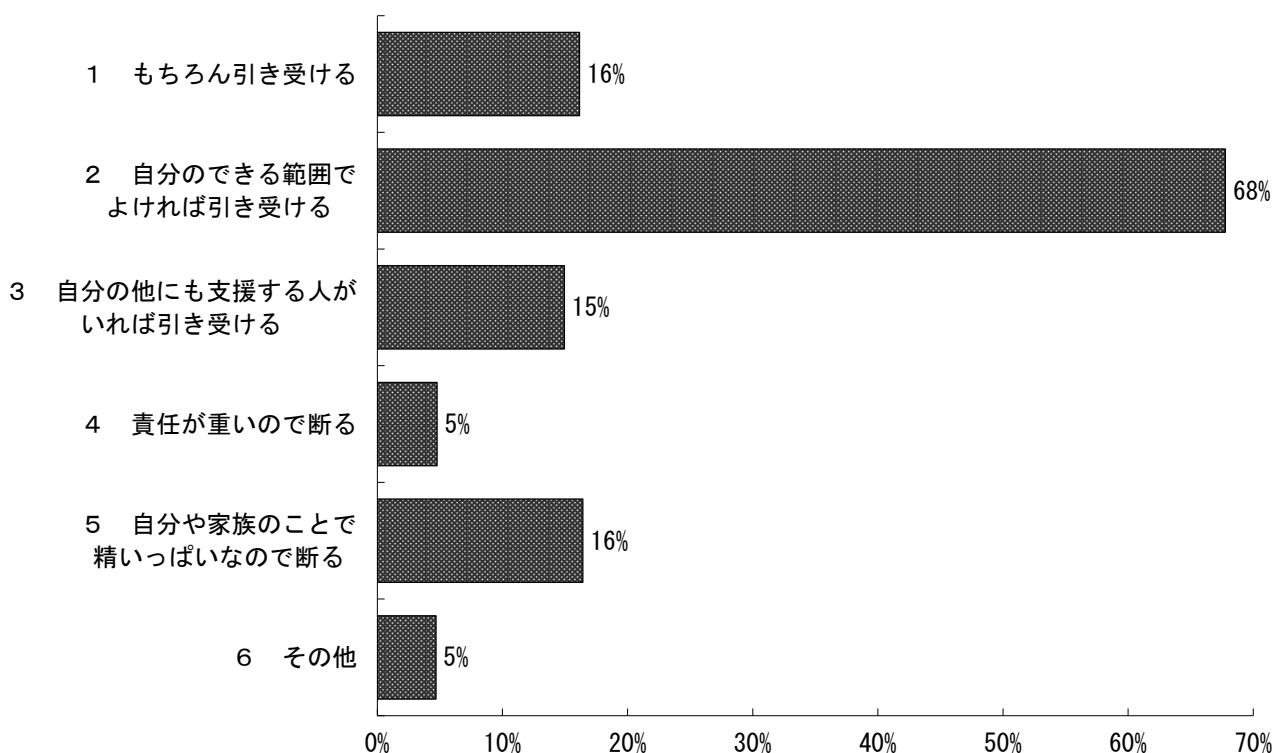


問 27 あなたは、災害時に支援が必要な人の支援を頼まれたらどうしますか。(〇はいくつでも)

	総計		60歳未満男性		60歳未満女性		60歳以上男性		60歳以上女性		【参考】前回総計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1 もちろん引き受ける	186	16%	24	17%	19	11%	86	26%	54	11%	215	16%
2 自分のできる範囲でよければ引き受ける	780	68%	106	75%	134	75%	228	70%	301	62%	976	73%
3 自分の他にも支援する人がいれば引き受ける	172	15%	17	12%	29	16%	42	13%	81	17%	194	15%
4 責任が重いので断る	55	5%	5	4%	6	3%	10	3%	34	7%	57	4%
5 自分や家族のことで精いっぱいなので断る	189	16%	12	9%	27	15%	51	16%	95	19%	189	14%
6 その他	54	5%	3	2%	5	3%	8	2%	35	7%	36	3%
無回答	30	3%	1	1%	2	1%	6	2%	21	4%	43	3%
合計	1,151	100%	141	100%	179	100%	326	100%	489	100%	1,335	100%

「災害時における実際の支援依頼への対応」については、「もちろん引き受ける」は16%、「自分のできる範囲でよければ引き受ける」は68%、「自分の他にも支援する人がいれば引き受ける」は15%、「責任が重いので断る」は5%、「自分や家族のことで精いっぱいなので断る」は16%となっています。

問 26 と同様に、問 27 の結果からも、市や社会福祉協議会では、避難支援に関する知識や援助技術の普及を図っていくことが有意義と考えられます。

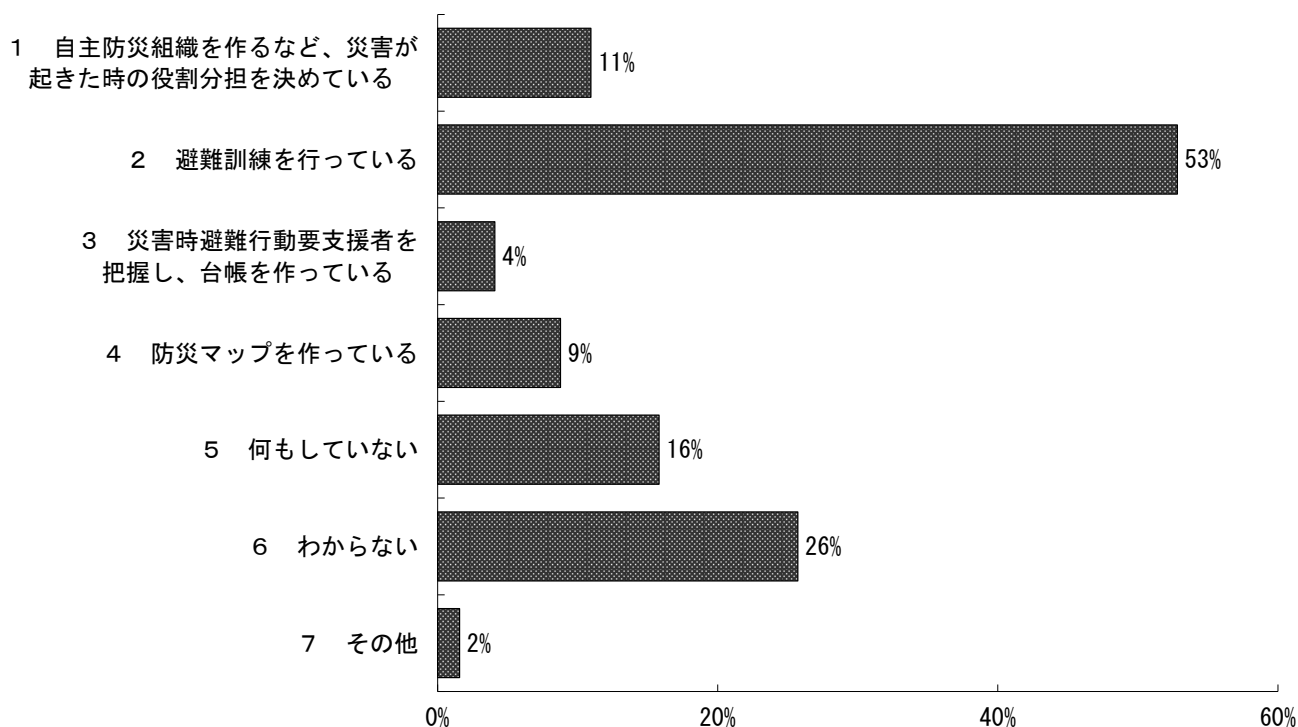


問28 あなたのお住まいの地域では、災害に備えてどのようなことをしていますか。(〇はいくつでも)

	総計		60歳未満男性		60歳未満女性		60歳以上男性		60歳以上女性		【参考】前回総計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1 自主防災組織を作るなど、災害が起きた時の役割分担を決めている	126	11%	11	8%	15	8%	55	17%	45	9%	158	12%
2 避難訓練を行っている	608	53%	62	44%	87	49%	173	53%	278	57%	568	43%
3 災害時避難行動要支援者(災害弱者)を把握し、台帳を作っている	47	4%	3	2%	6	3%	15	5%	23	5%	54	4%
4 防災マップを作っている	101	9%	9	6%	17	9%	27	8%	48	10%	95	7%
5 何もしていない	182	16%	35	25%	21	12%	63	19%	60	12%	236	18%
6 わからない	296	26%	35	25%	64	36%	60	18%	133	27%	326	24%
7 その他	18	2%	5	4%	1	1%	3	1%	9	2%	13	1%
無回答	37	3%	5	4%	3	2%	10	3%	16	3%	105	8%
合計	1,151	100%	141	100%	179	100%	326	100%	489	100%	1,335	100%

「災害に備えて地域で行っていること」については、「自主防災組織を作るなど、災害が起きた時の役割分担を決めている」は11%、「避難訓練を行っている」は53%、「災害時避難行動要支援者(災害弱者)を把握し、台帳を作っている」は4%、「防災マップを作っている」は9%、「何もしていない」は16%、「わからない」は26%となっています。

前回調査時との比較では、「避難訓練を行っている」が10ポイント上昇していますが、他の項目はおおむね前回並みであり、引き続き、こうした取組を促進していく必要があると言えます。

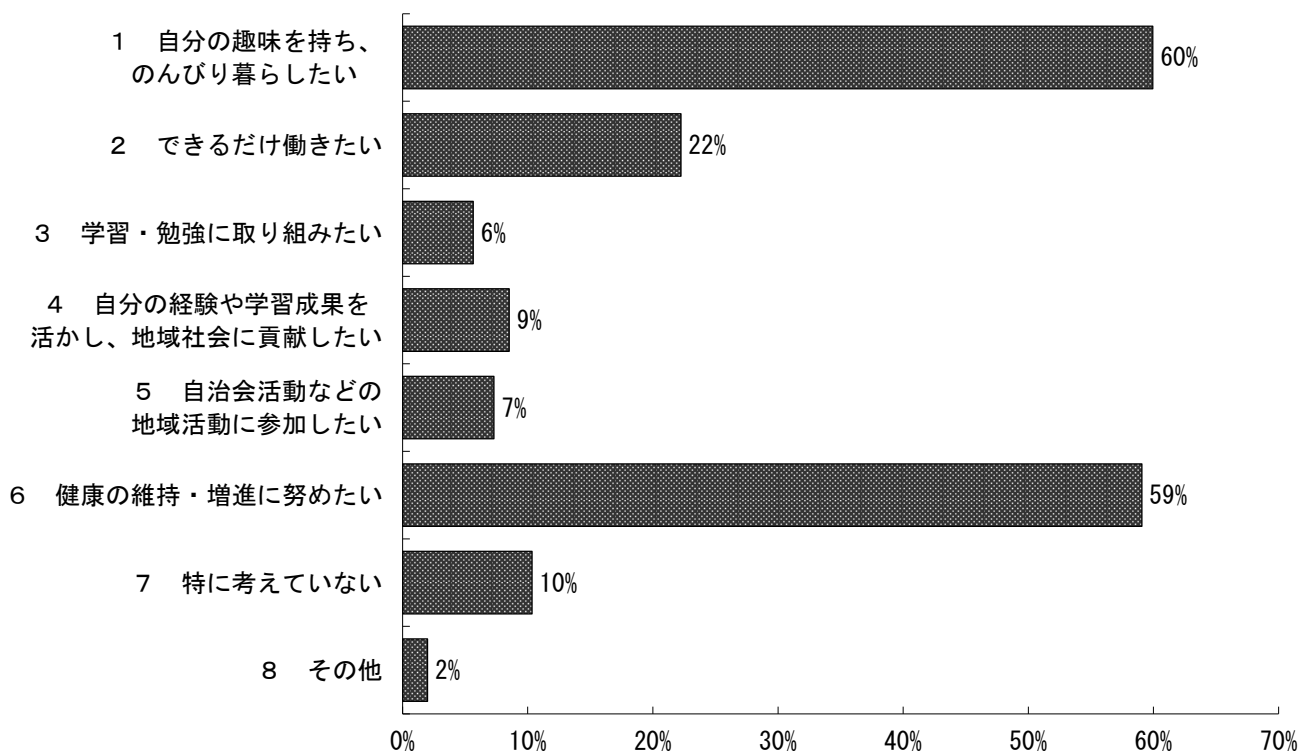


第10章 誰にでもやさしいまちづくりについて

問29 あなたは、今後（または老後）どのように過ごしたいと考えますか。（〇はいくつでも）

	総計		60歳未満男性		60歳未満女性		60歳以上男性		60歳以上女性		【参考】前回総計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1 自分の趣味を持ち、のんびり暮らしたい	690	60%	103	73%	121	68%	197	60%	264	54%	815	61%
2 できるだけ働きたい	256	22%	42	30%	59	33%	72	22%	79	16%	364	27%
3 学習・勉強に取り組みたい	65	6%	10	7%	22	12%	17	5%	15	3%	88	7%
4 自分の経験や学習成果を活かし、地域社会に貢献したい	98	9%	21	15%	29	16%	25	8%	20	4%	129	10%
5 自治会活動などの地域活動に参加したい	84	7%	9	6%	7	4%	33	10%	34	7%	101	8%
6 健康の維持・増進に努めたい	680	59%	54	38%	99	55%	192	59%	325	66%	777	58%
7 特に考えていない	119	10%	10	7%	14	8%	41	13%	54	11%	70	5%
8 その他	23	2%	0	0%	4	2%	2	1%	14	3%	14	1%
無回答	21	2%	1	1%	1	1%	6	2%	13	3%	82	6%
合計	1,151	100%	141	100%	179	100%	326	100%	489	100%	1,335	100%

「今後の過ごし方」については、「自分の趣味を持ち、のんびり暮らしたい」と「健康の維持・増進に努めたい」がともに6割程度で多くとなっています。「自分の経験や学習成果を活かし、地域社会に貢献したい」は回答者全体では1割程度ですが、60歳未満の層では、男女とも15～16%程度あり、こうした意向が実践に結びつくよう、地域貢献の機会づくりに努めることが求められます。

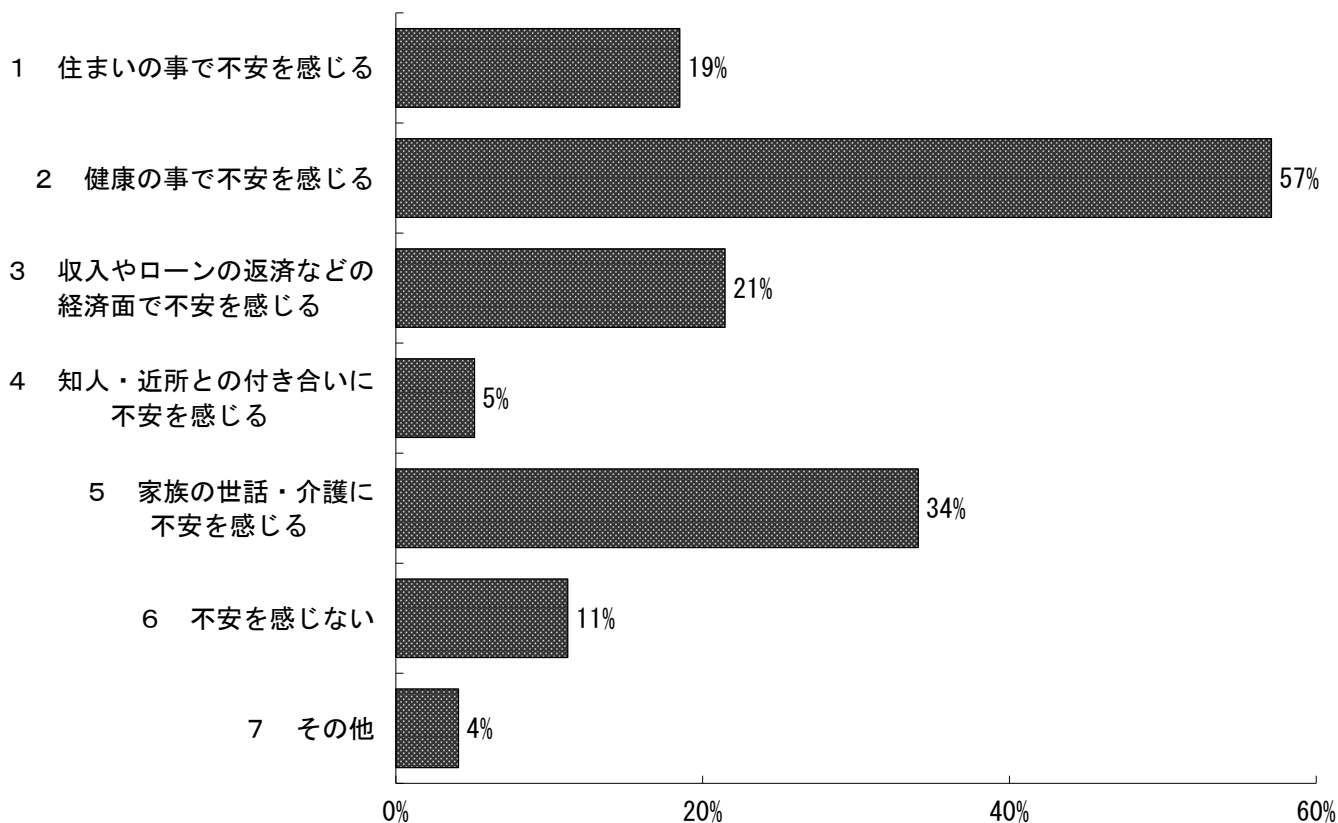


問 30 あなたは、今後（または老後）の生活に不安を感じていますか。（〇は3つまで）

	総計		60歳未満 男性		60歳未満 女性		60歳以上 男性		60歳以上 女性		【参考】 前回総計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1 住まいの事で不安を感じる	213	19%	23	16%	44	25%	46	14%	97	20%	254	19%
2 健康の事で不安を感じる	657	57%	42	30%	57	32%	208	64%	341	70%	741	56%
3 収入やローンの返済などの 経済面で不安を感じる	247	21%	57	40%	72	40%	54	17%	60	12%	357	27%
4 知人・近所との付き合いに 不安を感じる	59	5%	9	6%	7	4%	19	6%	24	5%	75	6%
5 家族の世話・介護（老老介 護など）に不安を感じる	392	34%	44	31%	66	37%	123	38%	154	31%	526	39%
6 不安を感じない	129	11%	14	10%	16	9%	48	15%	51	10%	125	9%
7 その他	47	4%	10	7%	10	6%	5	2%	21	4%	38	3%
無回答	78	7%	21	15%	22	12%	11	3%	21	4%	96	7%
合計	1,151	100%	141	100%	179	100%	326	100%	489	100%	1,335	100%

「今後の生活の不安」については、「健康のことで不安を感じる」が57%で最も割合が高く、次いで、「家族の世話・介護に不安を感じる」が34%、「収入やローンの返済などの経済面で不安を感じる」が21%などとなっています。

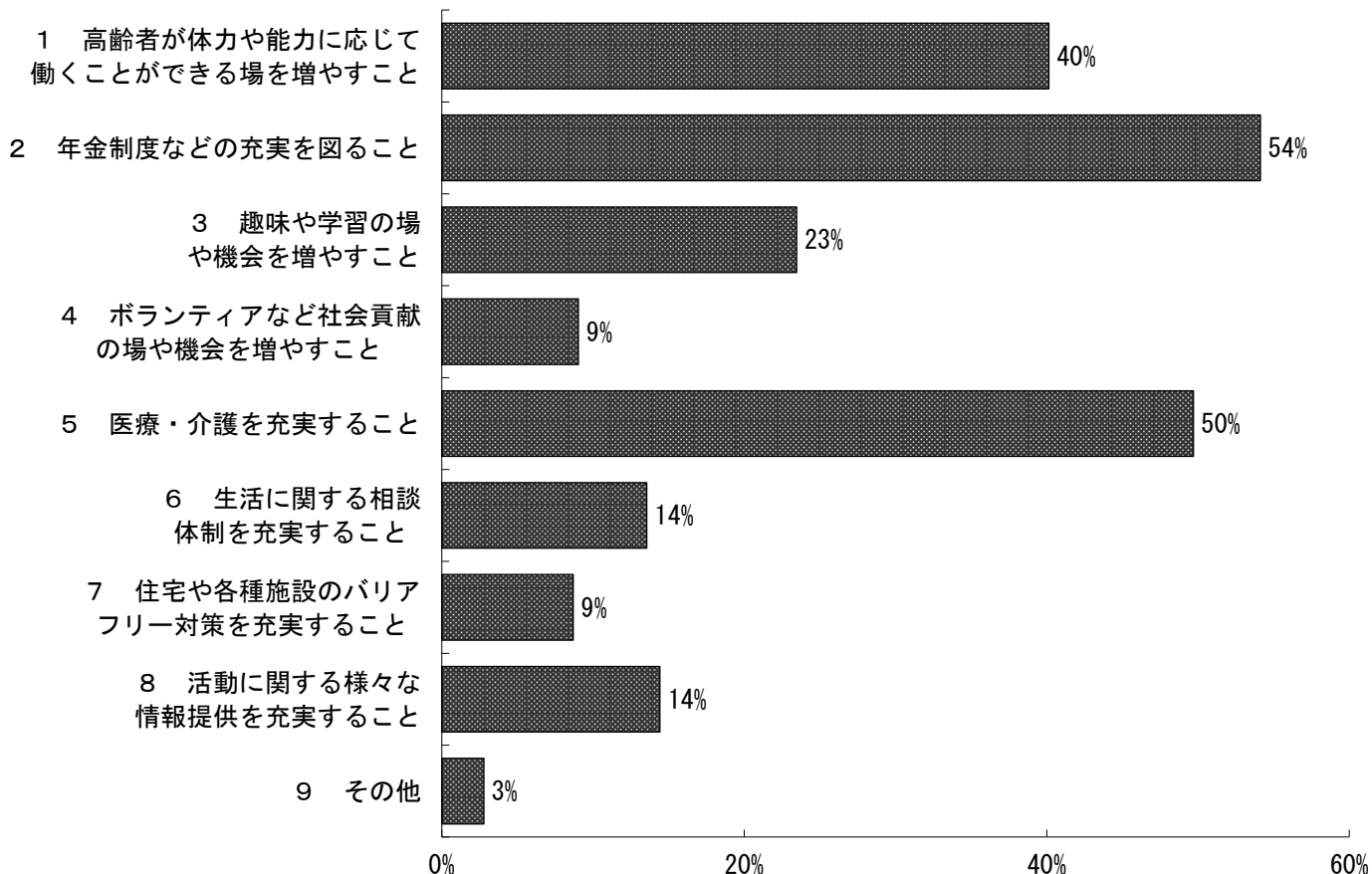
「不安を感じない」は1割程度で、多くの住民は何らかの不安を抱えながら生活している状況がみてとれます。これらの不安は、自助努力で解消を図るべきものもありますが、地域での支え合いによって軽減を図ることが効果的なものもあることから、地域における不安軽減機能の強化を図る取り組みを促進していくことが期待されます。



問 31 あなたは、いきいきとした高齢者社会をつくるために、どのような取組が必要だと思いますか。(〇は3つまで)

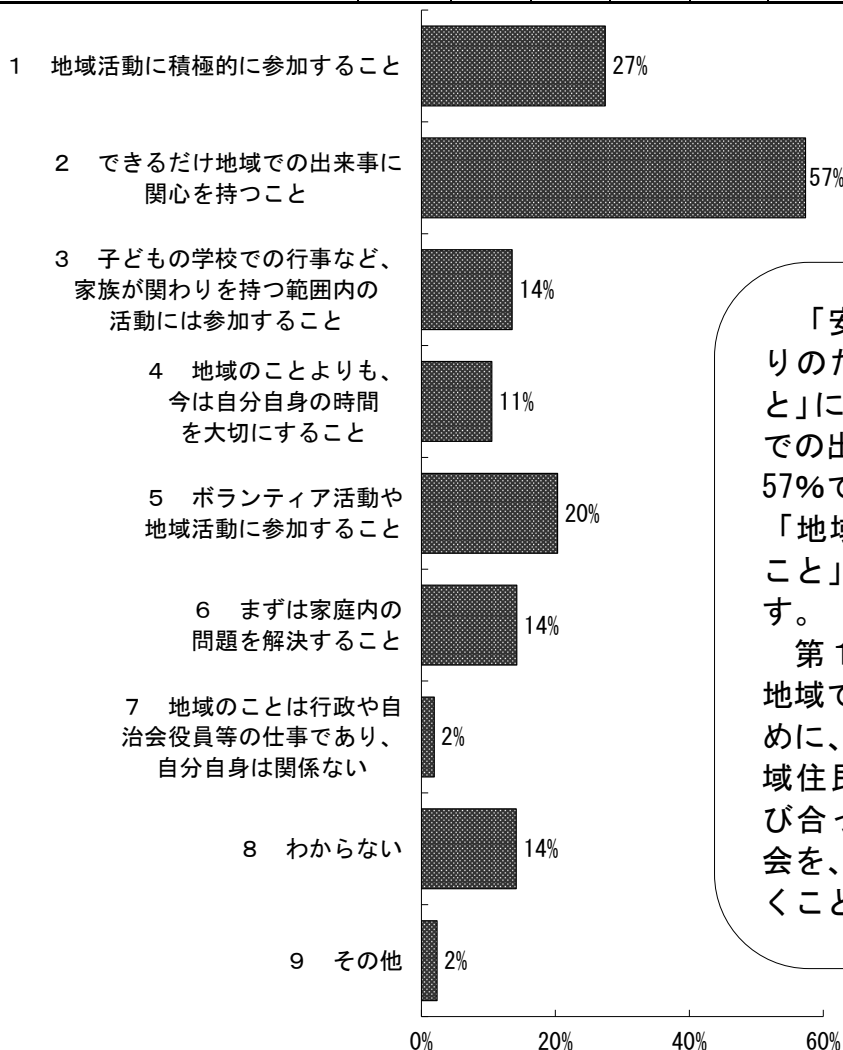
	総計		60歳未満男性		60歳未満女性		60歳以上男性		60歳以上女性		【参考】 前回総計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1 高齢者が体力や能力に応じて働くことができる場を増やすこと	462	40%	66	47%	104	58%	141	43%	145	30%	598	45%
2 年金制度などの充実を図ること	623	54%	93	66%	88	49%	187	57%	246	50%	742	56%
3 趣味や学習の場や機会を増やすこと	270	23%	32	23%	50	28%	68	21%	119	24%	349	26%
4 ボランティアなど社会貢献の場や機会を増やすこと	104	9%	18	13%	21	12%	27	8%	38	8%	148	11%
5 医療・介護を充実すること	572	50%	64	45%	85	47%	167	51%	247	51%	635	48%
6 生活に関する相談体制を充実すること	156	14%	21	15%	25	14%	36	11%	69	14%	177	13%
7 住宅や各種施設のバリアフリー対策を充実すること	100	9%	13	9%	12	7%	26	8%	48	10%	150	11%
8 活動に関する様々な情報提供を充実すること	166	14%	15	11%	28	16%	45	14%	76	16%	168	13%
9 その他	32	3%	4	3%	7	4%	6	2%	15	3%	25	2%
無回答	51	4%	1	1%	5	3%	12	4%	30	6%	109	8%
合計	1,151	100%	141	100%	179	100%	326	100%	489	100%	1,335	100%

「高齢者社会への取組」については、「年金制度などの充実を図ること」が54%で最も割合が高く、次いで「医療・介護を充実すること」が50%、「高齢者が体力や能力に応じて働くことができる場を増やすこと」が40%などとなっています。60歳未満男性で、とりわけ、「年金制度などの充実を図ること」の割合が高くなっています。



問 32 住みなれた地域で、私たち一人一人が安心して暮らしていくために、市民としてあなたができることはどんなことがあるとお考えですか。(〇はいくつでも)

	総計		60歳未満男性		60歳未満女性		60歳以上男性		60歳以上女性		【参考】前回総計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1 地域活動に積極的に参加すること	316	27%	26	18%	39	22%	104	32%	145	30%	393	29%
2 できるだけ地域での出来事に関心を持つこと	660	57%	62	44%	100	56%	198	61%	291	60%	820	61%
3 子どもの学校での行事など、家族が関わりを持つ範囲内の活動には参加すること	156	14%	27	19%	63	35%	26	8%	37	8%	228	17%
4 地域のことよりも、今は自分自身の時間(仕事や学業など)を大切にすること	121	11%	18	13%	22	12%	36	11%	42	9%	133	10%
5 ボランティア活動や地域活動に参加すること	234	20%	27	19%	33	18%	80	25%	92	19%	287	21%
6 まずは家庭内の問題(コミュニケーション不足など)を解決すること	164	14%	28	20%	39	22%	40	12%	55	11%	223	17%
7 地域のごことは行政や自治会役員等の仕事であり、自分自身は関係ない	22	2%	5	4%	4	2%	9	3%	4	1%	13	1%
8 わからない	163	14%	21	15%	23	13%	41	13%	77	16%	125	9%
9 その他	27	2%	3	2%	1	1%	5	2%	17	3%	24	2%
無回答	47	4%	1	1%	1	1%	11	3%	32	7%	118	9%
合計	1,151	100%	141	100%	179	100%	326	100%	489	100%	1,335	100%



「安心して暮らせる地域づくりのために自分自身ができること」については、「できるだけ地域での出来事に関心を持つこと」が57%で最も割合が高く、次いで、「地域活動に積極的に参加すること」が27%などとなっています。

第1順位であった「できるだけ地域での出来事に関心を持つ」ために、市や社会福祉協議会は、地域住民どうしが地域について学び合ったり話し合ったりする機会を、これまで以上に提供していくことが有意義と考えられます。

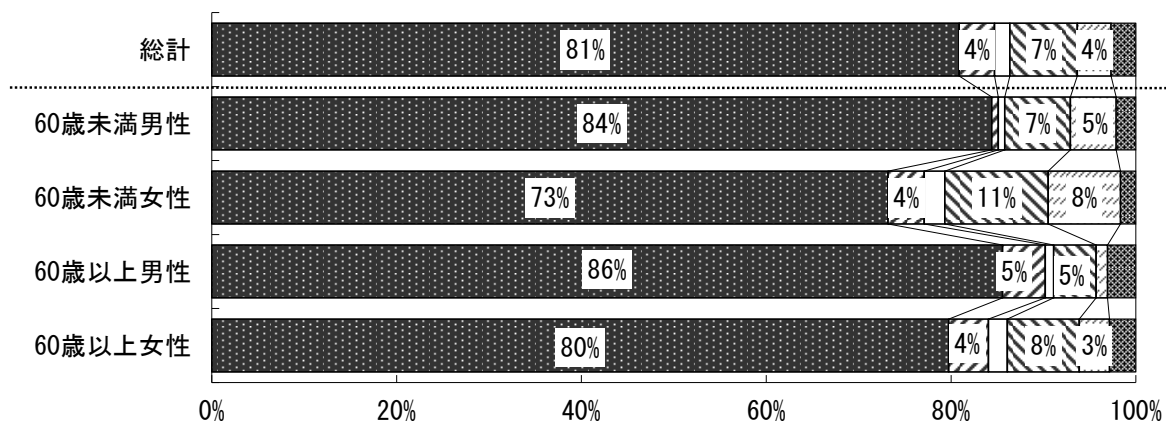
問33 将来、あなたは、どのような環境で暮らしたいと思いますか。(〇は1つだけ)

	総計		60歳未満男性		60歳未満女性		60歳以上男性		60歳以上女性		【参考】 前回総計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1 住み慣れた地域で、自分の家で暮らしたい	931	81%	119	84%	131	73%	279	86%	390	80%	1,065	80%
2 子どもに帰ってきてもらい、一緒に暮らしたい	44	4%	1	1%	7	4%	15	5%	21	4%	40	3%
3 子どもの家へ行って一緒に暮らしたい	19	2%	1	1%	4	2%	3	1%	10	2%	9	1%
4 老人ホーム等の施設に入所したい	84	7%	10	7%	20	11%	15	5%	38	8%	75	6%
5 その他	42	4%	7	5%	14	8%	4	1%	16	3%	51	4%
無回答	31	3%	3	2%	3	2%	10	3%	14	3%	95	7%
合計	1,151	100%	141	100%	179	100%	326	100%	489	100%	1,335	100%

「将来の住まいの意向」については、「住みなれた地域で、自分の家で暮らしたい」が81%と、圧倒的に多くなっています。いつまでも自宅で住み続けられるまちづくりが望まれます。

一方、「60歳未満女性」では、「老人ホーム等の施設に入所したい」も1割程度みられ、こうしたニーズにも対応していくことが求められます。

- 1 住み慣れた地域で、自分の家で暮らしたい □ 2 子どもに帰ってきてもらい、一緒に暮らしたい □ 3 子どもの家へ行って一緒に暮らしたい □ 4 老人ホーム等の施設に入所したい □ 5 その他 ■ 無回答

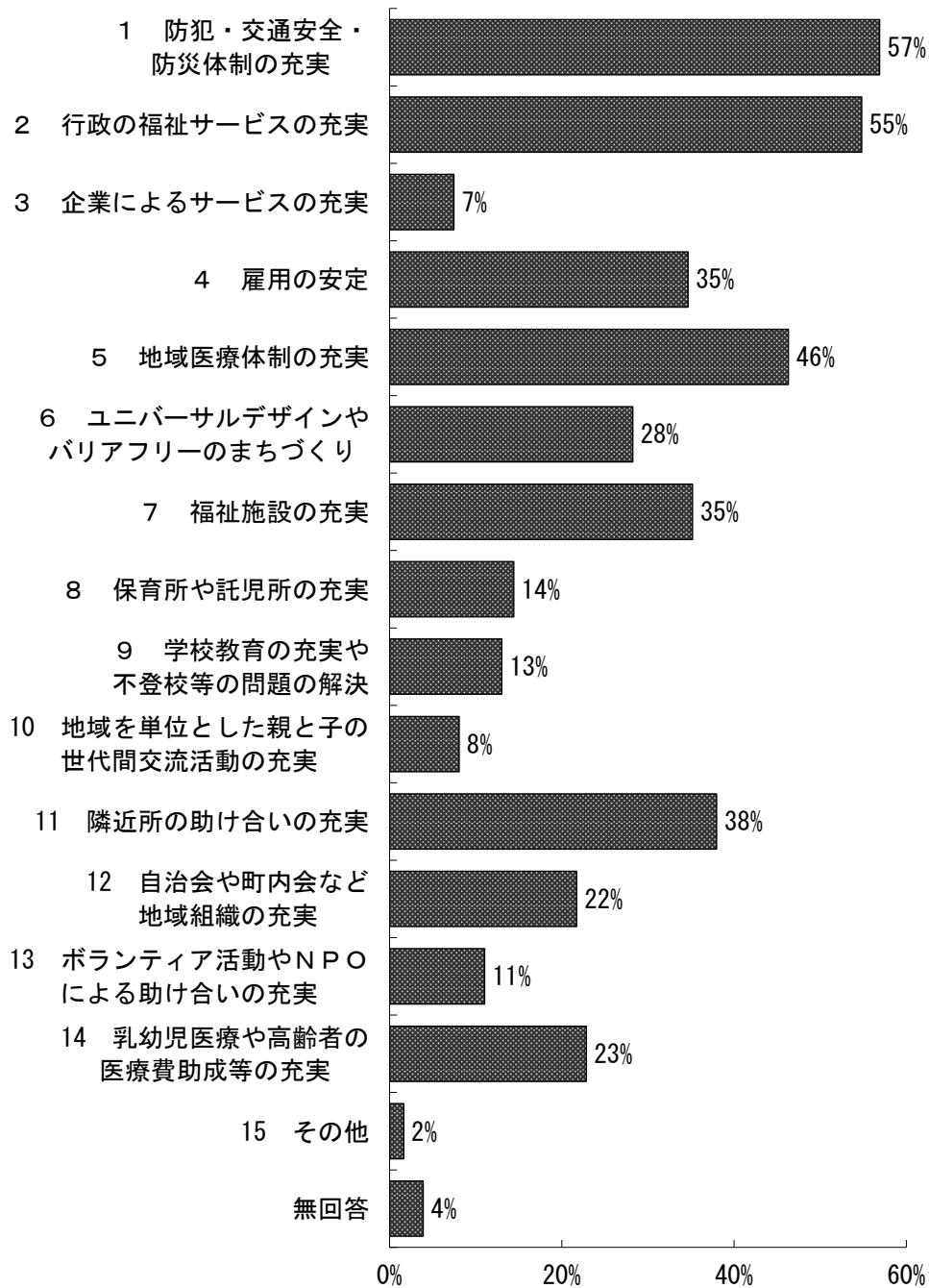


問 34 あなたは、地域社会の中で安心して暮らしていくためにはどのようなことが大切だと思いますか。(〇はいくつでも)

	総計		60歳未満男性		60歳未満女性		60歳以上男性		60歳以上女性		【参考】 前回総計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1 警察・消防などの防犯・交通安全・防災体制の充実	655	57%	84	60%	105	59%	195	60%	263	54%	792	59%
2 行政の福祉サービスの充実	631	55%	78	55%	80	45%	196	60%	267	55%	699	52%
3 企業によるサービスの充実	86	7%	15	11%	22	12%	21	6%	25	5%	90	7%
4 雇用の安定	399	35%	71	50%	114	64%	101	31%	106	22%	570	43%
5 地域医療体制の充実	533	46%	63	45%	88	49%	159	49%	215	44%	595	45%
6 高齢者、障がい者にも優しいユニバーサルデザインやバリアフリー、のまちづくり	325	28%	31	22%	49	27%	74	23%	162	33%	462	35%
7 福祉施設の充実	405	35%	39	28%	52	29%	117	36%	192	39%	493	37%
8 保育所や託児所の充実	166	14%	36	26%	45	25%	33	10%	49	10%	289	22%
9 学校教育の充実や不登校等の問題の解決	150	13%	30	21%	36	20%	25	8%	56	11%	220	16%
10 地域を単位とした親と子の世代間交流活動の充実	93	8%	9	6%	19	11%	23	7%	42	9%	124	9%
11 隣近所の助け合いの充実	437	38%	38	27%	41	23%	135	41%	221	45%	537	40%
12 自治会や町内会など地域組織の充実	250	22%	16	11%	26	15%	81	25%	126	26%	307	23%
13 ボランティア活動やNPOによる助け合いの充実	127	11%	11	8%	20	11%	30	9%	64	13%	143	11%
14 乳幼児医療や高齢者の医療費助成等の充実	263	23%	26	18%	55	31%	63	19%	115	24%	320	24%
15 その他	19	2%	3	2%	4	2%	3	1%	8	2%	19	1%
無回答	45	4%	2	1%	4	2%	12	4%	25	5%	40	3%
合計	1,151	100%	141	100%	179	100%	326	100%	489	100%	1,335	100%

「安心して暮らしていくための施策」については、「警察・消防などの防犯・交通安全・防災体制の充実」が57%で最も割合が高く、「行政の福祉サービスの充実」が55%、「地域医療体制の充実」が46%などと続いています。

前回調査時とほぼ同様の傾向であり、佐伯市では、依然、防災や福祉サービスがまちづくりの最重要課題と言えます。



第3編 自由意見

問 35 生活をする上で困っていることや、こんなサービスがあったら便利だと思う事をご記入ください。また、誰もが安心して健康で暮らせるまちづくりを進めていくために、日ごろ皆さんが感じていること・考えていることなどを自由にご記入ください。

問 35 は、393 名の方から意見がありました。生活支援体制整備等の参考にもなるため、文字校正の上、地区ごとに、「1 生活環境・生活支援に関する意見」、「2 市や社協の組織運営に関する意見」、「3 地域活性化・経済・雇用に関する意見」、「4 健康・医療に関する意見」、「5 福祉に関する意見」、「6 その他の意見」の6つに分類し、全文を掲載します。

1 佐伯地区

(1) 生活環境・生活支援に関する意見

- ◆ 街灯をもう少し充実させて欲しい。【10・20代・男性】
- ◆ ①通院の介助サービス ②車の免許を返した人に対するタクシーサービスの充実(自治体からの利用料の補助金等、もしくは送迎サービス) かなり運転のおぼつかないご高齢の方などがやむをえず車を運転していることがあり、非常に危険。本人も本人以外のためにも早くなんとかした方が良くと思います。【30代・女性】
- ◆ 車がないと生活できない。バスも通っていない。学生は佐伯市で買い物をせず、大分で買い物をしているらしい。佐伯にも若者向けの店があればいいと思います。外に出るのが困難なため、内職や在宅ワークをしたいと思っていますが、ネットの募集は単価が安い or クレジットカードの入会の半詐欺が蔓延しているため、内職などの案内をしてくれるサービスがあればありがたいです。【30代・女性】
- ◆ ①小さい子(幼児～)や親が行きやすい広場が少ないと思う。②子供が参加できそうなイベント等、市報等で分かるとありがたいです。(月間カレンダー等が数か所あると選びやすい。)【40代・男性】
- ◆ 家族がコロナになった時、外出ができず、買い物に行けず、スーパー、コンビニ商品などをネットで注文し配達して欲しかったが、佐伯にはそんなシステムがなく苦労した。近くに知り合いがいないので、どうしていいか? ギリギリ何とかかなりりましたが、何か便利なことは無いですかね。【40代・女性】
- ◆ 街灯が暗いのに、付いてなかったり、明るいのに付きっぱなしだったり、防犯対策、また、省資源のため、財政のため、無駄を無くしてほしい【50代・女性】
- ◆ 高齢になり車の運転ができなくなる、免許返納のしたあとの外出が困難になると思われます。電車などがなく、バスも運行本数が少ないです。私は数年前に他県から引っ越してきたのですが、公共交通機関が少なく、とても不便に感じています。高齢のドライバーの方も多く(仕方ないのだと思いますが…)、運転が危険と思うこともしばしばあります。【50代・女性】
- ◆ 今はまだ困ってありませんが、こちらに(佐伯)来てから、バスなどに移動手段が少ないと感じており、高齢者の運転も多く、それはそれで仕方ないかとも思いますが、やはり事故も多く、それを少しでも減らすには、最近ちらほらお見掛けするようになった、コミュニティバスみたいなのを少しでも増やせたらいいなと思います。自分には無力でどの様にしたらいいのか分かりませんが、少しでもまちづくりになればいいなと思いま

す。佐伯は海もあり山もあり、本当は素敵なところだと思っています。住みたいまちに少しでもなればいいなと思います。【50代・女性】

- ◆ 年を経た時、運転ができなくなること！【60代・女性】
- ◆ ①歩道に段差があり、車イスやシルバーカーでの動きに悪い影響を与えている。②津波などの避難場所が山になっているところがあり、高齢者や障がい者は無理なので、近くのマンションや高さのある建物を調査して、提案して欲しい。【60代・女性】
- ◆ 佐伯市に「こども食堂」はあるのですか。困窮世帯への支援はどの様になっているのでしょうか。【70代・男性】
- ◆ 佐伯市は高齢者の多いまちだと思います。交通事故を少なくするため、佐伯市と警察が協力して運転者に声かけをお願いしたいと思います。佐伯市の多くのところで「歩行者優先」がなされていません。この機会に忠告します。特に、歩行者信号が点滅しはじめても、高速で歩行者の前を通過するところを見えています。私も何回か同じ目に会っています。紙一重で恐怖感を覚えました。いつか事故、死人が出ます。乱筆、乱文ですみません（佐伯市大好きです）。【70代・男性】
- ◆ 市営住宅の入居を希望していますが、現在中江・女島団地の空き部屋が沢山あるのに、なぜ募集しないのですか。【70代・男性】
- ◆ 5時のサイレンを優しい曲にしてほしい（海は広いな大きいな）。童謡。高齢者、子供たちにわかりやすい曲が良いと思います。西浜海岸の整理。貝掘りが出来るようにしてください。佐伯は海や山が美しい。【70代・女性】
- ◆ 空き地の掃除、雑草、並木の処理。【70代・女性】
- ◆ 佐伯は気候的には住みやすいですが、家賃や物価が高いように思えます。もう少し安くなれば良いなと思います。【70代・女性】
- ◆ コンビニはたすかっていますが、スーパーが中央通りになくなったので（旧マルマン、トキワのユーマート）、駅前のイオンまで（マルショクもなくなったので）、お年寄りがタクシーで買い物に行かざるを得ない状況です。手押し車で行くには中の島のマルミヤまで行くのは遠すぎます。小さなスーパーでも出来てほしいと願っています。【70代・女性】
- ◆ 中央マルショクが閉店し、困っている方が多数。買い物難民が、代替案はありますか。【70代・女性】
- ◆ 近くに買い物をするところがない。たとえば、年齢が80歳以上とかになったら、免許は返して、タクシーの割引券を年間いくらとか出すようにしたり出来ないかと思います。病院に行く、買い物に行くのに、月に1回でも。【80代・男性】
- ◆ 私は高齢のため、今後、車の運転が出来なくなった時に、通院、買い物等に支障が出た時のことが気掛かりです。【80代・男性】
- ◆ 近所に日々の買い物をする場所が全くない。今後歩けなくなった時に、生きていくのが大変になるとすごく不安です。以前にもアンケートがあったけど、その後の結果の報告もない。市として責任をもって最後までやってほしい。【80代・男性】
- ◆ 食堂、レストランなどに高齢者向けメニュー、または減塩メニューを常備してほしい。宅配の食品、弁当などの充実、公園などに高齢者でも使える遊具（？）が欲しい。体力維持、健康維持に役立つような・・・。【80代・女性】
- ◆ 中央マルショクが閉店し、便利が悪く買い物に困ります。以前は、毎日のようにマルショクに行き、友達と会ったりして話すこともありましたが、今は外出も少なくなり、運動不足になった。出来ることなら、早くスーパーなどが出来ますように。今はシルバー

カーを使っているのですが、近いところに買い物に行きたい。自分で買いに行く時は、タクシーを使っている。とにかく早くお店が出来ますように。お願い。【80代・女性】

- ◆ 近くにスーパーが（日用の必需品）あったらいい！【80代・女性】
- ◆ 近くにスーパーがない。車に乗れない人は買い物に不便。大手前、池船町周辺。【80代・女性】
- ◆ 銭湯が全くなくなった今、コミュニケーションの場としても別府のように地域に銭湯があれば良いのになあと思うことがある。【80代・女性】
- ◆ 年を取ると病院通いが多く、交通費がかさみます。市内のバス路線を再度充実して、分かりやすく紹介して欲しい。【80代・女性】
- ◆ マルショク中央店がなくなり高齢者、障害者は、日用品、食糧の買い出しに大変困っている。お店ができればといつも思う。各地区を廻る小型の買い物バスの運行が欲しい。【90歳以上・男性】
- ◆ 今は隣近所との交流がなくなった。昔と家庭環境が変わって、日中は人が家にいない。【90歳以上・男性】
- ◆ 大手前付近にスーパーが欲しい。佐伯市は中央にスーパーがない。【90歳以上・男性】
- ◆ 市中にあったスーパーがなくなって日常の生活用品などが近くに無いので非常に困っています。【90歳以上・女性】

(2) 市や社協の組織運営に関する意見

- ◆ 市がお金を借しつけてくれるようにして欲しい【10・20代・男性】
- ◆ 税金の使い道を明確にして欲しい。安心して住みやすい行政づくりをお願いします。1【10・20代・女性】
- ◆ ①まずは税収を引き下げて、経済的な取り組みを。②行政改革（公務員の削減。給与の見直し）…7万人を切った市政に1万人以上の役人は多すぎる。③無駄な行政サービスは民間に落とし込め。【40代・男性】

(3) 地域活性化・経済・雇用に関する意見

- ◆ 地方、田舎こそ、雇用や子育てへのサービスに力を入れた方が良くと常に考えている。【10・20代・女性】
- ◆ 収入やローンの返済などの経済面で不安を感じる。【30代・男性】
- ◆ あまり福祉制度を充実させると働く人が居なくなり、経済がマヒしていく。財政のことも考えて行政はしていかないと、日本経済は信用されなくなる。（重要なことです！！）【70代・男性】

(4) 健康・医療に関する意見

- ◆ 健康には運動が欠かせないので、手軽に運動トレーニングなどができる施設を増やしてほしい。【30代・男性】
- ◆ これからの医療が心配です。高齢者にもやさしい医療に欲しいです。【50代・女性】
- ◆ 老後は65歳で会社を退職して、年金で生活したいと考えていたが、今頃年金改革などで自分の年金額をシミュレーションしてショックを受けました。年金だけでは生活できません。人生設計を変更して働けるまで仕事をするしかありません。そのためには、健康に注意し病気や認知症にならないようにしなければいけないと思っています。【60代・

女性】

- ◆ 配食を週2～3回つづけて思うこと。栄養など考えず生活してる人ばかり。病気をしない生き方を教えてあげてほしい！ 高齢者でも役立ちます。してあげることばかりでなく使ってあげて下さい。元気を出してくれると思います。私事ごめんなさい！【年齢無回答・女性】

(5) 福祉に関する意見

- ◆ ひとり親家庭への支援の強化。また、ひとり親家庭の親の就業先の業務実態にブラックな点がないかの調査徹底。事情を抱えた家庭のために無料預かりをする託児所を作って欲しい。【40代・男性】
- ◆ 地域福祉と聞いても、正直、市民の多くはあまり関心を持っていないのでは・・・と思いました。（と言う自分も日々の仕事や子育てで手一杯ですが） 昔のような地域のつながりがない現在では、どうしても行政に任せっきりになってしまい、難しい問題だと感じました。【40代・女性】
- ◆ 年を取ったら、取った時に、65歳くらいから、高齢で1人で生活する上で、時々訪問して頂き、話し相手や相談相手になって頂きたい。【50代・女性】
- ◆ とにかく交通の便が悪く、車がないと困る状態は良くない。高齢になって病院に通うのに、治療費より交通費が高い患者さんがいる。「足がないので救急車を呼んだ」という例がある。家族から見放された患者さんの見守りの民生委員さんの負担がとても大きいように感じます。生活保護はとても大切な制度ですが、ごく一部に「病院はただだから」と予約外に何度も薬をもらいに来たり（特に上限まで貰って家族以外の人あげたとか）、書類上離婚したことにして受けている人、どこか遠くから流れて来て1度も佐伯に税金を払ってなかったのに受けている…。全て本人から聞いた話です、とかいうのを見ると、モヤモヤします。本当に必要な人に保護や福祉が行ってほしいですね。【50代・女性】
- ◆ 自分たちで助け合わないと結果お金がかかり、税金で若い人の首をしめることになる。地域で助け合うには…①若い人が少なくても自分たちで助け合えるしくみづくりや事例を地域に指導して、そこでの組織づくりを市が支援する。②高齢者と若い人が近くに住み、共助しあえる住みかづくり、住宅、区。【50代・女性】
- ◆ 福祉サービスを利用するには、いろいろな手続き（時間と労力）が必要となり、老人を介護する家族の負担が大きくなっている。もっと簡単にサービスの利用が出来たら…と思う。知り合いで仕事が休めず、福祉サービスの利用をせず介護をし、悩んでいる人がいる。企業側の理解も必要だと思う。行政からの働きかけを期待している。【60代・女性】
- ◆ 生活する上で考えることはたくさんある、1番困っていることは、年金も足らず、貰えず、子供たちには世話になるばかり。いつも考えることは、早く誰の世話にもならず天国に行きたいこと。自分の心の中でいつもつぶやいていること。出来ることならやっぱり元気で毎日過ごせたらそれが1番だ。今は誰とも話す機会もなく、とても辛い毎日。これは誰も同じだと理解はしている。サービスの件では、いろいろあるが、やっぱりありすぎるのかな。もし死んだ時は、焼いて、葬式なしで。子供たちには金もなく、無理な話なので。【70代・女性】
- ◆ 現在は主人と2人で生活をして、近所に娘夫婦で居るので、別に困ることはありませんが、身体的に不自由が無いので分かりませんが、これから先を考えるとこわいです。（これはほんとに。）【70代・女性】

- ◆ ①住んでいる地域はもちろん、市内全域、街灯が少ない。②大人の挨拶が少ない。自分から挨拶しても、声が返らない。学生の皆様は挨拶してくれます【80代・男性】
- ◆ 私達の地区は、区長さん、民生委員も、引き受けてくれているので、敬老会は、お米を頂き、21日は忘年会も3年振りします(21人)。何も無いところが多いなか、お世話してくれ感謝しています。何かをすれば、何人かは乗ります。皆の集まりやすい、何か、気軽に話ができる場所があったら良いなと思っています。いきいきサロンも、食事会ですけど集まります。6、7人。茶の間は出席が少ないです。【80代・女性】
- ◆ 老々夫婦で努力にも限界があります。日常生活での片付け、特に拭き掃除は腰痛で困っています。私事を人様にお願いすることはできません。何処に相談していいのかもわかりません。業者も知りません。もしあるのであれば時給など細かいことも伺いたいです。【80代・女性】
- ◆ 生活が不便になった時、有料で手助けしてくれる事業の紹介、料金など。【80代・女性】
- ◆ 日々の生活の手伝いの人派遣。【80代・女性】
- ◆ 乗り合いバス等を通院などに使いたいと思っている。人が多いみたいなので週1回ぐらいでも、バスで、集まった人を運んでほしいと思います。老人が楽しく有意義な生活が出来る社会を作りたいと思います。【80代・女性】
- ◆ 介護認定とはかわりなく、必要とする者がいつでも適切な介護が受けられる社会。家族で介護している人達へのサポート(外出時の見守り等)。独居生活が不要になったら年齢を問わずに自己の持つ能力を足し合わせての共同生活。「ゆとりの精神」を持って！そういうホームがあればと思います。介護保険は認定を受ける人しか使えないのはおかしい！【80代・女性】
- ◆ まもなく94歳になろうとしている今、いろいろ聞かれても、目は見えづらいし、会話も耳が遠くなり、トンチンカンな受け答えしか出来ない状態で、地域の問題を考えることは困難な状況です。生きている世界が家の中とテレビ、ラジオの情報しかないのが狭い。【90歳以上・男性】
- ◆ 高齢者が自由に、誰もが集まって話が出来場所があったら良いと思います。【90歳以上・女性】
- ◆ 老人一人暮らしの家庭に訪問して話を聞いてほしい【90歳以上・女性】

(6) その他の意見

- ◆ 今のところ困っていることはない。【80代・女性】
- ◆ 今は体力的にむりだと思ふ。【80代・女性】

2 渡町台地区

(1) 生活環境・生活支援に関する意見

- ◆ 高齢者による車の事故が、近年とても増加しているけれど、田舎に暮らす方たちは、公共交通機関が発達していないため、車での移動が必要なので、地域の人々の交流も兼ねて、乗り合いタクシーのようなものが増えると、高齢者と若い世代が関わりを持ち、地域交流になり、良いと思う。【40代・男性】
- ◆ 空き家が手入れされずに放置されていて、市街地でも目立って多いと感じます。佐伯市に移住して9年経ちますが、行政機関が生活圏にコンパクトにまとまっていて、生活しやすいと思います。ただ、子供の成長に合わせて、進学と共に、佐伯を離れて大分に居

を変える予定です。教育面で物足りなさを感じる点は残念です。【40代・女性】

- ◆ 母と嫁が「街に買い物に行くとストレス発散になる」と話していますが、交通の便が悪いので買い物に行くのも苦労しています。バスの本数や経路を増やすなど「市内を動き回るのに便利な体制」を作ってもらいたいです。【50代・男性】
- ◆ ゴミの収集場所に関して。地区により場所もバラバラで、ゴミを入れる物を作っているところもあれば、ネットだけかけていたりで、バラバラです。なぜ、市は、統一したものを提供できないのでしょうか？ どの地区も統一されたゴミ置き場を作ることは難しいのでしょうか？（ゴミの収集する入れ物など） 【50代・女性】
- ◆ 近くに買い物ができるお店がないので作ってください。【70代・男性】
- ◆ 今のところ、私は何も不便は感じていませんが、市内であってもお店が（日用品、食料品）少なくなり、困っている方もいます。移動販売をもっと、多く地区に回るようにしたら？ とも思います。大切なことは隣近所の人達と仲良くすること！【70代・女性】
- ◆ 蛇崎のマルミヤストア前にある大分バスの停留所。バスを待つ人は、夏は暑く、冬は寒そうです。せっかく市内まで買い物に出た人たちに、辛い思いをさせているようで気の毒でなりません。停留所の選定、暑さ寒さ対策など良い考えはありませんか？ これは大分バスへの要望でしょうか？【70代・女性】
- ◆ 将来、車に乗れなくなった時の病院、買い物等に行ける様なバス、タクシーのサービス。【70代・女性】
- ◆ 高齢になり、車をやめたら不便になった。バスも思った通りに走っていない。タクシー生活になった。思ったより金がかかる。【80代・男性】
- ◆ 庭の植木剪定が行われず、火災による延焼を心配している。【80代・男性】
- ◆ 大分市からの帰路に、JRの各駅停車に乗車することになる。終電車のためか、離合待合せによる停車時間長く、しかも車両にはトイレの設備がなく大変困りました。【80代・男性】
- ◆ バスが佐伯駅前から大手前方面（本通）しかなく、免許返納したら買い物が不便です。駅前から、ナフコ～トキハインダストリー方面に行くバスがあったらいいなあ。【80代・女性】
- ◆ 今一番困っていることは、どこへ行くにもバスの本数が少ないことです。また、私は、市の図書館に行って本を借りてくるのが楽しみの1つですが、今は自転車に乗って行っていますが、やがて行けなくなってしまいます。バスで行けたらいいけど…。また、図書館の場所がサクラホールの近くにあったら、バスでも行けると思います。そして、そこで、お茶やランチなどできたら最高ですね。【80代・女性】
- ◆ ①病院、買い物などにタクシーを利用しているが、1年中いつでも利用できるタクシー割引証（2～3割）を発行してはどうだろうか。ただし75歳以上。高齢者の運転減少にもつながる。②市内外のバス巡回をもっと便利で、病院、スーパーなどを回る経路及び時間帯を研究すれば、利用者は増す。尚、バス巡回経路、時間を地図入りでPRすることが必要。【80代・女性】
- ◆ 高齢者や障害者が、病院や買い物に行くのに便利な定期バスを、市内または市外に廻して欲しいです。【80代・女性】

(2) 市や社協の組織運営に関する意見

- ◆ 高齢者の税金を安くして欲しい。若い時から頑張って働いてきたのに、年金から引かれるものを先取りされる。高齢者に優しいまちに、お金の面でと強く思います。【60代・

女性】

- ◆ 市が考えている「だれもが安心して健康で暮らせるまちづくり」とはどんなものですか。このアンケートによって、今の市の力でどこまで近づけるのか？【90歳以上・男性】

(3) 地域活性化・経済・雇用に関する意見

- ◆ 若い人達の職場が非常に少ない。高校・大学卒業後の能力を発揮できる企業が無い、過疎化が心配。いろいろな建物づくりも大事ですが、雇用先を増やす方が大事だと思う。月給・時給アップを、国や県もですが、地元が先立って活動してもらい、地元の暮らしを安心できることを願う。【60代・女性】
- ◆ 若い人が働く場所を作ることが必要だと思います。【80代・女性】

(4) 健康・医療に関する意見

- ◆ コロナの抗原検査がいつでも無料でできる場所を作ってほしい（例えば市役所の駐車場とか）【30代・女性】
- ◆ 外出困難者（高齢者や障害者等）に対する訪問医療の充実。【50代・男性】
- ◆ 自分自身の体のケアや病気と向き合っ。年金とかの充実。高齢者医療の引き下げ。【60代・女性】
- ◆ ①将来、福祉の利用をせざるを得なくなった時、安心して、市、自治会、ご近所、民生委員等の力をお借りすることは、信頼してもよいものか？ 世の中いろいろな方がいますので、現状を見た時に英断しきれないものもあります。②先ずは、今のままでありたい！！健康でいたいと思います。出来ることは自分で、が、正直な気持ちです。そして、市民のお手本になる姿を、各職場（市）の方々へお願いします。【70代・女性】
- ◆ 元気だと自信を持ってた私が、膠原病と圧迫骨折で、体調がなかなか戻らず、介護の仕事も休んでいる次第です。コロナもあり、施設も休んで、1人、家でモンモンとしてます。仕事の出来る健康な状態に早く戻れたら、元気になれそうです。働けることが元気になるかと期待してます。健康体操も少しずつして頑張ってます。健康というご褒美をくださいーい^_^【80代・女性】

(5) 福祉に関する意見

- ◆ 親が働きやすい様に、土日関係なく子供をみてくれる施設をつくってほしい。金銭的にも誰でも利用できること。【40代・男性】
- ◆ 保育所入所の条件が緩和されると、より働きやすく子育て世代にとってもとてもありがたいと思います。また学童などの放課後の生活支援もありがたいと思います。保育所に関しては、仕事をしていない方や、今後働きたい方、短時間だけでも集団生活を体験させたい方など、保育園へ入りたいけど、条件を満たせず、働き先も決められずに困るという話をよく耳にしますので、もし可能であれば、もう少し条件のハードルが下がると、仕事の幅も広がり、親子の時間も確保することができ、よりよい生活環境や幼少期の子育てができるのではないかと感じたりしています。とても住みやすい佐伯市だなと感謝しています。また、保育所入所の条件の中で、パート労働者が妊娠して一旦仕事を辞めなければならない時などに、親の事情で慣れ親しんでいる保育園を退園して、幼稚園へ転園することを経験された友人の話を聞き、胸が痛みました…。もう少し国の制度自体変わるといいなと期待しています。【40代・女性】

- ◆ がんなどの難しい治療は、県立病院や医大に通わないといけないので、佐伯でもそういった病気の治療ができれば、看病や患者の家族の負担が減ると思う。介護の支援の体験や講演など、学校や地域に、情報を知らせてほしい。家族や地域の人に介護が必要になっても、どう支援してよいかわからない。たとえば、無料の介護支援相談などがあって、市報に載ったり、行政から案内があったりすると、利用してみようと思うのではないか。自分や家族が年を取れば、誰もが介護を必要とするが、勉強できる機会が少ない。自分も年を取ったら、買い物やゴミ出し、病院の通院が心配。ボランティアでなくても、安い費用で利用できるサービスがあればと思います。【40代・女性】
- ◆ 給料は思うほど上がらないのに物価は上昇し、節約を余儀なくされる生活にストレスを感じています。また、コロナ禍によりいろいろなところで制限がありますので、その中でも端的に交流ができるサービス（システム）を考えていただきたいと思います。【40代・女性】
- ◆ 将来、自分でできることは自分でしたいが出来ない部分（まだ具体的にはないが）、孤独への（生活上の）サポート！【60代・男性】
- ◆ 老後ひとりになり病気になった時が心配。（子どもが遠くにいるため。）【70代・女性】
- ◆ 私は、宇目地区、小野市に70有余年住んでいましたが、4年8ヶ月程前に、市内、中の島区に移住して来ました。市内に住んで強く感じていることは、隣保班、向こう3軒両隣の付き合いが、田舎に比べて希薄なことです。田舎では、隣の猫が子を何匹産んだというようなことが、その日のうちに判る程、近所のことには精通しているのですが、市内では、向こう3軒に不幸事があっても、我、関せずの様子です。勿論、田舎と街では、人や世帯の転出入の度合や人口も違います。交際の少ないことは、煩わしさが無く気楽で良いのですが、福祉活動、天変、地変の災害の場合に、近所の交流が日頃無いと、マイナスになると思われます。それで区の住民（特に自分の班と両隣の班）が交流して、互いが知り合っておくことが大切だと思います。区長、班長の任務が増えて大変になると思いますが。【80代・男性】
- ◆ 地域の人々が気楽に話し合える場所づくり。屋外でもよい。いつでも1人でも行けるところ。問題は、指導者をどのような人にするか。それは話し合いです。【80代・男性】
- ◆ ①困っていること…犬の糞便に悩まされています。名前はわからないが、人は分かっています。家の庭内に犬だけ入れ、糞の始末はこちらがしています。②希望すること…以前市報で弥生の床木に「お助け隊」というボランティア組織ができたことあり、いいなと思いました。また、他県の事例ですが、テレビで高齢者が券を購入して、何かしてもらったら、券でお礼をするのを見ました。ボランティアにも、なんらかの見返りは必要だと考えています。佐伯にもこんな「ちょこっとお助け隊」のような組織ができたと思います。主人も免許返納の年だし、娘は車に乗らないので、ホームセンターに行きたくてもタクシーで行かねばなりません。ブロックが欲しかったり、鉢植えが欲しい時、無期限の商品券でお礼ができれば、遠慮なく頼みやすいと思います。【80代・女性】
- ◆ 家に居る時間多いので、高齢者の集う場所が欲しい。免許返納後何らかの交通の援助を考えてもらいたい。【80代・女性】
- ◆ 今は1人でなんでもやっていますが、人との付き合いが少ない。なので、いつでも行ける場所が欲しい。【80代・女性】
- ◆ アンケートを依頼する人の年齢等、確認する必要があると考えます。当人は高齢のため、アンケートに回答するのは困難です。家族の者の回答です。本人だったらどう答えるかと推しはかった上での記入です。難しすぎます。私の意見を答えとするならば、過去に家族の者2名(両親)の介護をしながら、主人の病気に対応する時、人手がなくて市に

援を求めたときに、両親が要介護・要支援状態になく、何の応援も求められなかったことがありました。本当に困ったときに何の支援も受けられなかったと言うことがありました。普段は何の応援もなく、対応できてもどうしても困ったときに助けてもらえる制度があればなあと感じました。ご一考くださればと思います。【90歳以上・女性】

(6) その他の意見

- ◆ いろいろな催事や機会があるものの、年を重ねるごとにおっくうになり、“今どうすればいいか”と考え中。うるさい友人がいることが唯一。いつか仲間に入れると思いますが…。【70代・女性】

3 佐伯東地区

(1) 生活環境・生活支援に関する意見

- ◆ これまであった街のスーパーなどの閉店により、高齢者は買い物へ行くのに負担が増えている。「蛇崎～木立」や「女島～常盤」を循環するような”お買い物バス”を運行し、負担軽減や高齢者が関係する事故防止に取り組んではどうか。また、高齢者の運転免許を自主返納してもらい取り組みとして「自主返納した場合はコミュニティバスの回数券やタクシーチケットの支給を行う」など、返納した場合のメリット（公共交通機関を利用してもらう施策）を行う。【30代・男性】
- ◆ 佐伯市は面積が九州一広く、高齢者ドライバーも多い市だと思います。高齢になっても車で移動しなければならないことも事実です。しかし、アクセルブレーキの踏み間違いによる事故も多いと聞いています。高齢ドライバーでも安全に移動できる道路整備（路面表示の拡大等）を行い、車で移動するしかない。若しくは、車での移動を希望している高齢者ドライバーのサポートをしていただければと考えています。【40代・男性】
- ◆ 近くの神社の木が私の家の上まで伸びて、家の屋根や玄関前が落ち葉だらけになって困っています。なかなか言いにくい。【50代・女性】
- ◆ 側溝の清掃（ドブ上げ）が、高齢者世帯が多いために何年も行われていません。思い側溝のフタを持ち上げることは高齢者には無理です。業者に委託する予算の確保を検討してください。【60代・男性】
- ◆ スーパーや病院が近く（徒歩）にあってほしい。車を手放した場合でも、スーパーや病院などへのアクセスが便利であってほしい。若者がUターンできる街であってほしい。【60代・女性】
- ◆ 近所に猫をよく見かけます。家に入り込んだり、あちこち糞をしたりしています。さくらねこプロジェクトも見ましたが、書類を揃えたり、大分まで自分で連れていき、また地域に戻すなど、なかなか実行できそうにありません。歩道に餌を巻くなど、可愛がっている方もいます。近所の動物病院で処置できる、行政がやってくれるなど、検討していただきたいと思います。【60代・女性】
- ◆ 自宅のことですが、電柱に街灯があるのに、いつも消えていて夜、歩道や横断歩道が暗く（特に冬）、危険なので、再三、相談（市役所～区）したが、なかなか前に進まず、九電工に自分で相談したら、15万かかるとのことと、とうとう自宅の外壁に外灯をつけたら、すぐにその後電柱に街灯がつけました。自宅前付近なので安心致しましたが、もっと早くして欲しかったと思います。また、まだまだ暗い場所が多々ありますが、経費もかかることなので大変とは思いますが、市内でも全て明るくしたいと思う毎日です。【70代・男性】

- ◆ 足が悪いため、買い物もなかなか行けないのでスーパー等の物品を住まいの近所へも回って欲しいです。【70代・女性】
- ◆ 市役所を中心とした地域にスーパーが欲しい。身障者や高齢者には便利が悪い！！ 現在ある店には遠すぎる。【80代・男性】
- ◆ 通院、買い物の時、車がないので不便。【80代・男性】
- ◆ 高齢になると足腰の衰えを感じる様になり、路線バスではきつい時がある。少額でもタクシーの割引があればと思うことがある。出来るだけ自立したいと思っている。でもいつか行政や福祉、家族のお世話になる時が来ると思う今日この頃。【80代・女性】
- ◆ 市内の交通を便利にしてほしいです。【80代・女性】
- ◆ 市内バス、少し増やしてほしい【90歳以上・男性】
- ◆ 田舎に住んでいるので、免許（車）を返納したら買い物に困る。佐伯に行くのに交通の便がないし、重いもの（ストーブの油その他）なども持てないし、困っている。魚が大好きなので、田舎の方にも、干し物だけでなく、生の魚も売る店を増やして欲しい。【90歳以上・女性】

(2) 市や社協の組織運営に関する意見

- ◆ ①ボランティア活動への市の助成の充実。②役所関係の手続きが繁雑で非常にめんどくさい。もっと簡略化できないか。【70代・男性】

(3) 地域活性化・経済・雇用に関する意見

- ◆ 少子化問題を解決しなければ、福祉サービスも地域の自治会などの組織も今後もたないと思います。【50代・男性】

(4) 健康・医療に関する意見

- ◆ コロナが早くなくなり、マスクしないでどこでも行けるよう願っています。【60代・女性】
- ◆ トレーニング施設の充実とPR。【80代・男性】

(5) 福祉に関する意見（回答なし）

(6) その他の意見

- ◆ わからない【10・20代・男性】
- ◆ 病気のため早期退職しました。療養中であり、また年齢のこともあるので、再就職は難しい状況です。貯金も少なく年金受給までお金がもつか心配です。【50代・男性】
- ◆ 特に考えられない。【80代・女性】
- ◆ わかりません【90歳以上・女性】

4 上堅田地区

(1) 生活環境・生活支援に関する意見

- ◆ 災害時の避難路の確保。近所に居住しているのか不明な住居があり、蔵が壊れかけており、災害時に倒壊し、高齢者等が安全に避難出来ないのではと不安を感じています。ほかにも、半壊しているプレハブ小屋のようなものもあり、台風時には毎年不安になります。土地の所有者がきちんと管理出来るようにして頂きたいです。【30代・女性】
- ◆ 月に1度薬をもらうために大分市まで車で行っています。運転は父（72歳）と自分（47歳）で運転していますが、この先いつまで続けることができるか不安を感じています。【40代・男性】
- ◆ ①一人暮らしの方への買い物の手伝いや、代行サービスがあれば、高齢ドライバーの事故も減少すると思う。また、コミュニティバスの時間を増やす。②子供の登下校の見守りを毎日にして欲しいです。安心して働きたいと思うから。【40代・男性】
- ◆ 家の前にゴミステーションがあるが、袋からとび出して落ちているゴミは、業者が持って行かないので、私が処理しています。業者に指導してほしい。【60代・男性】
- ◆ 空き家の家主に空き家の管理をきちんとするよう指導してほしい。庭木が伸び放題（落ち葉、木の道路へのはみだし。）。家が崩れかかっている。【60代・女性】
- ◆ 高齢者の移動時の交通手段の確保、または補助制度の充実。【80代・男性】

(2) 市や社協の組織運営に関する意見

- ◆ 交通面が不便にも関わらず、相変わらず、役所や銀行には、直接提出しなければならないことが多すぎます。ネットで100%完結できるシステムにし、無駄な社員を削減すべき。高齢者などネットが困難な方には、自宅訪問や、代理提出サービス等で対応できます。無駄に建物を大きくし、社員も増やしていくのは、税金の無駄遣いです。【10・20代・男性】
- ◆ 社員なのに時給なので、安定収入にはならず。流行のGotoキャンペーンなど利用する暇もなく、公平なサービスを受けられないことに困っている。不公平の仕組みを改善すること、公平なサービスを行うことが、行政だと思います。高齢者、障害のある人、低所得者でも暮らしやすくなるには、安心、平等を。頼れるものにするのは、役所の役目かとも思います。とりあえずいろいろ考えるよりも行動だと思います。【40代・男性】
- ◆ 大がかりなアンケートですが、集計後はきちんと具体的に反映されるのでしょうか？先日、市役所に意見する事柄があったのですが、対応が早くて丁寧で、「お役所仕事」と思っていたのを、少し見直したところです。これも反映事項があって、取りかかる時に、市報等で大きく知らせてもらえれば、分かりやすく良いと思います。地域でのちょっとしたことでも、どこに言って良いのか分からないことが沢山あります。よく知らない民生委員や区長さんより、役所の方が言いやすい感じがするので、たとえば某病院の様に玄関に「目安箱」のようなものを設置してもらえると伝えやすいのですが…。危ない水路や道路を覆う枝、セメントをはってほしい谷。どこに言うのかわかりません。福祉で良いのでしょうか？ 分かりやすく活動を教えて欲しいです。【50代・女性】
- ◆ サービスの情報をもっと伝わりやすくしたほうが良いと思う。特に高齢者の方はなかなか理解することが難しいと感じます。【60代・女性】
- ◆ 主人が障害者で義母が認知症になり、何も分からない状態で市役所に相談に行ったところ、丁寧に対応して頂き、いろいろなことを知りました。最初はあきらめていたことでも、できたので良かったです。私の場合は自分で行動できたのですが、まだまだ知らな

いことも多いと思うので、もっと身近に知ることができる様になればと思います。知り合いの人には、とにかく市役所に相談に行くように勧めています。【60代・女性】

(3) 地域活性化・経済・雇用に関する意見

- ◆ 困っていることは今のところないが、子供が少ないのでこれからの社会が心配になります。【80代・女性】

(4) 健康・医療に関する意見

- ◆ 日々病気や認知症に罹患しないための情報を収集して暮らしています。健康であれば心配ごとは無いと思いますが、それが1番難しい問題だと実感もしています。【60代・女性】
- ◆ 高齢者になりますが、今のところ自分のことは自分で出来ますので、出来るだけ自分でやることにしています。【80代・女性】

(5) 福祉に関する意見

- ◆ 今は困っていないが、この先年齢を取ったら不安が多い。「ゴミ出し」「買い物」「体調不良の時どうするか?」「病院への通院」「台風・大雨・地震の時、個人では避難できないかも。」【60代・男性】
- ◆ 郵便局が参画すればよい。配達時に、月2回程度声掛けをする。その結果を報告する。郵便局参加の費用は市が負担することとする。【70代・男性】
- ◆ 人によってアンケートの内容が違うと思います。元気の良い人は、市の運動の活動や、絵を書くことなど、なんでもいくつでも出ていきます。それができない人が多いのです。外とつながりが少なく、不安が大きいようです。私の感じたことですが、津波で逃げろといっても、坂を、どうしても、場所もなく、上がれません。佐伯市のお墓は、歳をとると、手すりをつけないと、お参りにもいけません。他の地区の人の話では、神社のお掃除など、地区の行事参加できない人は、申し訳なく、いたたまれないそうですよ。いろいろ書いて申し訳ないですが、元気の悪い方のお話もよろしくお願いします。【70代・女性】
- ◆ 現在、特に困っているわけではないが、後期高齢者の夫婦のみの暮らしの中で、社会の変化に対応することが、しだいに困難になっていくのではと…不安もある。ネット環境の変化や、これまでと大きく違うことが多く、買物等でのカード払いや、スマホを使用するの支払い等、スピードについていけなくなりそうです。できれば、出掛けやすい地域の小さな集会所等で、最近の社会変化に対応できるような学習会等を高齢者向けに考えて下されば有難いと思っています。【70代・女性】
- ◆ デジタル時代に高齢者が対応できる対策を考えるべき。政府のやろうとしていることが地域の高齢者に可能か。スマホ、パソコンなどの扱い指導、高齢者が気軽に学べて楽しめる場が必要では。高校生のボランティアでもいいのでは。高齢者との交流につながるのではないかと。問題の中にはホームページを活用、インターネットで回答などとありますが、そのことに誰もが対応できるようにすることが先決では。【80代・男性】

(6) その他の意見

- ◆ 日常生活を送る中でまだ困っていることや不便だと感じることはないので、よく分から

ない。(地域的に恵まれている。)【70代・男性】

- ◆ 高齢者ですが、現在は健康ですので、特に困っていることはありません。あったら便利なサービスは思いつきません。【70代・女性】

5 鶴岡地区

(1) 生活環境・生活支援に関する意見

- ◆ 全国的にみても、佐伯市は、消火栓の付近にホース格納箱がどこにも設置されているのは、珍しいと思う。昔の佐伯市は、火災に地域住民の初期消化に重点を置いていたのだと思う。使用方法を今ではわからない人ばかりになり、箱自体が邪魔な物体となっている。そんな状況で南海トラフの大地震がきても、住民で消火活動とか無理だと思うし、近所の助け合いなんてもっと無理だと思う。それほど薄れてしまっている。【50代・男性】
- ◆ ①運転免許を返納した際に公共交通機関の割引。(タクシー、バス) ②高齢者の宅配。(できれば無料で) ③若い人が住めるように企業を呼ぶ。 ④年金制度の充実。【50代・男性】
- ◆ 母の介護をしているのですが、寒い日や暑すぎる日など車で散歩(?)に連れて行きます。日頃は車椅子で、認知症でもあるので、なかなか風景も見てくれませんが、車から降りずに何処か景色のいいところはないかなといつも思います。近場で。【50代・女性】
- ◆ コミュニティバスの充実化…高齢者はバス停が遠いためバスに乗ることが困難である。地域内で、各班ごとにバス停を作成することにより、買い物や病院まで利用することができ、バス内で近隣の人との交流ができる。【50代・女性】
- ◆ 市営団地の管理人は、市や県にやってもらいたい。草取りも、高齢化や生活リズムの多様化等で無理を強いられている人が多く、能力にも差があることで、不満を言う者が出るなど、コミュニケーションの悪化の一因にもなっている。管理人については、能力がないから断る者に無理やりやらせ、失敗すると非難される。人間関係が壊れたり、ストレスの原因になる。市営団地に住むことが不安で怖くてたまらない。【50代・女性】
- ◆ 豪雨などで水害や土石流などの災害リスクが高い地域に住んでいるので、介護をしている家族が安心して避難出来る場所、施設の設定及び容易に避難できるシステムの構築。【60代・男性】
- ◆ ①家庭からの移動手段を充実して欲しい。今のままだと自家用車が無いと、生活が出来ません。 ②老人介護施設等の情報を詳しく提供して欲しい。 ③空き家の解体、空き地の草刈りや剪定と専門に行う場所を市役所に作ってほしい。 ④道具、家具、古本の処分方法の情報を提供してほしい。【60代・女性】
- ◆ ①近くまで、移動販売が来てくれればよい。 ②コミュニティバスが通っていない。 ③タクシーを使わないと移動できない。(老後)免許証返納後が不安。【60代・女性】
- ◆ 交通費の負担が多すぎる。便利が悪すぎる。介護タクシーが少ない。(小型がない)【70代・男性】
- ◆ コミュニティ交通機関の見直しをして欲しい。タクシー券などを発行してほしい。【70代・男性】
- ◆ ①堤防を散歩する中でやたら犬のフンが多く見られる行政で何とかしてもらいたい、看板を建てるとか? ②家庭のゴミを焼却する人がいる洗濯物や匂いで迷惑を感じる。 ③河川敷及び堤防雑木、草の整備をしてもらいたい。【70代・男性】

- ◆今のところ2人元気で生活しています。これから先が不安です。やはり災害が一番こわいです。(でもこれは誰にもわからず。)【70代・男性】
- ◆運転ができなくなったらと思うと、非常に心配になります。バス停は遠くて行けない。小さな路地にも回って、手をあげれば止まってくれるような交通手段が充実すればと思う。時間は(年寄りには)あるので、市内を回ってくれても、それが楽しみになることもあるのではないか。きめ細かい福祉とは、そういうことではないか。年寄りのことばかりで申し訳ないけど、このアンケートを回収し、検討しても、年齢層の人には、アンケートだけでは理解できないことが、たくさんありますよ。(笑)【70代・女性】
- ◆休耕田が増えて、雑草、木が繁り、野生動物が住宅地に出没していることに困っています。【70代・女性】
- ◆交通の便が悪いので、バス乗り場が近くにないので、タクシーばかり使うので、大変です。【70代・女性】
- ◆騒音や砂埃で困っている。【70代・女性】
- ◆①困ったことがもっと気軽に相談できる窓口(TELなど)があるといいと思います。②コミュニティバスの利用ですが、近所の方も使いたいと思ってはいても、なかなかバス停までが行けなくて、タクシーを利用しています。もう少しどうかならないものかと思っています。【70代・女性】
- ◆免許証を返納した際の移動手段への心配があります。【70代・女性】
- ◆現在は車の運転が出来るので不便は感じていないけど、高齢で免許を返したら買い物(お店が遠い)に困ると思う。【80代・男性】
- ◆国道217号線のバスが上下線が少なくて困っている。運転免許の返納で足がなく、働が取りづらい。番匠上岡から港方面のバスが欲しい。病院に行くにもタクシーしか方法がない。【80代・男性】
- ◆福祉タクシーを増やして欲しい。免許返納後のタクシーの割引が1事業所になっていて困る。バスの回数を増やして欲しい(バスを小型にして)。高齢者は買い物に出るにも一苦労。城山桜ホールのトイレの表示がわかりにくい。また、トイレが狭く、障害者用トイレにベッドがない。大人の寝たきりの人は、どこでオムツを交換するのか? 行ってみたいが行けない。何事も障害者や乳幼児(この人たちを特別視しないこと)が使いやすいものを作ってもらおうと、健常者は使える。【80代・男性】
- ◆高齢者の不便さのことをもっと知ってほしい。例えば、病院に行くにしても、車に乗りたくないと思っても、タクシー代が高いとかバスも来ないとかになると、車の運転に頼るしかない。そのために事故になる。相手にも自分にも大変なことになる。行政は無料タクシー券を80枚以上発行するとか、歩くのに困難な人もいるので、コミュニティバスを市内に走らせるとか本気で考えてほしい。【80代・男性】
- ◆自宅付近の生活道路が悪路のため、歩行にも大雨の災害にも不安な毎日を送っています。建設課に何度もお願いに参りましたが、良い返答がありません。福祉の充実も大切なことですが、一番身近なこと、日頃の生活に安心して出来ることの対応に真剣な市に。行政は考えていただきたい!【80代・女性】
- ◆市によるバスの運行をして欲しい(稲垣地区)。【80代・女性】

(2) 市や社協の組織運営に関する意見

- ◆私が把握していないだけかもしれないけれど、まちぐるみの福祉への取り組みやPR、また組織などを、もう少し生活区域に近い場所(病院の待合室やスーパーなど)にも掲示

- してもらえると、視覚から情報を得られるので良いのではと思います。【60代・女性】
- ◆ 介護保険料が高いので、手元に残る額では生活できない。受取年金額に見合ったそれぞれの負担額にしてほしい。このままでは施設にも入れない。【60代・女性】
 - ◆ 行政機関、自治会が中心になって誰もが参加されやすい体制づくりを推進してほしい。人が集まってこそ活動がなされると思います。【80代・男性】

(3) 地域活性化・経済・雇用に関する意見

- ◆ 子育て世帯に対するサービスや手当がもう少し充実していると大変助かります。少子化といわれている中で、現状では子供を産み、育てたいと思えるような手当がほとんどなく正直キツイです。特に保育士の増員や、正社員でなくとも子供をサポートできる人が増えて欲しいと思います。我が家は1歳未満の子供がいますが、いくつ希望を書いても、保育所の受け入れがなく（障害児ではありません）、仕事の復帰が困難なため、本当に生活が苦しいです。高齢社会に目が向けられ、高齢者は住み良い環境になってきていると感じています（私は高齢者と関わる仕事です）。しかし、未来ある子供や子育て世代は、ないがしろにされていると思えてなりません。日本全国どこもそうなのでしょうが、どうか意見が反映されるようにと願っています。【10・20代・女性】
- ◆ 佐伯はバスが通っていない場所が多いので、新しく路線を増やすととっても便利になると思います。前からバスが通っている場所も、本数を増やして欲しいそうです。そういった交通面での不便はよく感じます。また、私は現在求職中なのですが、障害のある人が一般就職できる場所や機会がもっとあればと思います。そのための情報提供や支援体制が充実し、多種多様な企業が受け入れをして下さると良いですね。最後に、いつも桜ホールで集まったり交流している皆さんが自分らしい時間を過ごしている姿が見ていて嬉しいです。【10・20代・女性】
- ◆ 全国平均に対して、佐伯市の賃金格差を感じます。私は10年程前に佐伯市に移住してきましたが、賃金格差はあるが、物価の安さは全く感じません。もっといろんな企業を誘致して仕事の種類を増やしたり、雇用数を増やして欲しいです。このままでは過疎化に歯止めが掛かりません。【40代・男性】
- ◆ 地域を引っ張っていく若者を育てて、佐伯市の未来を引っ張っていく人材を育てなければ、雇用もないし、地域コミュニティが成り立たなくなると思います。その中で、自助、共助、公助の順番で、公助に偏りすぎないような仕組みがどうしても必要になると思います。【40代・男性】
- ◆ 今時点では、困っていることはありませんが、高齢化が進んでいることは感じます。車に乗っている老人の割合が多いことを感じます。リタイア後の再就職の賃金が安いなど、同じ仕事ができるにも関わらず、年金などの問題で給料を下げられるなどやる気をもっと出るよう企業に努力してもらいたい。【50代・男性】
- ◆ 私は病気（白血病）ですが、仕事を週に3～4日間ぐらいしてます。こんな私を雇ってくれることを会社社長様に感謝してます。若い人でも仕事をすぐ辞めるひとが多くいます。雇い主の方もやさしく指導して欲しいと思います。思いやりのある会社が必要だと思います。【60代・女性】
- ◆ 年金が上がること。今のままでは生活が苦しい。【70代・男性】
- ◆ 企業の誘致（人気のない市町なので無理と思うが？）【80代・男性】

(4) 健康・医療に関する意見

- ◆ 健康であれば何でもできるので、まず健康に留意して生活をする。【70代・男性】
- ◆ インフルエンザワクチンの料金を、国民みんな無料にしてもらいたいと思います。若い人達は高すぎるから。【70代・女性】
- ◆ この問いに関係ないことですが、10月から健康保険料が1割から2割に引き上げられ大変ショックです。この先元気で過ごす工夫する努力しかないですね。【80代・女性】

(5) 福祉に関する意見

- ◆ 子ども手当、18歳まで延長。さいきつ子医療費助成、18歳まで延長。子育てと介護が重なっています。親の病院への付き添い等のために仕事を休むことがあるので、病院への送迎など気軽に利用できるサービスがあると良いと思います。【40代・女性】
- ◆ 有償ボランティアを増やす【50代・女性】
- ◆ 高齢者の入居施設の料金が安い。高齢者の施設におけるリハビリ環境が充実していない。時間や回数が少なく、増やすために余分にお金がかかる。【60代・男性】
- ◆ 高齢者よりも若い人の方が自分中心の考えの人が多気がする。(自分の利得にならないことには見て見ぬふりをするなど)【70代・男性】
- ◆ 子供、兄弟もいない1人生活者(高齢)。他人が声かけしても聞く耳を持たない…。本人もどうしていいのかわからない年齢…。こういう方にアドバイスするにはどうすればでしょうか？ 心配してます。【70代・女性】
- ◆ 今、テレビでは、詳しくことはホームページ等で検索とか言いますが、スマートフォンとか、パソコンとか、使いこなせない人のために、電話で気軽に問い合わせができるようにしてほしい。便利に活用できない高齢者も多いこと、もっとわかってほしい。いずれ若い人も何年後かには高齢になることを忘れないでください。【70代・女性】
- ◆ 気軽に地域の人達と交流の場があり、地域の役員さん、住んでる人達の顔が見える場所であって欲しいです。「おはようございます。」「こんちは。」と声を掛け合えれば最後まで我が家で生活できると楽しく思えます。明るい佐伯市を作ってください。期待しています。【70代・女性】
- ◆ 民生委員活動の低調。他に選抜が必要です。【80代・男性】
- ◆ 昔の隣近所の思いやりがない。ここに書かれていることがみんなの気持ちにあれば、素敵なまちづくり、思いやりが生まれてくる。私が近頃読んだ本で、自分はこうありたいと思ったので、紹介します。「シスターからの心に染みるメッセージ」。このような考えでいたいと思いました。これも福祉に心がつながる気がいたしました。常に優しく、ありがたいと言えるように。「奇跡は自分が起こす」。自分に役立てたいです。素晴らしい地域社会を目指して。ここに問われていることと違うかもしれませんが、どうぞお許してください。【80代・女性】
- ◆ 家政婦協会はありますか？【80代・女性】
- ◆ 1人生活 10年以上。近所はみな若い人たちが働きに出ている。いろんな行事あっても参加できない。(体に元気がない。) そんな淋しい生活を毎日送っています。倒れたらどうなるだろう。だれも気付かず何日もわからずになるだろう。そんな毎日を送っています。【80代・女性】

(6) その他の意見

- ◆ 今はまだ元気で過ごしているのですが、本当に困った時が来ないと理解できないことが

多く、難しいアンケートでした。80歳【80代・男性】

- ◆ 自分も障害者で高齢者なので、家の仕事をこなすのでいっぱいです。70歳までは地域の行事も何でも出ていた。今はもう無理です。【80代・女性】

6 大入島地区

(1) 生活環境・生活支援に関する意見

- ◆ 交通の便をよくしてほしい。【60代・女性】

- ◆ ①高齢者の交通手段を便利にして欲しい。②スーパー等の支払機の統一。【80代・女性】

- ◆ 買い物や交通が不便。高齢者で時間がかかります。【90歳以上・女性】

(2) 市や社協の組織運営に関する意見（回答なし）

(3) 地域活性化・経済・雇用に関する意見（回答なし）

(4) 健康・医療に関する意見

- ◆ 救急車がすぐに来れる体制にしてもらいたい。フェリーを出すまで時間がかかるから心配です。【60代・女性】

(5) 福祉に関する意見（回答なし）

(6) その他の意見（回答なし）

7 八幡地区

(1) 生活環境・生活支援に関する意見

- ◆ ①子供の減少。 ②バスの便の減少で、高齢者や子供達は外出が難しい。 ③介護施設が少なく、希望者が入れない。 ④高齢者が働く場が少ない。 ⑤自分ができることを人に教えることが出来るとよい。 ⑥佐伯市内に広いセントラルパークがあるとよい。【60代・男性】

- ◆ バスの時間が少ない。利用する時でも、イスも屋根もない、歩道に荷物を置いている。利用者のことは、考えていないように思います。大きなバスでなくても良いと思います。そうすれば、自動車ではなく、バスと利用する人が多くなると思います。雨の日、暑い夏の日、本当にかわいそうです。市の方でも考えて欲しいです。【70代・女性】

(2) 市や社協の組織運営に関する意見（回答なし）

(3) 地域活性化・経済・雇用に関する意見

- ◆ 地域の過疎化で若者が居なく、淋しい佐伯になってます。企業があって、住める場が出来るようになることを願ってます。私も高齢でやっと生活しておりますが、いつも若年層がないのが頭から離れません。企業が増え、人が増えると、福祉などあらゆる面で、ゆとりと活気のある市になっていく様に思います。その様になることを祈っております。何しろ高齢の上、身体、耳、眼も自由にできず、お答えもちぐはぐで申し訳ありませんでした。お許し下さい。【80代・女性】

(4) 健康・医療に関する意見（回答なし）

(5) 福祉に関する意見

- ◆ ①年寄りと障害者が多く、地震や津波のことが心配だ。11m の津波が来る避難予定の山は12mしかない。保育所もあるので、全員登れるかどうか、心配。 ②近所に中国人が住んでいるのも心配。 ③斜め前のお宅に、肢体不自由で知的障害もある男性が一人で住んでいる。電動車いすで買い物に行き、自分で生活ができています。最近とうとう母親が入院してしまいました。私は、一度声をかけたら、いつも面倒をみないといけないような気がして、まだ声をかけきれないでいる。 ④地区と班に縛られすぎている。新しく入ってきた人も、「どうしてうちだけ別の地区なんですか。」と腹を立てていた。もう皆が年を取って、どんどん余力がなくなってきたので、行事をしてもだめだと思う。【60代・女性】
- ◆ 運転免許証返納後の通院、買い物などの交通の便。【70代・女性】
- ◆ みんなが集まって学習や交流ができる場所を提供して欲しいと思う。【70代・女性】
- ◆ 年齢が高くなると、食べること（作ること）が大変になってきます。こども食堂があるように、老人食堂もあるといいなと思います。他人とも会話の機会も出来、楽しいと感じますが、遠いと行くのが困難だし、小地区では人数がいなくて開くのも大変ですから実現もなかなかですね。【70代・女性】
- ◆ 近くの公園に高齢者施設があるとよい。【70代・女性】
- ◆ 免許返納後の通院、買い物。【70代・女性】
- ◆ 子供、大人共に、現在、家の中にこもっての生活が多いのではないかと。公園での子供達のはしゃぐ声がなくなり、地域は少子化もあるのでしょうが、淋しい限りです。外で地域の方々とふれあえる場所（安全第一）があると良いと思うのです。何かをする等の目的がなくても外でふれあえる、話ができることが良いと考えます。【70代・女性】
- ◆ 海崎、中野東の住民です。1番困っていることは、免許返納後、乗り物がなく、病院、買い物に行けません。コミュニティバスがあればどんなにか助かると思います。是非お願い申し上げます。【80代・女性】
- ◆ 私は時に利用するくらいですが、城山への道を整備していただくとありがたいです。【80代・女性】
- ◆ 自治組織を作って活動する。【90歳以上・男性】
- ◆ 運転免許証を返納したので買い物やその他種々用事の足に困っております。何とかして欲しい。【90歳以上・女性】

(6) その他の意見（回答なし）

8 西上浦地区

- (1) 生活環境・生活支援に関する意見（回答なし）
- (2) 市や社協の組織運営に関する意見（回答なし）
- (3) 地域活性化・経済・雇用に関する意見（回答なし）
- (4) 健康・医療に関する意見（回答なし）

(5) 福祉に関する意見

- ◆ お金の収入に困っています。【40代・男性】
- ◆ 現在は仕事と自分の健康、家族の健康に気遣うのに精一杯ですが、さらに高齢となり穏やかな生活ができることを望んでいます。そのためには、どのような準備をすることが良いのか正直わからないのが現在の状況です。このような私の意見が参考になれば幸いです。【60代・女性】
- ◆ ①災害時避難場所がないのにどこに行ったらいいでしょうか。 ②ボランティア活動や地域活動には常に協力しているつもりですが、配偶者に手がかかりそうなのでこれからは思うようにいかないでしょう。【70代・女性】
- ◆ 佐伯に住みだし 20 年。地域にもう少し溶け込みたい。【80代・男性】
- ◆ 何となく感じていることですが「1人はみんなのために、みんなは1人のために」でしょうか。【90歳以上・女性】

(6) その他の意見

- ◆ 私は一人暮らしをしています。体も健康ではありません。あるくのもやっとですが、なんとかがんばっています。この様なアンケートはむずかしいです？【80代・女性】

9 下堅田地区

(1) 生活環境・生活支援に関する意見

- ◆ 地域コミュニティバスの本数を増やして欲しいです。郊外の地域になると、車の免許返納がより難しいと感じます。高齢者のための足となる交通面での強化をお願いします。免許を返納しても安心して市内まで行き来できるように。【30代・女性】
- ◆ 現在コミュニティバスを運行していただき、母が利用することもあり、ありがたく感じています。しかし、歩行が危うくなってくると、バス停までいけなくなるのではと不安です。そうなった場合、タクシーを利用するようになると思いますが、値段がとても高い。割引チケット等があれば便利だと思う。私も休日を利用し、病院等の送迎をしていますが、全てに対応できないため。【50代・女性】
- ◆ 下堅田地区には公園もなく、子育てには不向きな場所だと思う。昔からの地区では高齢化が進み、若い人は誰も帰ってきていない。あと 10 年もすれば、まわりは空き家だらけになるだろうか。地区の中が道路等整備されていないので、家売るにも売れないと思う。同じ佐伯市の中で不公平な市政がされていると感じる。【50代・女性】
- ◆ 夕月地区ですが、居住人数が増加したため、地区公民館が人数とあっていない。(小さい。) ゴミ集積所も小さい。【60代・女性】
- ◆ 運転免許証を返納した後、色んな面での生活環境が大変なることを心配しています。コミュニティバス、タクシーなどの更なるサービスの充実を望みます。【70代・男性】
- ◆ 騒音の解決の手立てを指導してくれるような部署があれば有難い。【70代・男性】
- ◆ 現在 70 代後半の夫婦です。普段の生活必需品と、お互いの通院(毎月)は、今は、自家用車を利用していますが、免許証返納も間近です。免許証を返納した場合や、どちらか一人暮らしになった場合、週 1 回のコープも利用していますが、カタログ購入なので、時には市内のお店に行き、直接目で見て購入したいです。現在は、週 2 日のトキハ方面行きのコミュニティバスを利用する場合も、乗降は、隣の地区まで行かなくてはなりません。今は何とかありますが、先のことを考えると不安です。子供は関西在住です。例えば宇山から田淵の歯科医院へ行きたい場合に、タクシーを呼んでも短距離なので、タ

クシーで行きたいが、呼ぶのに気が引けます。何とかならないものかと思っています。佐伯市の1市民として、寿命のある限り、人に迷惑をかけず一生懸命明るく生きていきたいと思います。【70代・女性】

- ◆ まず、車の運転が出来なくなり、医者や日常の買い物が出来なくなっているの、送迎車が近くまで来てくれるように。下堅田ゆえ、不便で困る。また、ここ何年か、マルシヨクがなくなり、バス停で降りても、買い物も近くになく、大変不便です。佐伯市城山ホールはできても、近くに店もなく、高齢者にとっては、日頃の生活の物（店）が欲しいです。衣類、食材、薬局など、佐伯は本当に不便なまちだと思う。これから先、高齢者ばかりに、市もなる、全国的にもなると思うが、市職員の方々、市会議員の方々も、良い知恵を出して、住み良い佐伯にしてほしいです。本当に願ってます。バス停の近くに店ができることを願ってます。コスモタウンまでは、車（足）がなければ行けませんので、よろしく。【80代・男性】
- ◆ 私は今暮らしているところが大好きです。【90歳以上・女性】

(2) 市や社協の組織運営に関する意見

- ◆ 今のところ困っていることはないが、将来車の運転ができなくなり、買い物等が不便になると思うので、コミュニティバス等の本数を増やしたらと思います。このアンケートの結果は、市報に出るのでしょうか？ 封筒とアンケート用紙の無駄にならない行政にしてほしいと思います。【60代・女性】
- ◆ 今後、年金の不安があります。【60代・女性】

(3) 地域活性化・経済・雇用に関する意見（回答なし）

(4) 健康・医療に関する意見

- ◆ 旧南海郡5町3村のコミュニティバスの増便。塩分を控える料理や食物繊維を多く含む県南食材を普及させる料理の開発。【50代・男性】

(5) 福祉に関する意見

- ◆ 生活保護受給者の実態を調べるべき！！佐伯市の受給者の3分の1はニセ者ですよ！！【40代・男性】
- ◆ ボランティア活動や近所付き合いを良くすること。【50代・男性】
- ◆ この調査に回答しながら、自分がその立場にならないと困っていることは思いつかないけど、困っている人の立場になって一緒に考えることは必要だと思いました。少数派の困りごとは個々の問題と考えられがちで、解決が難しいのですが、困っている大きさは同じなので、情報の発信や得る活動に、もっと行政や企業、自治体が取り組むことが必要。今後、佐伯市は高齢化や過疎地域が増え、現状もそこで生活している人が様々な行政サービスから取り残されて、不便を強いられています。【60代・女性】
- ◆ 本当に困っている人を正確に調べて助けてあげることが1番だと考えています。誤魔化している人もたくさんいます。【60代・女性】
- ◆ 佐伯地方は車移動が必要不可欠なので、将来、運転免許を返納したときに、買い物や通院で、バスやタクシーを利用することになると思うが、現状、コミュニティバスだと数が限られ、タクシーだと費用がかかりすぎると思う。送迎サイトみたいなものが出来て、

毎月予約が出来て安値で利用できるシステムがあったら、安心して運転免許返納できると思う。今、自分は仕事をしているが、時間が都合つけば送迎ボランティアならばできると思う。【60代・女性】

- ◆ 区長は地区のことをしっかり考えてほしい。何もしてないのが著しいです。【70代・女性】
- ◆ 歩行が困難となり、ゴミ出しが出来なくなり困っている。近所に頼める知人もおらず、市外の娘が、週1度、帰ってくるのを待っている状況。福祉に相談し、介護認定を受けるとも、ゴミ出しだけの支援はなく、問題解決が出来なかった。地域のボランティアで、ゴミ出し支援のサービスがあったら、便利で安心して暮らしていけると思いました。【80代・女性】
- ◆ 施設に入っている。安心して生活が出来ている。【90歳以上・女性】

(6) その他の意見（回答なし）

10 青山地区

(1) 生活環境・生活支援に関する意見

- ◆ 杉の木があり、日が当たらない。自所有なら切るが、自所有でないのでダメ。今、12:00～15:00位しか当たらない。【60代・男性】
- ◆ 私は、数十年、市道の法面の草刈りを行っています。が、一度たりとも草刈り機の燃料までもらっていません。私も高齢になり、余後のことが心配です。【60代・男性】

(2) 市や社協の組織運営に関する意見（回答なし）

(3) 地域活性化・経済・雇用に関する意見（回答なし）

(4) 健康・医療に関する意見（回答なし）

(5) 福祉に関する意見（回答なし）

(6) その他の意見

- ◆ ボランティアとか出来る年では無いし、アンケートを送って来ても本人は書けません。【90歳以上・女性】

11 木立地区

(1) 生活環境・生活支援に関する意見

- ◆ 自動車免許証返納後、街への移動が困難になる。【70代・女性】

(2) 市や社協の組織運営に関する意見

- ◆ 市民税等、税金を安くしてほしい。【40代・男性】
- ◆ 市、国に感謝でいっぱいです。【80代・男性】

(3) 地域活性化・経済・雇用に関する意見

- ◆ 年々地区の人口が減っていき、自治会などいろいろな地域の役員不足。後期高齢者ばかりで、近い将来、地域組織崩壊の危機。木立地区は小学校しかないのも、若者はほぼ全

員帰ってこない。(中学まで遠すぎる。)木立地区だけ通学バスがない。【60代・男性】

(4) 健康・医療に関する意見

◆ 市内に信頼できる医師や病院があればいいと願う。【80代・男性】

(5) 福祉に関する意見

◆ 今は子ども達も成人して関係ないが、子どもが小さくて仕事をしている時、子どもの具合が悪くなると仕事を休まなくてはいけなくなるので、休むことよりも職場の人数が少ないので、他の人に迷惑が掛かるので、そっちの方に気がついていて。近くに安い金額で安心して預けるところがあれば本当に助かったと思う。【50代・女性】

◆ 日頃感じていることを正直に言わせてもらおうと、最近やって良いこと、悪いことを分かっていない子供(小・中・高)が意外に多いように思う。親が子供をほったらかして仕事などに行っているのか、または親が子供を見捨てているのか分かりませんが、子育てより大事なものってなんですか？ 近所に親戚の子供を預かっている人がいるのですが、子育てを軽く考えているように見えてなりません。それと、佐伯みたいな地方の田舎に住んでいる子供は、何をやっても(他人の見ていないところ)許されると思っている残念な子供がいる(またはいた)ようです。それが学校でのいじめの問題にもつながっているように思います。長くなりましたが、佐伯のどこかでそういうことがあると気に留めてもらえれば幸いです。どうもありがとうございました。【50代・性別無回答】

◆ 地域福祉は、幅が広く深い。いろんな年代の老若男女の中で、「ひとの家に入ってこないで！」と怒る人もいる。かといって地域福祉はなくてはならないものだから、一層むずかしい。私たち凡人は何をどうしたらいいのかわからない、というのが正直なところです。市政が決めたことに従うまでです。【60代・女性】

◆ ①例えば地域活動に参加をしないタイプの高齢者(一人暮らし)には、月1回(定期的に)担当の近所の人やヤクルトを手渡して声掛けに出向く…とか？ 地域の行事(敬老会なども)に参加する方は、度々運営費で楽しめるけど、多くの欠席者こそが精神的にも経済的にも支援が必要なのかも。該当者を決めるのは容易ではないけど、まずお金を使う方向を見直してもよいのでは？ 駐在さんが定期的に声をかけて下さるのも、防犯に役立ち、一人暮らしの不安の軽減につながると思います。②魅力のある地域イベントの企画は、自治会ごとでは発想が広がりにくいです。行政の側で他県、他市の情報をチェックし、地域活性に効果のあった活動を定期的に各自治体に知らせていただく。それを真似して実施することから始めてはダメでしょうか？ また、地域の支え合いは、プライバシーの拡散が心配です。市民1人1人のモラルについても、ケーブルTVで寸劇などでわかりやすく啓発の場を作っていただけたらと思います。【60代・女性】

◆ 現実、過疎化と高齢化の中でももっと1人で自活したいと思う人が多い。現在、かなり、行政も福祉や弱者に目を向けられ、有難い世の中と思っている。出来れば、困っている人が遠慮なく素直に助けを、声を出しやすい、そんな環境でありたい。(そうなっているのかもしれませんが。)いろいろ御配慮を有難うございます。【80代・女性】

(6) その他の意見

◆ 特にありません。行政に満足しています。【60代・男性】

12 上浦地区

(1) 生活環境・生活支援に関する意見

- ◆ コミュニティバスの本数が少ないため、買い物や通院のため、市内に行くのが困るのではないかと。また、市内の幹線道路にもバス停があれば、もっと住民の方がいろんな場所に行き物に行くことが出来るし、病院（救急病院）にもそれぞれバス停があれば、高齢者の方の行動範囲も増えるのでは？ バス停が難しいのであれば、タクシー会社とも協力して頂ければ良いのではないのでしょうか？ とにかく病院がない上浦地区にとっては、交通手段がないと、病院、買い物に行くことができないので、早急に考えて欲しいです。また、マイナンバーカード作成した方へのプレ券（C券）の考えはとても良いと思いましたが、B券のお店で使えないので、次回発行する機会があるのであれば、A、B、C共通の分を多くして欲しい。【30代・女性】
- ◆ ①とくし丸が家の近くまで来てほしい。 ②飲み薬も宅配で届けてほしい。 ③タクシーも市内まで乗り合いで片道500円位で走って頂きたい。【70代・女性】
- ◆ 高齢者、免許証のない人のため、バスを増やす方法があったら良いと思う。【80代・男性】

(2) 市や社協の組織運営に関する意見（回答なし）

(3) 地域活性化・経済・雇用に関する意見（回答なし）

(4) 健康・医療に関する意見（回答なし）

(5) 福祉に関する意見

- ◆ 短時間でも介護者が外出せざるを得ないとき、代わりに人が派遣されるようにしてもらいたい。（有料でも可。）【70代・男性】
- ◆ 私70歳まで東京生活（高卒から県外）。10歳上の姉が故郷上浦へ帰ると、同時に私も同居。2人とも早くに夫をなくす。買い物は電車でリュックを背負い、両手も荷をもちの買い物が当たり前。大体1週間に1～2回。時々は知人に誘われ車で行く時もあり、今後1週間に1～2回でいいから、車かタクシーかで、希望する人が寄り添って買い物に行けるようだと最高です。あと、1人住まいの人がいます。元気な人たちが集まって、交互に家庭を訪問し、堅苦しくなく、声掛けしたり、話をしていきたい。元気にしているか見回る。ゴミ捨て等の手伝いも。できる範囲で良いと思う。【70代・女性】
- ◆ 昔の社会に比べると若い方々のお陰様でありがたいばかりです。今後ともよろしく願います。【80代・女性】

(6) その他の意見（回答なし）

13 弥生地区

(1) 生活環境・生活支援に関する意見

- ◆ シェア自転車などがあれば便利だと思います。【30代・男性】
- ◆ ①地域格差に合わせた対応。 ②車が必須と思われる地域への支援、補助。 ③独居への支援。 ④役所、法人にもその時に合わせた賃上げ（年1回ではなく）手当。 ⑤中高年が安心して入れるアパートや施設。【40代・男性】
- ◆ ①免許返納後の各地への交通アクセス。コミュニティバスの乗り場、料金、路線の分か

りやすい明示、情報、問い合わせ先。②犬、猫のフンの処理を飼い主に徹底して欲しいが、行政や自治会からの看板などによる啓発を求む！【50代・男性】

- ◆ 現在、3つの病院に定期的に通院しています。終わりのない通院ですが、バスの便が少なく、仕方なくタクシーを利用しています。でもタクシー代の方が治療費より高いのです。便数を増やせないなら、通院用のタクシーチケットを配布するとか何か考えて欲しいです。現在私69歳、弟64歳の2人暮らしですが、老々介護は時間の問題です。わずかな年金暮らしで2人とも動けなくなったら、1人残されたらどうすればいいのか、それだけが不安です。誰か助けてくれるのでしょうか。【60代・女性】
- ◆ ①バスの便が少ない。②シルバーカーをバスに持ち上げることが大変。段差が大変。③病院の時間とバスの時間が合わない。④バス停まで1時間以上かかる。【60代・女性】
- ◆ ①高齢者にも無償でのスマホやタブレットの貸し出し。②コミュニティバスが家の前での乗り降りができれば使える。③簡単につかえる買い物の補助、エコセンターへのゴミ出しのお手伝い。※シルバー人材センターよりもっと短時間、低料金。【70代・男性】
- ◆ 私は、ウォーキングしながら、空き缶、ペットボトル、タバコの吸い殻、マスク等のゴミを拾っています。道路や歩道、散歩道、空き地などにゴミを捨てないようにお願いできないでしょうか。（市報などで市民の人にお知らせして頂ければ幸せに思います。）きれいな街、佐伯にしたいと思います。【70代・男性】
- ◆ テレビ・新聞等で高齢者の交通事故の出来事をよく目にします。私もすでに高齢者ですが、近い将来、運転免許の返納を行う時期がくるとと思いますが、1番困るのが生活する上で食事等の買い物です。街中に住んでいれば別ですが、郊外に住んでいるため買い物に行くための足です。今は市でもコミュニティバス等を運行していますが、便利が悪い（回数面で）です。現状では利用者数も少ないようですが、知恵を出し、もっと利用しやすいコミュニティバスであって欲しいです。【70代・男性】
- ◆ 理想として、病院とスーパーマーケット等に出かけて来るのに便利の良いコミュニティバスがいつでも乗られる状態にあって、回数などが多くあったらと思います。【70代・女性】
- ◆ 家の周りの草や木々の手入れ。（木や葉が落ちてすごく大変です）【70代・女性】
- ◆ ①現在はまだ自分でいろいろ出来るが、近い将来買い物、病院、自分で行けなくなった時のことを今から考えています。周りを見た時、一人暮らしの家がほとんどになります。②空家（持ち主のいない家）処分、管理は市が責任を持って欲しいです。【70代・女性】
- ◆ コミュニティバスの運行をお願いします。【80代・女性】
- ◆ 年をとって免許返納を考えますが、コミュニティバスがありますが、バスの時間割が数便しかなく、年を取るとバス停までが遠く、佐伯市になって特にいろいろな面で不便になった様です。市の中心部だけが、便利になって、はしばしは不便になりました。【80代・女性】
- ◆ 週に2回は移動販売車が来てくれると助かります。【80代・女性】
- ◆ 外出の時に乗り物に不便です。【80代・女性】

(2) 市や社協の組織運営に関する意見

- ◆ ①妊娠、出産、育児に関する助成金制度があれば、分かりやすく教えて欲しい。不妊治

療の助成なども。市報等に書いてもらえると助かる。すでに掲載済の場合はすみません。
②たまに市役所へ行くのですが、職員の愛想がないので、もっとあいさつをするなどしたらどうでしょうか？【10・20代・女性】

- ◆市役所職員がもっと活発、活動的に動いて、市のため、市民のために頑張っていて、市を良い方向に動かしてほしい。【40代・男性】
- ◆平日仕事がある人たちが、いろいろな手続きに苦労していることをよく聞きます。子供さんがいる家庭は特に、常時忙しい方たちが多いかと。土日、どちらか手続きができればよろしいかと思えます。市役所のエレベーターに案内の方がおられれば、年配の方や障害がある方、妊婦の方は少しは楽になるのではと思えます。身近な方たちの不満をよく聞き、みんなで話し合い、ちょっとずつ良い方向へ進めればよろしいかと思えます【40代・女性】

(3) 地域活性化・経済・雇用に関する意見

- ◆①現在、働く主婦も多くなり（働かないと生活していけない。）、子供を育てるのも大変な時代となっています。少子化をなくすためにも、せめて義務教育終了するまでは、学校での費用や中学・高校と制服のびっくりする値段など、考えてもらいたいものです。（各3年間きるだけなのに！）少しでも親子団らんが多く出来るように。②コミュニティバスですが、よく分からず使用するにも難しくてうまく利用できません。【60代・女性】

(4) 健康・医療に関する意見

- ◆私は、側わん症で、腰が痛く、コルセットをはめて働いています。働かないと食べていけません。長時間歩けない、立ってられない体です。会社では上の方から、「つかれたら休んでいいよ。」と言ってもらっています。働かなくて食べていける制度がありませんか？ 私みたいな人がほかにもいるんじゃないでしょうか？【40代・女性】
- ◆今の生活で満足していますが、とにかく健康第一ですので。主人はまだ元気なので、私も元気にがんばりたいです。【80代・女性】

(5) 福祉に関する意見

- ◆①お年寄りが楽しく過ごせる場所を歩いて行ける範囲でつくる。②タクシーを市の補助で安く乗れるような券か何か。③こども園などが少なくなったら困るので、先生方への何か得になるようなこと。④働きながらの子どもの小学校の旗立ちは大変（小さい子がいるところはなおさら）なので、誰かやって欲しい。本当にかわいそう…。頼る人がいない人が、今、本当に多いです。【30代・女性】
- ◆仕事をしているので、子どもの習い事の送迎をしてくれるサービスがあったらいいなと思ったりします。またまだ子どもが小さいので、夜でも必ず対応してくれる小児科があると安心します。【30代・女性】
- ◆独居老人宅への月額数100円でのセコム等のサービス。杉並区では格安で行政がサービスしています。【50代・男性】
- ◆一人暮らしの老人で、希望者全員が入所できる施設があれば良いと思えます。【60代・男性】
- ◆今60代、困っていることはありませんが、父母の住む限界集落に近い小さな部落。困っている方がいないことを願います。【60代・女性】

- ◆ 高齢になるにともない社会参加に精神的、肉体的負担を感じています。何かのアクションで、また、活動、活気が表現することができればと思います。今後、様々な場面で行政、若者、皆様に援助して頂ければと思います。【60代・女性】
- ◆ 以前は、地域で老若男女、昔からある行事に参加して、食べ物を持ち寄って、楽しく話をして、時を過ごしていたのを思い出します。今はコロナの関係ではありませんが、昔のような交流があれば、地域のこともわかり合えるのではないかと思います。今は子供の頃からあった祭りごとや、数多くの行事はほとんど消滅しています。新しく家を建てられて、引っ越しして来られる人は多いですが、ほとんど交流はありません。(都会と違って田舎でさえ名前を知らない方が多いです)【70代・女性】
- ◆ 一人暮らしの場合、健康状態が心配で急変する場合とか、民生委員の方がいますが急な場合の連絡方法とか不安になることがあります。【70代・女性】
- ◆ 弥生方面のコミュニティバスはとても不便です。予約が必要で、利用しにくくなっています。せめて月1、2回くらい、コスモタウンまで、高齢者の買物に送迎してもらえれば、免許返納もできるのですが。事情があり、大坂本生活改善センターがなくなり、高齢者、地区民は集う場所がありません。用事の際は他の地域の施設を借り、出掛けます。高齢者のつどいのため、行政の働きかけがもう少し必要ではないでしょうか。せめて福祉(まごころ)を現在の半分でも利用できればと思う。【80代・男性】
- ◆ 独居で家のちょっとした修理を業者をお願いするほどでもありませんので、お願いできるボランティアの方がいれば助かります。【80代・女性】
- ◆ ①今はどうにか頑張ってる炊事をやっていますが、出来なくなった時、弁当配布等が出来る場所があれば良いなあと思います。TEL1本で…。②台風、水の出る時の災害避難場所が近くの地域にあれば安心だが、と思います。③車で10分足らずのところにはデイサービスがあるので、楽しく行かせてもらってます。これも佐伯市地域福祉のおかげです。【80代・女性】
- ◆ 佐伯市は政府から言われたことしかしていない。コロナで臨時給付金の支給しかしていない。他の県では政府以外の独自で給付金を支給しているのにね。【80代・女性】
- ◆ 特に今困っていることはないですが、何かあった時や相談したい時、「あの人に」「あの場所に」と、すぐに気軽に連絡できることができれば安心です。(行政で。内容にかかわらず。)【80代・女性】
- ◆ 私は81歳で運転免許を持っていますが、免許を返納した場合、医者に行くとき、買い物などで大変困ります。1人にて生活をしているので、このことが1番不安です。健康でいつまでも1人で暮らせる様、福祉の充実をお願いしたい。【80代・女性】
- ◆ 地域に人の悪口を言う人が多い。これをなくしてほしい。【年齢無回答・男性】

(6) その他の意見

- ◆ 現在一人暮らしですので、考えが偏ってしまったこと、お許しください。すべて自分で行動をしないといけないので、今のところ体も動いているのかと思います。なるべくご迷惑をかけないようにと心がけていますが、お世話になることと思います。よろしくお願ひ致します。【80代・女性】

14 本匠地区

(1) 生活環境・生活支援に関する意見

- ◆ 公共交通機関の充実を図って欲しい。【30代・女性】
- ◆ 本匠に売り子が来てほしい。食料品、鮮魚かその他。【60代・男性】
- ◆ 今自分自身が動けるので困っていることはないが、年齢をとるにしたがって収入の問題や、病気の時、買い物など車が使えなくなったら、この場所では生活していくのは難しいと考える。家で看護が出たときに心配を感じる。【60代・女性】
- ◆ 近所に店がないのが困ること。【80代・女性】

(2) 市や社協の組織運営に関する意見（回答なし）

(3) 地域活性化・経済・雇用に関する意見

- ◆ 困っていること…。高齢化が進み、今まで出来ていた共同作業（草刈り）が出来なくなっていること。併せて耕作放棄地が少しずつ増えてきているため、獣害が増えていること。【60代・男性】
- ◆ 少子高齢化で過疎化が進む中、互助の精神も薄れ寂しい世の中になったものです。また、田舎では休耕地も増え、猪などが好き勝手に暴れて困ったものです。どうしたらいいのでしょうか？ その休耕地を、希望する自治会に無償で活用してもらおうのはどうでしょうか。農地の運営は自治会に任せ、収穫されたものは食おうが売ろうが何でもあり。休耕地も減り、住民同士の絆も深まり、安心の収穫物もいただける。住民の団結力ができれば、福祉の問題も半分以上解決できると思います。以上、自由意見で好き勝手に書かせてもらいました。【60代・男性】

(4) 健康・医療に関する意見

- ◆ 超高齢化社会に向かっているので、高齢者がいつまでも元気に過ごせるよう健康に関する支援や、病院や買い物に行きやすい環境（バスなど）づくりをしてほしい。【50代・女性】
- ◆ 当地区は高齢者夫婦のみ、また高齢者の一人暮らしが多い地区になります。今後私たち夫婦もそのような状況になると思われれます。介護サービスを使わないで済むように、65～75、80歳位までの地域での過ごし方が重要だと思います。その年代の方の集まる場所や、少しの労働場所が（低賃金、軽労働）あれば良いと思います。生きがいや生きる意味、元気であることはわずかでも、賃金を得られることかと考えます。家庭でも考えていきますが、行政のご支援よろしく願います。【50代・女性】

(5) 福祉に関する意見

- ◆ 子どもの数がへっているし、地域の人口もへっているし、若い人が少ないし、高齢者が多いし…。今はまだ困っていませんが、今後どうなるのか心配です。健康に気をつけて、出来ることは協力し、助けあって、生活をしたいです。やはり住みなれた家に長くいたいと思っています。【70代・男性】
- ◆ そこで生活する人たちが安心して暮らせるように、行政が地区民に寄り添ったサービス等の充実。住民からの声を拾い、より幸せに生活するために何を整えれば良いか。また地区民は行政と連帯して、努力、助け合いなど、我が身を考え、一人一人が、健康に生

きがいを持って生活できるよう努力することも必要。【70代・女性】

- ◆ 今は働いているのでよく分からないけど、今年、年金生活になるので、収入が減り、引かれるものが多いので心配。【70代・女性】
- ◆ 地域支援員さんが尋ねてくださり、話し相手をしてってくれています。自分自身も出掛けて、気分転換をするよう心がけていますが、訪問して頂けることを楽しみにしていますので、今後お願い致します。【80代・女性】
- ◆ 80歳以上の家族のみの懇談会が、毎月1回程度自治会の区域で催されたら、懇親を深めるとともに、勉強になることがお互いにあると思われるので、なんとか創設したいと思っています。【90歳以上・男性】

(6) その他の意見（回答なし）

15 宇目地区

(1) 生活環境・生活支援に関する意見

- ◆ 今は車を運転して買い物に行けるが、運転が出来なくなった時は、買い物に行けなくなり心配である。動くことが出来なくなったら、週に1回でもいいので、電話をしたら買いたい食料品等を持って来てくれるようにしてくれたら、今後高齢になった時、安心である。今、その様なサービスがあるのなら、今後も継続してもらいたい。【60代・男性】
- ◆ 交通の便が悪い。車がないと不便。【60代・女性】
- ◆ コミュニティバスを必要な時、すぐ呼べる様にして欲しいです。車も無く、今はバスも無いのですが、買い物、病院などとても不便すぎ。コミュニティバスは前日予約というのは考えものです。予約していても、当日体調悪く行けなくなることもあるのです。全てのことをご年配の方々の目線で考えていただきたいです。【60代・女性】
- ◆ 道路の整備。食品や日用品などの販売ができるルートを作ってほしい。【70代・女性】
- ◆ 今は運転できますが、子供は近くに居ないため、買い物、お医者など行くのが大変になることが心配です。【70代・女性】
- ◆ 過疎地の宇目では、農地を所有している地主が、他町村で生活しているので、かえって草刈りなどしないので、農地が草山になっている。【80代・男性】
- ◆ コミュニティバスが時間が少なく、車に乗らないので便利が悪い。一人暮らしなので。【80代・女性】
- ◆ ①近くに銀行がない。 ②買い物に行くにも近くに商店がない。 ③病院も同様に遠い。【90歳以上・男性】
- ◆ バス路線の件です。小型バスにて、宇目から佐伯線、1日2便及び3便運行していただければ、気兼ねせず安心して便利だと思います。【90歳以上・女性】

(2) 市や社協の組織運営に関する意見

- ◆ 私は現時点では大丈夫なのですが、年を取り運転免許返納したら、ここの土地では生活しにくいなと思います。一番必要な食料品の購入や通院が不便になるので。今の時点ですでに不便になって、ご苦労している方もたくさんいらっしゃると思います。行政がそこを1人1人について理解しているのか？ 手助けをできるのか？ 一般の方は知りません。行政がどんなことをできるのか知りたいです。【40代・女性】
- ◆ 行政がモデル地区を指定し（自治区）、年に何回か懇談会を開催して、現地の生の声を聞

くべきである。アンケートだけでは実態が見えないのではないのでしょうか。【60代・男性】

(3) 地域活性化・経済・雇用に関する意見（回答なし）

(4) 健康・医療に関する意見（回答なし）

(5) 福祉に関する意見

◆ 保育ママ。家事代行などの充実。【30代・性別無回答】

◆ 自分は人様に迷惑を掛けぬ様に、健康の維持と、以前、雨降りに、2度、転倒。頭蓋骨骨折の経験から、2度と無い様、頑張っていく所存です。(87歳) 社会福祉関係はお陰様で十分と思います。【80代・男性】

(6) その他の意見（回答なし）

16 直川地区

(1) 生活環境・生活支援に関する意見

◆ 遊具のたくさんある公園、公衆便所。【70代・男性】

◆ 電車やバス等の交通の便が悪いので、免許を返納した後の生活に対し、非常に不安を感じます。それに伴い外出の機会が制限され、体調不良になるのではと思います。【80代・女性】

◆ 私は現在 90 歳ですが、おかげさまで元気にしています。野菜作りをして金を稼ぐことに夢中になっています。子供も帰ってきました。息子夫婦から大事にされて、何不自由なく幸福者です。今までは赤木は市営バスがありました。いつでもどこでも行けましたが、不自由になりました。電話をしてコミュニティバスに呼びますことに心配をします。おそらくバスに乗ります。土日は電話がされませんので、火水木金となっています。地区の人、また周りの人たちはみんないい人ばかりで何も言うことはありません。楽しく暮らしています。世の中には悪い人が多くて、苦勞をしている人たちが哀れでなりません。もう歳には勝てません。難しいことはわかりません。元気は良くても生きていることが精一杯です。明日もしれない 90 歳の老人には、こんなアンケートは読むのも書くのも無理です。途中で止めていましたが、また書きました。申し訳ございません。【90歳以上・女性】

(2) 市や社協の組織運営に関する意見（回答なし）

(3) 地域活性化・経済・雇用に関する意見（回答なし）

(4) 健康・医療に関する意見（回答なし）

(5) 福祉に関する意見

◆ 短時間で出来ることだけど、1人では出来ないことを、手伝ってくれるような地域ボランティアがあると、一人暮らしの人や高齢者は助かると思います。また、このようなことを相談できる相談員が地区ごとにいるといいと思うし、それを手伝える人員を地域であらかじめ集めておくといいですよ。【40代・女性】

◆ 高齢者や障がい者がもっと安心して暮らしていけるような町づくりにしたいです。【60

代・女性】

- ◆ 高齢者や障害者の買い物、及び届け物などを有料にて代行してくださること、希望です。
【80代・女性】

(6) その他の意見

- ◆ 71歳一人暮らしのため、5年先、10年先にどのように生きていけるのか心配。【70代・男性】
- ◆ 今の生活で満足しています。【80代・男性】

17 鶴見地区

(1) 生活環境・生活支援に関する意見

- ◆ 近くを流れる川が怖い。【60代・男性】
- ◆ 将来、車の運転が出来なくなった時、買い物など外出時のコミュニティバスの充実をお願いしたい。【70代・女性】
- ◆ 地域にはいろいろな福祉活動があり、感謝です。少子高齢化が問題です。高齢になれば1人になります。健康な身体で居ることが1番ですが、車に乗れなくなれば買い物、病院に行くのに不便です。(タクシーではなく。) 安い賃金で自由に乗れる、タクシーのような乗り物があれば良いのになあ。コミュニティバスになるのかな? 若い人であれば、町中で自由に乗れる自転車などが置かれている地域もあるようですが。【70代・女性】
- ◆ ①お医者さんがいない。 ②食品が少ないので困る。 ③4月よりお店も無くなるので困ります。(令和5年4月) ④高齢のため住みなれたところにおりたいけどそれも不安です。【80代・女性】
- ◆ 道路の整備。【80代・女性】
- ◆ 土日の朝はバスの便が悪く、病院に行くのも、タクシーか親戚の人に頼む。買い物にしても、近いコープは高いし、物が悪い。【80代・女性】

(2) 市や社協の組織運営に関する意見 (回答なし)

(3) 地域活性化・経済・雇用に関する意見 (回答なし)

(4) 健康・医療に関する意見

- ◆ 高齢者などの病院への送迎【30代・女性】
- ◆ 老後の通院の不便さが不安。【40代・性別無回答】
- ◆ ①佐伯市は難しい手術のできる医師の確保に力を尽くしてほしい。昔は南海病院が何の手術でもできました。今は立派なヘリポートはありますが、常勤の良い医師がいません。医大が常勤で医師を派遣してくれないからです。他の病院にも難しい手術のできる医師がいません。佐伯市民は循環器、脳外科で1分1秒をあらそう病状の際、大分までいかないと治療できません。佐伯市がこの現状を改善しない、または気が付いていないなら、それは、佐伯市民の命を守るべき行政としていかなもののでしょうか。佐伯市がこの問題を放置しているのは大問題です。佐伯市民が安心して暮らせる佐伯市を目指すなら、必ず解決すべき問題です。 ②空き家について。空き家活用制度のようなものを佐伯市は行っているが、それは使える家についてであり、今現在、多くの人困っているのは、

空き家を壊したくても解体費用が高額で、なおかつ家を壊せば固定資産税が田舎の売れるはずもない土地でも上がってしまう。このため壊したくても壊せず、これからも危ない空き家は増え続けます。空き家の活用もいいですが、先にこちらの問題を解決しなければいけないと思います。皆、物価も上がり、お金もない中、家を解体するような余裕はありません。その日の生活で精一杯です。何か良い案を佐伯市に考えて欲しいです。私的にいえば、このままでは家の解体費用のためには借金をするしかない。でももう何年で定年、借金もできない。でも子供には負の遺産を残せない。大きな老後の不安の1つとなっている空き家問題です。【50代・女性】

◆ シニアの体力測定。【70代・男性】

(5) 福祉に関する意見

◆ 大島に住んでいます。島には、送迎をしてくれる人がいなくなって困っています。これは私だけかもしれませんが、主人も足が悪くて、雨の日の診療所行きにも困っています。島内でも、足の悪い方がたくさんいます。どうか、送迎ができますようお願いします。

【60代・女性】

◆ 今のところ日常生活に問題なく暮らしてますが、健康でなくなった時、どうなるかわからないのでいろいろな面で不安です。将来的には介護施設は全て高齢者は無料で入所できること、家族に負担を掛けないことを希望します。※よ〜く考えてみて下さい。生活保護で暮らしている方に、一生懸命働いて給料（低賃金）で生活している方以上の金額を与えてはいけないと思います。【70代・女性】

◆ 1人で生活しているために不安があります。いざという時のサービスがあれば（近所の方）、いくらか安心できますけど、その時は皆さんも同じかも…？ と思うと先の不安があります。【70代・女性】

◆ 年寄りでは生活の中で困り事が多くなってきます。年金生活の中、ちょっとしたことは業者に頼むのを躊躇します。ボランティアや地域の助けが必要です。私の地域では、以前、地区委員さん他有志の人達で困ったことを受けてくれるグループを設けてくれました。無償では頼みにくいと思う人がいるかもしれないので、1回500円と決めていました。代がかわって現在機能しているかは不明ですが、助かっていました。【70代・女性】

◆ 交通手段に不便を感じている高齢者のために、移動販売業者と行政が手を組んできめ細かいサービスができると良いと思います。【80代・男性】

◆ アンケートに記入できなくて申し訳ございません。年とともに字もうまく書けないのが申し訳ございません。センター105号にお世話様になって4年目ですけど、割に不安はないです。皆さん1人で自分で出来ることはがんばっています。急に体調が悪くなった時が何度かありましたけど、そんな時が不安でいっぱいです。字を書くのが手がふるいます。字が読みづらいでしょうけど、一生懸命書きました。最近、デイサービスに火木土、週に3日行くのが楽しみです。買い物1週間に1回お願いします。有難いです。ヘンな字ですみません。【90歳以上・女性】

(6) その他の意見（回答なし）

18 米水津地区

(1) 生活環境・生活支援に関する意見

◆ ①子供たちが遊べる場所、遊具が少ない。 ②田舎の方は街灯が少ない。【30代・女性】

- ◆ 私たちの意図、いろんな要望ですが、色利区に、災害時、場所がないということです。宮ノ浦は災害時の場所を作ってます。色利地区は、山の道だけ。「私たちはよそ者」と。話もしたけど、返答もありません。両親が残した家を守る気持ちで帰ってきたけど、今は後悔しています。子供たちに色利区は帰ることはしないでほしいと言っています。家は私たちが終わりにします。【70代・男性】
- ◆ 今は自動車を使用しているが、運転できなくなったらと心配している。【70代・男性】
- ◆ 地域に病院が少なく、交通の便が悪い。(バスの回数が少ない) 店がなく買い物が困難。【70代・女性】
- ◆ ①年寄りの集まるサロンのようなもの週2回くらい地区で行ってほしい。②高齢になり車の運転できないので、タクシーでない乗り物(病院など行く方法)。是非実行してほしい。【80代・男性】
- ◆ お店が近くにない。また病院も近くになく、車で行かなくてはならない。1人でいる高齢者なので大変です。【80代・女性】

(2) 市や社協の組織運営に関する意見

- ◆ 職員の愛想の良い対応があるとうれしい。【80代・男性】

(3) 地域活性化・経済・雇用に関する意見

- ◆ 企業を誘致し、若者の働く場所を確保し、人口を増やして活気ある佐伯市にして欲しい。【60代・男性】
- ◆ 海を利用したことが欲しいです。【70代・女性】

(4) 健康・医療に関する意見

- ◆ 旧佐伯市内への公共交通機関の便数が不十分のため、病院へ行くのが大変、すごく不便さを感じる。【80代・女性】

(5) 福祉に関する意見

- ◆ ①買い物代行サービス。②子供を短時間で預かりサービス(低料金で預かる)。【50代・女性】
- ◆ 高齢者になると、おひとり生活の方も多く、何かと不安に思うことが増えるので、日々の声かけや、体調の変化に気づける環境であって欲しい。おしゃべり好きな方は大丈夫だが、引きこもりがちの方も関わりが持てるようなお付き合いの場があると良いと思う。【50代・女性】
- ◆ 年を取ると外に出る機会が少なく(特に男性の方)、家でテレビを見て過ごす人が多くなります。外に出てみんなで楽しい時間を過ごせる場所づくりが沢山あれば良いと思います。【70代・女性】
- ◆ 人と会ったら挨拶が1番ですね。【90歳以上・女性】

(6) その他の意見

- ◆ いまのところ不便さは感じません。【60代・男性】

19 蒲江地区

(1) 生活環境・生活支援に関する意見

- ◆ 大災害が起きた時、安全な避難場所がどこにもないです！！ 私たちの地域だけなのでしょうか！？ 行政の防災体制（地域の）の強化をお願いしたい！！【60代・男性】
- ◆ 裏山の多面積の森林の伐採で、大雨の時、土砂災害が心配です。【70代・女性】
- ◆ 車を持ってない人が病院などで市内に行くための交通手段として、コミュニティバスの回数をもう少し増やして欲しいです。【70代・女性】
- ◆ ①歩道の段差で困っています。 ②大きな台風や地震の後、安否確認の電話とかがあればと感じました。（たとえば社協とかが。） ③公園に遊具が増えたら子供が遊びやすいかなあ…。 ④コロナのせいか、人数のせいか、ゲームのせいか、何ともいえませんが、子供が自分たちであそぶ姿を見受けません。「よく学び、よくあそべ」といった、大切な言葉がどっかへいってしまったような感じがし、少々心配です。【70代・女性】
- ◆ ①災害（水害）が発生した時の対応マニュアルがある？ ②台風時の停電などが発生した時、長時間、情報が伝わってこない。行政の方で情報を集めて伝えたらいいと思う。電話連絡の問い合わせができない時に、行政と電力会社の連絡の標準化など。【80代・男性】
- ◆ 私の住んでいる地区は公民館とB&G海洋センターはありますが、それも海辺にありまして、災害時にはとても行かれませんか。せめて、道路の上の方に、集会所が1ヶ所だけでもあればと同年代の人達はいつも言っています。よろしく願います。【80代・女性】
- ◆ この地区は、隣の孤島。何をすることも不便。人が多くなる様な地域になってほしい。でも、お陰で、災害もなく、老人が過ごすのはとても良いところです！！【80代・女性】
- ◆ コミュニティバスの便。行きはいいが、帰りのバスを、せめて午後からの便をPM2:00～3:00頃を1便増やしていただきたいです。（仲川原行きの便です）【80代・女性】
- ◆ 今1番気になっていること、災害時に避難してくださいますの放送が時々ありますが、年寄りには、夜、避難することはできません。せめて、行政より、地区長なり支援センターなりから1報が入ると、一安心すること間違いなし。20代～80代の考えは、ずいぶん違うとは思いますが。今日は支援される身で記入させていただきました。現在1人身になった自分には、子供から安否確認のコールが、毎日朝晩、来ます。近くにいないため、電話でしか声を聞くことがありませんが、その時間を待つようになっています。本当に嬉しいことです。【80代・女性】
- ◆ ①コミュニティバスの便利が悪い。（病院に行くのにとても便利が悪い！） せめて1時間に1本ぐらいに。 ②お年寄り向けの総菜の店を出して欲しい。 ③近場でのイベントを増やして欲しい。【80代・女性】

(2) 市や社協の組織運営に関する意見

- ◆ 警察、消防、市役所からの高齢者が暮らす家へ定期的な訪問【50代・女性】

(3) 地域活性化・経済・雇用に関する意見

- ◆ 旧9町村とも、過疎化と高齢者が増え、地域活動、継承されている文化が維持されなくなってきているが、市の政策は、市中心部の活性化事業を進めているのに対して、旧町村の交通対策、地域の活性化に対する政策が見えてこない。特に免許証返納による交通

機関の充実、地域活動の拠点となる集会所を市の合理化による廃止。地域で維持管理できないのが見えているのに感心しない。不便な地域ほど、市が関わりをしなくては、福祉の向上はありえないと感じる。【60代・女性】

- ◆ 田舎だから、買い物に行くのに、バスの本数が少ないので、コミュニティバスなどあるといいな？ 年寄りが集まって簡単な仕事できる場所があればいいな？【70代・男性】
- ◆ 私の住んでいる地域は老人ばかりで若い人がいません。ボランティア活動をするにも体力がありません。何処の地域も同じだと思いますが、若い人が定住できるような方策が必要かと思います。それと行政が地域にもう少し目を向けてほしい。【70代・男性】
- ◆ 現在、何にも頼ることなく生活できていますので、困りごと、サービスはありませんが、人が少なくなっていくことのさみしさはあります。健康で暮らすのも活気があれば（お祭りやいろいろなその地区の行事などです。）、元気になれると思うのですが…。むつかしいことです。無責任と思われるかもしれませんが、何をどうしたら…と考えてしまいます。【70代・女性】
- ◆ イベントなど人の集まる行事が少なくなっていると思います。イベントなどたくさんしてほしい。明るく楽しい街づくりができたらいいと思います。お年寄りが楽しい参加したいと思うイベントをしてほしい。一人暮らしの人が家の中でいつも1人ではなく、1日1回は外に出て、人との触れ合いができる街になるといいと思います。【70代・女性】

(4) 健康・医療に関する意見

- ◆ ①要介護2の認知症の祖母と、精神病のために自宅療養中の母と同居しているが、祖母の言動により母の状態が悪化し、母のヒステリーが発生することで祖母に強いストレスがかかる悪循環となっている。最近ようやくショートステイも利用できるようにはなったが、それでもやはり、母と祖母の関係は思うようにはならない。誰かに話をするだけで解決するような問題ではないとは思いつつも、話を聞いて欲しい。しかし最適な相談窓口（出不精の母でも可能なもの）も分からない。難しいだろうとも考えつつも、欲を言えば、身近にふらっと宿泊できるホテルのような施設が欲しい。 ②献血について。全血献血後の回復期間に成分献血をしたいと思っているが、献血ルームが遠いため気軽に実行できない。市役所やコスモタウンの付近に建設してほしい。【10・20代・女性】
- ◆ ①自殺願望者等が、24時間相談できる環境を行政が行い、自殺者等（孤独死等含む）の減少につながる政策！ ②老人、障害者等の通院手段等の充実！（お金のあまりかからない交通手段の充実） ③老人、障害者等の支援（買い物代行など）の行政による援助システムの充実！【50代・男性】
- ◆ 今は老人会もコロナで思う様にならず、1日も早いコロナの終わりを待って居ります。今は1ヶ月に5回のお参りで、6人で御詠唄を楽しみにして居ります。【80代・女性】
- ◆ 健康づくりのために、料理の講習会とかもあったら良いと思います。福祉活動の中で、私達のように便利悪いところへも来ていただき、いろいろと教えていただきたいです。【80代・女性】
- ◆ 一人暮らしの高齢なので、足腰が痛くなり、体も動かすことも少なくて、物忘れがだんだん増えてきます。何か声かけの方法はないでしょうか？ 不安も増えて、ストレスも増えて、心細い毎日です。私、85歳の妹です。本人が物忘れのため、代わりにアンケートを記入しています。私も一人暮らしで近所にいますので、毎日行って出来ることは手伝っていますけど、老々介護で大変疲れる毎日です。よろしく願います。【80代・

女性】

(5) 福祉に関する意見

- ◆ 数年先には介護しなくてはならなくなると思うので、なるべく在宅で介護生活できるような介護の勉強をしたい。また訪問介護の技能・人材育成の充実ができるようお願いしたい。【50代・男性】
- ◆ 中心部以外の地区は、ほぼ交通の便も悪く、行政のサービスも行き届いてないように思う。自分はまだ大丈夫だが、近所の高齢者だけの世帯を見ていると、大変そうに思う。書類が届いても、お年寄りには難しい内容も多く、80歳以上の人ばかりの地域で、ワクチン1つ打つのに一苦労している。スマホなど到底使えず、ややこしい事務手続きや、病院、金融など、1日ばかりで出かけてやっているのを見ると、本当に気の毒に思う。いずれ自分もそうなるだろうと不安にもなる。車が乗れるうちはいいが、それもそうではなくなるし、80歳を過ぎて、バスに乗ってサービスを受けに市中心部へ出かけ、課が違うとか、本庁じゃない、和楽だ、保健所だ、とたらい回しにされ、みんなよく耐えていると思う。もっと小さな地域に、もっとお年寄りに寄り添ったサービスがあるといいと思う。あと、近所に住む障害を持った小学生の家が気になる。親は働いていない、子供は家から学校以外、全く外に出さないし、姿も見ない。学校は行っているようだけど、地区の中には出てこないの、いざ災害や何かあっても、協力しあえるようにならない…。【50代・女性】
- ◆ 蒲江は保育所が1つになり、送り迎え。学校はスクールバスが出ている。だからガソリンが高く、少しでも助けがあるとよい。1人親だったら、今のこの世の中、少しでも市が助けてくれたら良いのだが。 障害者に何か優遇があれば（仕事）よい。車の運転ができないので、家から出られないため、仕事に行けず、収入がないので、生活ができない。どうすればよいのか。若いけれど障害年金が少しでももらえたら。この世は何でも高くなり生活が困っています。どうしたらよいのですか。だれに相談したらよいのか分からないです。不安です。親は先にいってしまう。その後、この子はどうすればよいですか？ 行政は何をしてくれるのですか？【50代・女性】
- ◆ 少子高齢化が進み、隣近所に空き家が多くなり人口が減少した。地区の活動が先細りするのが心配している。【60代・男性】
- ◆ ①通院の送迎。 ②募金の集金は社協の仕事！【60代・男性】
- ◆ ①親の介護が必要になってくると、年金受給まで働くのが難しくなる。働きながら介護をして、できるだけ在宅で過ごすためには、サービスの送迎時間が課題。 ②受診同伴のサービスがあるとよい。臨時職員だと取れる休みが足りない。認知症の親を介護しながら思うことは、病気になるまでの人間関係が大切と思います。家族が仲良くすることが、住み慣れた家で長く過ごせるコツだと思います。【60代・女性】
- ◆ ①あいさつ。 ②声掛け。 ③ボランティア精神。 ④町をきれいに。 ⑤子供を大切に。 ⑥体を動かしましょう。 ⑦避難訓練の参加者が少ないのが心配です。【70代・女性】
- ◆ 理想としては、皆さんが助け合っていけたら良いなと思います。【80代・男性】
- ◆ ①安否確認の声かけ…条件や手続きが複雑です。かんたんに申し込めるように。 ②外出時の付き添い介助…近くにいたときすぐ頼めるように。 ③通院の送迎、付き添い…病院の中で付き添ってくれる人が欲しい。 ④災害時の避難支援…すぐにつけていただけの人が欲しい。 ⑤台風時の戸締りなど…すぐにきてくれる人が欲しい。 ⑥一

人暮らしが出来なくなった時、すぐには入れる施設が欲しい。【80代・女性】

- ◆ ①ちょっとした困りごとのアドバイザー110番。困りごとは地元の人には話せないで、公共のものがよい。 ②週に1～2度の軽食食堂。 ③手軽に遊べる趣味の集いの場。
【80代・女性】

- ◆ 年金だけでは生活できない。【90歳以上・女性】

(6) その他の意見（回答なし）

20 地区無回答

(1) 生活環境・生活支援に関する意見

- ◆ 車を持っていないので、交通がよくなればよいと思います。【40代・男性】

(2)～(6)は回答なし

第四期佐伯市地域福祉(活動)計画策定のための市民アンケート調査

佐伯市の地域福祉について 皆様のご意見をお聞かせください

市民の皆様には日ごろから福祉行政にご協力いただき、厚くお礼申し上げます。

本市では、市政運営の基本的な方針を示した第一次佐伯市総合計画に基づき、市民が安心して暮らせるまちをつくるため、佐伯市地域福祉(活動)計画(地域福祉の推進に関する事項を一体的に定める計画)を策定し、計画的に福祉施策を推進しています。

現在の「第三期佐伯市地域福祉(活動)計画(2019～2023年度)」の計画期間終了を控え、「第四期佐伯市地域福祉(活動)計画(令和6～10年度)」を策定することとなりました。

このアンケートは、18歳以上の市民3,000人を無作為抽出により選び、皆様の福祉に対する意識や考え方などを把握するとともに、広くご意見をお聴きし、この計画に取り入れ、今後の本市の福祉行政を推進するための貴重な資料とすることを目的に実施するものです。

ご記入いただいた調査票は全て統計的に処理し、本調査以外の目的に使用することはありません。

ご多忙とは存じますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご回答くださいますようお願い申し上げます。

令和4年11月

佐伯市

～ご記入に当たってのお願い～

1. ご記入は、鉛筆またはボールペン、万年筆でお願いします。
2. ご回答は、**別紙回答用紙**にあなたが思われるものの番号に○印をつけてください。質問によって、「1つだけ」「3つまで」「いくつでも」等ありますのでご注意ください。
3. 「その他()」のように、具体的な意見を記入していただく場合や、感じていること等を自由に記入していただく質問があります。ご面倒ですがご協力をお願いします。
4. アンケート用紙、返信用封筒に、あなたの住所や氏名を記入する必要はございません。
5. 回答方法は、この調査票の回答用紙、またはインターネットの2種類あります。
6. 回答用紙をご利用の場合は、同封した返信用封筒に、ご回答いただいた回答用紙を入れ、切手を貼らずにご投函くださいますようお願いいたします。
7. インターネットをご利用の場合は、下記 URL をご参照いただくか、QRコードを読み取ってアクセスし、ご回答をお願いします。
【回答用 URL】[http……………](http://www.city.saiki.lg.jp/fhki)
(注意！インターネット接続通信料は、お客様のご負担となります。)
8. 回答期限は、回答用紙・インターネットいずれも**12月16日(金曜日)まで**となっています。

QR
コード

【この調査に関するお問い合わせ先】

佐伯市役所 福祉保健部 福祉保健企画課 企画管理係

電話：0972-22-4684 (直通) E-mail：fhkikakuka@city.saiki.lg.jp

あなた自身のことについておたずねします

問1 あなたの性別は、どちらですか。

- | | | |
|------|------|---------|
| 1 男性 | 2 女性 | 3 回答しない |
|------|------|---------|

問2 あなたの年齢は次のうちどれですか。

- | | | |
|----------|----------|----------|
| 1 18～29歳 | 4 50～59歳 | 7 80～89歳 |
| 2 30～39歳 | 5 60～69歳 | 8 90歳以上 |
| 3 40～49歳 | 6 70～79歳 | |

問3 あなたのお住まいになっている地区は、次のうちどちらですか。

- | | | | | |
|-------|-------|--------|-------|-------|
| 1 佐伯 | 2 渡町台 | 3 佐伯東 | 4 上堅田 | 5 鶴岡 |
| 6 大入島 | 7 八幡 | 8 西上浦 | 9 下堅田 | 10 青山 |
| 11 木立 | 12 上浦 | 13 弥生 | 14 本匠 | 15 宇目 |
| 16 直川 | 17 鶴見 | 18 米水津 | 19 蒲江 | |

問4 現在お住まいになっている場所の居住年数は次のうちどれですか。

- | | |
|------------|-------------|
| 1 2年未満 | 4 10年～20年未満 |
| 2 2年～5年未満 | 5 20年以上 |
| 3 5年～10年未満 | |

地域の交流・ふれあいの促進についておたずねします

問5 あなたと近所の人との関係は次のどれに近いですか。(○は1つだけ)

- | | |
|-----------------------|------------------|
| 1 仲が良く、家族同様な付き合い | 5 あいさつをする程度の付き合い |
| 2 困った時にお互いに助け合う付き合い | 6 ほとんど付き合いがない |
| 3 普段から気兼ねなく声を掛け合う付き合い | 7 その他 () |
| 4 たまに立ち話をする程度の付き合い | |

問6 あなたは今後、近所の人との関係がどのような状態になればよいと思いますか。(○は1つだけ)

- | | |
|-----------------------|------------------|
| 1 仲が良く、家族同様な付き合い | 5 あいさつをする程度の付き合い |
| 2 困った時にお互いに助け合う付き合い | 6 ほとんど付き合いがない |
| 3 普段から気兼ねなく声を掛け合う付き合い | 7 その他 () |
| 4 たまに立ち話をする程度の付き合い | |

問7 あなたは日ごろ、生活をする上でどのような心配事がありますか。(○はいくつでも)

- | |
|--|
| 1 配偶者に先立たれること |
| 2 話し合いや助け合いのできる人がいなくなって淋しいこと |
| 3 住民相互のまとまりや助け合いが乏しいこと |
| 4 地域で住民同士が気軽に集える機会や場所が少ないこと |
| 5 子育て世代同士が気軽に集える機会や場所が少ないこと |
| 6 子どもが安心して遊べる場所が少ないこと |
| 7 働く親の条件にあった保育所(休日保育、延長保育、一時保育など)や学童保育が少ないこと |
| 8 障がい者(児)のいる世帯に対する周囲の理解や交流が少ないこと |
| 9 暮らしや福祉、健康に関する相談窓口や支援が少ないこと |
| 10 若者の地域離れによる過疎化のこと |
| 11 特にない |
| 12 その他 () |

ボランティア活動等についておたずねします

※ボランティア活動、地域福祉活動とは・・・地域の清掃活動等への参加や困っている人のお手伝いなど、自分が住んでいる地域や人に対し、より住みやすくするために見返り(報酬・お金)を求めずに行う活動のこと。

問 1 0 あなたは、日ごろの生活の中で、地域の人やボランティアにしてほしいことや手伝ってほしいことがありますか。(○はいくつでも)

- | | |
|-------------------|-------------------|
| 1 話し相手や相談相手 | 8 通院・通学等の送迎 |
| 2 安否確認の声かけ | 9 子どもへの遊び指導や読み聞かせ |
| 3 買い物の手伝いや代行 | 1 0 子どもの登下校時の見守り |
| 4 ゴミ出し | 1 1 災害時の避難支援 |
| 5 外出時の付添い・介助 | 1 2 特にない |
| 6 そうじ・せんたく・食事等の家事 | 1 3 その他 () |
| 7 短時間の子どもの預かり | |

問 1 1 あなたが、高齢者や障がい者、子どもがいる世帯に対して、協力できることは何ですか。(○はいくつでも)

- | | |
|-------------------|-------------------|
| 1 話し相手や相談相手 | 8 通院・通学等の送迎 |
| 2 安否確認の声かけ | 9 子どもへの遊び指導や読み聞かせ |
| 3 買い物の手伝いや代行 | 1 0 子どもの登下校時の見守り |
| 4 ゴミ出し | 1 1 災害時の避難支援 |
| 5 外出時の付添い・介助 | 1 2 特にない |
| 6 そうじ・せんたく・食事等の家事 | 1 3 その他 () |
| 7 短時間の子どもの預かり | |

問 1 2 あなたはこの 1 年間、ボランティア活動や地域福祉活動を行っていますか。
(○は 1 つだけ)

1 行っている →問 1 2- 1、12- 2 へ

2 行っていない →問 1 3 へ

問 1 2 - 1 問 1 2 で「1 行っている」と答えた方におたずねします。それはどのような活動ですか。(○はいくつでも)

- 1 環境美化に関する活動（自然愛護や美化運動、リサイクル活動等）
- 2 高齢者に関する活動（高齢者の見守り活動、老人ホーム等の施設訪問等）
- 3 子育てに関する活動（託児、子育て相談や子育てサークル支援等）
- 4 健康づくりに関する活動（健康教育等の支援、献血ボランティア(※)としての活動等）
- 5 障がいのある人に関する活動（手話や音読、点訳による支援や外出支援、施設訪問等）
- 6 文化・教養・スポーツなど生涯学習に関する活動
- 7 外国人に関する活動
- 8 防犯や防災、その他地域の安全を守る活動
- 9 青少年の教育・育成に関わる活動
- 1 0 その他（)

※献血ボランティアとは・・・献血をする人や献血の呼びかけや案内、飲み物を渡すなどの手伝いをする人のこと

問 1 2 - 2 問 1 2 で「1 行っている」と答えた方におたずねします。あなたは、ボランティア活動や地域福祉活動をどのような目的で行っていますか。(○はいくつでも)

- | | |
|------------------|----------------------|
| 1 世の中や人に貢献したいから | 7 学校での授業や企業での奉仕活動として |
| 2 自分自身の向上になるから | 8 自分の能力や技能を役立てたいから |
| 3 活動を通じて仲間が増えるから | 9 活動に生きがいを感じるから |
| 4 活動が楽しいから | 1 0 近所づきあいのため |
| 5 福祉に関心があるから | 1 1 特に理由はない |
| 6 時間を有意義に過ごせるから | 1 2 その他（) |

問 1 3 問 12 で「2 行っていない」と答えた方におたずねします。ボランティア活動や地域福祉活動に参加する際に苦勞すること、又は参加できない理由はどのようなことですか。（○はいくつでも）

- 1 仕事や子育て等が忙しく活動する時間がない
- 2 身近に団体や活動内容に関する情報がない
- 3 参加するきっかけがない
- 4 身近に参加したいと思う適当な活動や共感する団体がない
- 5 身近に一緒に参加できる適当な人がいない
- 6 家族や職場の理解が得られない
- 7 全く興味がわからない
- 8 活動によって得られるメリット（利点）が期待できない
- 9 高齢、病気等のため参加できない
- 10 その他（)

問 1 4 あなたは、地域におけるボランティア活動や地域福祉活動を活発にするためには、どのようなことが必要だと思えますか。（○は3つまで）

- | | |
|---------------------------|-----------------------|
| 1 イベントの開催や広報啓発活動 | 7 活動しやすい環境づくり（休暇制度など） |
| 2 地域での講習会の開催 | 8 活動者への何らかの見返り |
| 3 ボランティア体験等のきっかけづくり | 9 特に必要なことはない |
| 4 活動の中心となるリーダーづくり | 10 わからない |
| 5 活動の主体となる組織づくり（NPO 法人など） | 11 その他（) |
| 6 福祉教育の推進 | |

関係団体等の活動等についておたずねします

【社会福祉協議会の活動内容について（概略）】

社会福祉協議会では、地域福祉活動の PR、ボランティア・NPO(※)等の活動拠点の整備、地域福祉活動への資金的援助、地域福祉活動に携わるリーダーの養成、介護やボランティア活動に関する研修、福祉等のサービスの提供、福祉教育の充実など、地域に根差した多種多様な福祉活動を行っています。

※NPO/NPO 法人とは・・・不特定多数の者のために役立てることを目的とし、利益を求めず自主的に取り組む法人やボランティア団体や市民活動団体等の民間の団体のこと。

問 1 5 市には、地域福祉を推進し社会福祉活動への住民参加を促し、意識を高めるための諸活動を行う「佐伯市社会福祉協議会」があります。あなたは、この組織をご存知でしたか。（○は 1 つだけ）

- | | |
|-----------|-----------------------|
| 1 よく知っている | 3 名前は知っているが、活動内容は知らない |
| 2 少し知っている | 4 活動内容も名前も知らない |

問 1 6 社会福祉協議会の事業や活動を広く知ってもらうためにはどうすればよいと思いますか。（○はいくつでも）

- | | |
|----------------|-------------------|
| 1 広報誌の発行回数を増やす | 5 広告や折り込みチラシを活用する |
| 2 ホームページを活用する | 6 わからない |
| 3 イベント・行事を活用する | 7 その他（ ） |
| 4 自治会回覧を活用する | |

問 1 7 民生委員・児童委員は、社会福祉の精神をもって、誰もが安心して暮らすことのできる地域社会を目指して様々な活動を行っています。民生委員・児童委員が行う活動としてご存知の内容を選んでください。（○はいくつでも）

- | |
|------------------------|
| 1 高齢者・障がい者等支援が必要な人への訪問 |
| 2 日常生活の悩み事や心配事の相談 |
| 3 児童に関する相談 |
| 4 福祉に関する情報の提供 |
| 5 関係行政機関の依頼による事実確認等 |
| 6 いずれも知らない |

地域のネットワークづくりと支えあい活動についておたずねします

問 1 8 あなたの住む地域の中に「あったらいいな」と思う支えあい活動はどんなことですか。(○はいくつでも)

- | | |
|-------------------|-------------------|
| 1 話し相手や相談相手 | 8 通院・通学等の送迎 |
| 2 安否確認の声かけ | 9 子どもへの遊び指導や読み聞かせ |
| 3 買い物の手伝いや代行 | 1 0 子どもの登下校時の見守り |
| 4 ゴミ出し | 1 1 災害時の避難支援 |
| 5 外出時の付添い・介助 | 1 2 特にない |
| 6 そうじ・せんたく・食事等の家事 | 1 3 その他 () |
| 7 短時間の子どもの預かり | |

知りたい情報や情報の取得方法についておたずねします

問 1 9 あなたは、福祉に関するどのような情報が知りたいと思いますか。(○はいくつでも)

- | | |
|-------------------|---------------------|
| 1 福祉サービスの種類・内容 | 8 高齢者就労に関する情報 |
| 2 福祉サービスの利用手続方法 | 9 障がい者就労に関する情報 |
| 3 福祉サービスの利用に関わる費用 | 10 福祉講座や教育・講習会の開催情報 |
| 4 福祉サービスの相談窓口について | 11 個別の福祉施設や事業所の情報 |
| 5 介護保険に関する情報 | 12 福祉ボランティアに関する情報 |
| 6 保育や子育てに関する情報 | 13 健康に関する情報 |
| 7 障がい者自立支援に関する情報 | 14 その他 () |

問 2 0 あなたは、行政福祉サービスに関する情報をどういった方法で取得しますか。(○はいくつでも)

- | | |
|------------------|--------------|
| 1 県や市の広報誌 | 7 友人・知人 |
| 2 地区の回覧版 | 8 近所の人 |
| 3 新聞・雑誌・テレビ | 9 民生委員・児童委員 |
| 4 インターネットのホームページ | 1 0 事業所・福祉団体 |
| 5 地域の活動やサークル | 1 1 その他 () |
| 6 市役所や振興局等の窓口 | |

心配事の解決方法についておたずねします

問 2 1 あなたは、生活する上で日ごろ感じている心配事について、どのようにして解決すべきと思いますか。(○は1つだけ)

- 1 行政の責任で解決すべき
- 2 まず行政が果たすべき責任を負った上で、行政の行き届かない課題については、地域住民自身も協力していくべき
- 3 地域で起きている問題・課題については、もっと地域住民が関心を持ってお互いに協力し解決していくべきで、地域で解決できないことについては、行政への支援を求めていくべき
- 4 行政や地域よりも、まず本人やその家族たちで解決すべき
- 5 その他 ()

地域ぐるみの防災対策についておたずねします

【災害時避難行動要支援者に対する支援制度】について
佐伯市では、災害が発生した場合に支援が必要な、ひとり暮らしの高齢者や重度障がい者など、「災害時避難行動要支援者」の人を対象とした、「災害時避難行動要支援者名簿」を作成しています。この名簿を、対象者の同意を得た上で、社会福祉協議会、民生委員・児童委員、自治会などの支援者が共有することで、地域の中で支援できるように取り組みを進めています。

問 2 2 あなたは、前記のような「災害時避難行動要支援者に対する支援制度」をご存知でしたか。(○は1つだけ)

- 1 知っていた
- 2 知らなかった

問 2 3 あなたには、災害時に同居家族以外に近所で頼れる人はいますか。(○は1つだけ)

- 1 いる
- 2 いない

問 2 4 あなたが災害発生時に頼りにしている、又は頼りにしたいと思うところ(人)はどこ(誰)ですか。(○はいくつでも)

- | | |
|-----------|-------------|
| 1 市役所 | 6 隣近所の人 |
| 2 社会福祉協議会 | 7 家族・親せき |
| 3 自治会 | 8 民生委員・児童委員 |
| 4 自主防災組織 | 9 頼るつもりはない |
| 5 地域の消防団 | 10 その他 () |

問 2 5 あなたは、災害発生時における支援の必要な人（ひとり暮らしの高齢者や障がい者など）の支援を行うためには、次のどれが良いと思いますか。(○は1つだけ)

- | |
|--|
| 1 市役所が責任を持って支援を行う |
| 2 民生委員・児童委員が中心となって支援を行う |
| 3 自治会を中心に隣近所の人支援を行う |
| 4 社会福祉協議会が中心となって支援を行う |
| 5 市役所、民生委員・児童委員、自治会、社会福祉協議会などが、新たなネットワークを作り支援を行う |
| 6 わからない |
| 7 その他 () |

問 2 6 災害時に、あなたの家や近所に、ひとりで避難することが困難な人がいた場合、あなたはどのような助け合いや協力ができると思いますか。(○はいくつでも)

- | | |
|---------------|-----------|
| 1 安否確認や声かけ | 6 応急手当 |
| 2 安全な場所への避難誘導 | 7 協力は困難 |
| 3 一時的な保護 | 8 わからない |
| 4 避難等の声かけ | 9 その他 () |
| 5 相談・話し相手 | |

問 2 7 あなたは、災害時に支援が必要な人の支援を頼まれたらどうしますか。

(○はいくつでも)

- 1 もちろん引き受ける
- 2 自分のできる範囲でよければ引き受ける
- 3 自分の他にも支援する人がいれば引き受ける
- 4 責任が重いので断る
- 5 自分や家族のことで精いっぱいなので断る
- 6 その他 ()

問 2 8 あなたのお住まいの地域では、災害に備えてどのようなことをしていますか。

(○はいくつでも)

- 1 自主防災組織を作るなど、災害が起きた時の役割分担を決めている
- 2 避難訓練を行っている
- 3 高齢者や障がい者など、災害時に特に人の助けを必要とすると思われる、災害時避難行動要支援者（災害弱者）を把握し、台帳を作っている
- 4 避難所、危険個所、支援が必要な人の所在地などをわかりやすく記述した防災マップを作っている
- 5 何もしていない
- 6 わからない
- 7 その他 ()

誰にでもやさしいまちづくりについておたずねします

問 2 9 あなたは、今後（または老後）どのように過ごしたいと考えますか。

(○はいくつでも)

- 1 自分の趣味を持ち、のんびり暮らしたい
- 2 できるだけ働きたい
- 3 学習・勉強に取り組みたい
- 4 自分の経験や学習成果を活かし、地域社会に貢献したい
- 5 自治会活動などの地域活動に参加したい
- 6 健康の維持・増進に努めたい
- 7 特に考えていない
- 8 その他 ()

問33 将来、あなたは、どのような環境で暮らしたいと思いますか。

(○は1つだけ)

- 1 住み慣れた地域で、自分の家で暮らしたい
- 2 子どもに帰ってきてもらい、一緒に暮らしたい
- 3 子どもの家へ行って一緒に暮らしたい
- 4 老人ホーム等の施設に入所したい
- 5 その他 ()

問34 あなたは、地域社会の中で安心して暮らしていくためにはどのようなことが大切だと思いますか。(○はいくつでも)

- 1 警察・消防などの防犯・交通安全・防災体制の充実
- 2 行政の福祉サービスの充実
- 3 企業によるサービスの充実
- 4 雇用の安定
- 5 地域医療体制の充実
- 6 高齢者、障がい者にも優しいユニバーサルデザインやバリアフリー(※)、のまちづくり
- 7 福祉施設の充実
- 8 保育所や託児所の充実
- 9 学校教育の充実や不登校等の問題の解決
- 10 地域を単位とした親と子の世代間交流活動の充実
- 11 隣近所の助け合いの充実
- 12 自治会や町内会など地域組織の充実
- 13 ボランティア活動やNPOによる助け合いの充実
- 14 乳幼児医療や高齢者の医療費助成等の充実
- 15 その他 ()

(※)ユニバーサルデザイン、バリアフリーとは・・・道路や建物の入り口の段差などを無くすなど、高齢者や障がい者、乳幼児、けが人や病人など誰でも安心して生活できるようにすること。また、その設計(デザイン)。

問35 生活をする上で困っていることや、こんなサービスがあったら便利だと思う事をご記入ください。また、誰もが安心して健康で暮らせるまちづくりを進めていくために、日ごろ皆さんが感じていること・考えていることなどを自由にご記入ください。

質問は以上です。アンケートへのご協力ありがとうございました。

同封の返信用封筒（切手不要）に入れて12月16日(金)までにご投函ください。